

長野県松本市

*ARAI*

# 新井遺跡

—第2次発掘調査報告書—

2014. 3

松本市教育委員会

長野県松本市

*ARAI*

# 新井遺跡

—第2次発掘調査報告書—

2014. 3

松本市教育委員会

## 例 言

- 本書は、平成 23 年 5 月 19 日～平成 24 年 3 月 30 日に実施された、長野県松本市大字里山辺 1796 番 1 ほかに所在する新井遺跡の第 2 次緊急発掘調査報告書である。
- 本調査は、松本市新井北土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査であり、土地区画整理組合より松本市が委託を受け、松本市教育委員会が発掘調査の実施と本書の作成を行ったものである。
- 本書の執筆は、第Ⅲ章第 2 節・第 3 節 1 ～ 4、第Ⅳ章を直井雅尚、第Ⅴ章第 3 節 5 を原田健司、その他を福沢佳典が行った。
- 本書作成にあたっての作業分担は以下のとおりである。  
遺物洗浄・注記：内田和子・佐々木正子・中澤温子・洞沢文江  
遺物保存処理・接合復元：荒井留美子・内田和子・竹平悦子・中澤温子・洞沢文江  
遺物実測・トレース・版組み（土器・土製品）柏原佳子・久保田瑞恵・竹内直美・八板千佳・安田津由紀  
（金属製品）内田和子・洞沢文江・（石器・石製品）原田健司
- 遺構図整理・トレース・版組み：村山牧枝・石井佑樹
- 写真撮影（遺構）福沢佳典・山田梨恵・山本紀之、（遺物）宮崎洋一
- 編集・総括：福沢佳典
- 遺構番号は、堅穴住居址については第 1 次調査からの通し番号、その他の遺構は本次調査で 1 号から付した。
- 本書で用いた略記は次のとおりである。  
第○号住居址 → ○住、土坑 ○ → 土○、ピット ○ → P ○  
また、礫・遺物出土箇所の番号は第 27 ～ 47 図の土器番号に対応している。
- 図中に用いた方位記号は真北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標 WGS 系に準拠した。また、標高・水平基準は東京湾平均海水面水準 (T.P.) である。
- 土層色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財团法人日本色彩研究所色票監修『新版 標準土色帖』に準拠したが、本書遺構図中では本頁下段各表の数字・略称・記号を用いて表記した。
- 本書では以下のものをスクリーントーンで表した。

遺構：焼土・被熱範囲 炭化物 粘土 遺物：黒色処理

- 図類の縮尺は遺構：1/80、土器・土製品：1/4 と 1/2、金属製品：1/2、石器については器種に応じて縮尺を変え図版に記載した。
- 土器実測図の断面白抜きは土師器・黑色土器、黒塗りは須恵器・軟質須恵器・灰釉陶器・綠釉陶器を示す。遺物番号の脇に軟質須恵器は「N」、灰釉陶器は「K」、綠釉陶器は「R」を併記し須恵器と区別した。
- 遺構・遺物の記述で用いた古墳時代中期～古代の土器の種別・器種・時期区分等は、次の文献による。  
(財) 長野県埋蔵文化財センター 1990 『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書 4 - 松本市内その 1 - 総論編』  
松本市教育委員会 1994 『田川南遺跡 N 平田里古墳群緊急発掘調査報告書』  
松本市教育委員会 1994 『高宮遺跡緊急発掘調査報告書』
- 出土した金属製品の調査・分析鑑定と保存処理にあたり長野県立歴史館の原明芳考古資料課長、白沢勝彦専門主事から多くご援助をいただいた。記して感謝を申し上げます。
- 本調査における出土遺物、測量図・写真等の諸記録は松本市教育委員会が保管し、松本市考古博物館（〒399-0823 長野県松本市中山 3738-1 TEL 0263-86-4710 FAX 0263-86-9189）に収蔵されている。

遺構図中の土層表記略称・記号一覧表

土 层 の 内 容・特 徴				土 层 混 入 物 の 内 容・特 徴					
	上 の 色 調	上 の 黏 性	土 の 糋 け	種 別	粒 状	粒 种	混 入 量		
褐色	1 黄褐色	14 強い	強	礫	A 大	微粒	1mm 以下	a 機量	10% 未満 ピ
	2 青褐色	15 あり	有		B 中	小粒	2～4mm	b 少量	10～20% イ
	3 緑褐色	16 半やあり	中		C 小	中粒	5～9mm	c 中量	20～40% ウ
	4 黄色	17 あまりなし	少		D 砂	大粒	10mm 以上	d 多量	40～70% エ
	5 暗黄褐色	18 なし	無		A 大				大量 70% 以上 オ
黄褐色	6 暗茶褐色	19 砂質	砂	風化礫	B 中				
茶褐色	7 黒色	20			C 小				
灰褐色	8 硫土	21			D 鉄分				
橙褐色	9 炭化物	22			E 上				
灰色	10 砂	23		燒土	F 瓦				
暗灰色	11 砂砾	24			G 材				
黒褐色	12 暗オリーブ褐	25							
赤灰色	13 オリーブ褐	26							

## 目 次

### 例 言

### 目 次

第Ⅰ章 調査の経緯 .....	3
第1節 調査経過 .....	
第2節 調査体制 .....	
第Ⅱ章 遺跡の環境 .....	
第1節 地理的環境 .....	5
1 新井遺跡付近の地形・地質の概観 .....	
2 発掘調査地点の地形・地質 .....	
第2節 歴史的環境 .....	8
第3節 過去の調査成果 .....	8
第Ⅲ章 調査成果 .....	
第1節 調査の方法 .....	10
第2節 遺構 .....	12
1 概要 .....	
2 竪穴住居址 .....	
3 挖立柱建物址 .....	
4 土坑・ピット .....	
5 焼土 .....	
6 溝・流路 .....	
第3節 遺物 .....	
1 概要 .....	43
2 土器・陶磁器 .....	43
3 土製品 .....	44
4 金属製品 .....	44
5 石器・石製品 .....	79
第Ⅳ章 総括 .....	85
写真図版 .....	
報告書抄録 .....	

## 図目次

第1図 調査地の基本土層 .....	4
第2図 調査地の位置と周辺遺跡 .....	6
第3図 事業対象地と調査区の範囲 .....	9
第4図 新井遺跡第2次発掘調査遺構配置図 .....	11
第5~26図 遺構実測図(1)~(22) .....	21~42
第27~47図 土器実測図(1)~(21) .....	53~73
第48図 土製品実測図 .....	74
第49~51図 金属製品実測図(1)~(3) .....	76~78
第52~54図 石器・石製品実測図(1)~(3) .....	82~84

## 表目次

第1表 周辺遺跡・古墳一覧表 .....	7
第2表 竪穴住居址一覧(1)~(6) .....	13~18
第3表 挖立柱建物址一覧 .....	18
第4表 土坑一覧(1)・(2) .....	19・20
第5表 土器観察表(1)~(8) .....	45~52
第6表 金属製品一覧表 .....	75
第7表 石器・石製品観察表(1)・(2) .....	80・81

# 第Ⅰ章 調査の経緯

## 第1節 調査経過

平成22年に設立された新井北土地区画整理組合(以下「組合」という。)により松本市里山辺1797-1ほかで土地区画整理事業が計画されたが、予定地一帯は周知の埋蔵文化財包蔵地である新井遺跡に該当していた。そのため、松本市教育委員会(以下「市教委」という。)では平成22年12月2日～翌2月4日に事業地内で試掘確認調査を実施した。その結果、古墳～平安時代の遺物を伴う竪穴建物址などを検出し、対象地内の広範囲に遺構が残存していることが確認された。

平成23年3月2日付で、文化財保護法第93条に基づく土木工事等のための埋蔵文化財発掘の届出書が組合から長野県教育委員会(以下「県教委」という。)宛に提出された。市教委では、建設工事の際に遺跡が破壊される恐れがあるため、3月7日に新井遺跡に関わる保護意見書を県教委に提出し、3月11日に県教委から埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査実施の通知を受けた。その後、事業者である組合と協議を行い、発掘調査とこれに係る事務処理については市教委が実施することとし、組合と松本市の間に平成23年4月25日付で発掘調査業務の委託契約が締結された。

現地での発掘調査は平成23年5月19日～平成24年3月30日に実施した。調査終了後、平成24年4月24日付で県教委に発掘調査終了報告書を提出した。また、4月18日付で埋蔵物発見届を松本警察署に提出し、5月16日付で県教委より埋蔵物の文化財認定及び出土品の帰属についての通知を受けた。それを受け11月20日に出土文化財譲与申請書を県教委に提出し、12月5日に出土文化財の譲与についての通知を受けた。

本発掘調査に係る文書等の記録は以下のとおりである。

### 【平成22年度】

12月2日～2月4日 市教委が試掘確認調査実施

3月2日 「土木工事等のための埋蔵文化財発掘の届出」を組合が市教委に提出

3月7日 上記届出と「新井遺跡に関わる保護意見書」を市教委が県教委に進達、提出

3月11日 「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」県教委から組合と市教委に通知

### 【平成23年度】

4月20日 「公共事業に伴う農地転用届出書(一時転用)」を農業委員会に提出

4月26日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結

5月19日～3月30日 市教委が発掘調査実施

3月30日 松本市が組合に埋蔵文化財発掘調査完了報告書提出

### 【平成24年度】

4月18日 「埋蔵物発見届」「埋蔵文化財保管証」を市教委が松本警察署、県教委に提出

4月24日 「発掘調査終了報告書」を市教委が県教委に提出

5月16日 「文化財の認定及び県帰属について」県教委から市教委に通知

5月28日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結(整理作業)

11月20日 「出土文化財譲与申請書」を市教委が県教委へ提出

12月5日 「出土文化財の譲与について」県教委から市教委に通知

3月25日 松本市が組合に埋蔵文化財発掘調査完了報告書提出(整理作業)

### 【平成25年度】

5月1日 組合と松本市が埋蔵文化財発掘調査委託契約を締結(報告書刊行)

## 第2節 調査体制

### 【平成23年度 発掘調査】

調査団長：吉江 厚（松本市教育長）

調査担当者：福沢佳典（文化財課主事）、山田梨恵（同嘱託）、山本紀之（同）

発掘協力者：伊藤節子、今井文雄、岩井健一郎、折井完次、加藤曼、草間恵美、小岩井洋、猿楽あい子、塙原政夫  
鈴木将之、関谷昌也、鳥井和幸、長岩千晴、中嶋健、中村恵子、林秋好、藤森紫朗、丸山篤史

宮澤昭敬、沼田尚武、百瀬泰宏、柳さおり、山田正計、横内孝行、吉澤五美、渡辺啓之助、渡辺順子  
事務局：松本市教育委員会文化財課

塙原明彦（課長）、大竹永明（課長補佐）、直井雅尚（主査）、久保田剛（主査）、百瀬耕司（主任）

柳澤希歩（嘱託）

### 【平成24・25年度 整理作業・報告書刊行】

報告書作成：直井雅尚、福沢佳典、原田健司（文化財課嘱託）

調査員：宮嶋洋一

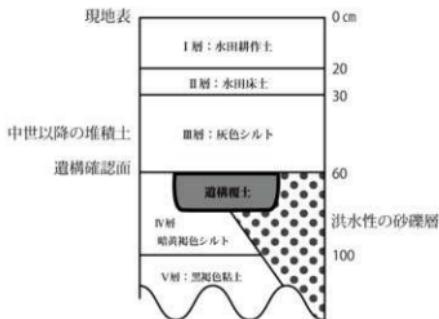
整理協力者：荒井留美子、内田和子、柏原佳子、佐々木正子、竹内直美、竹平悦子、中澤温子、洞沢文江

村山牧枝、八板千佳、安田津由紀

事務局：松本市教育委員会文化財課

伊佐治裕子（課長）、直井雅尚（埋蔵文化財担当係長）、竹原学（同係長）、櫻井了（主査）

百瀬耕司（主任）、柳澤希歩（嘱託）



第1図 調査地の基本土層

## 第Ⅱ章 遺跡の環境

### 第1節 地理的環境

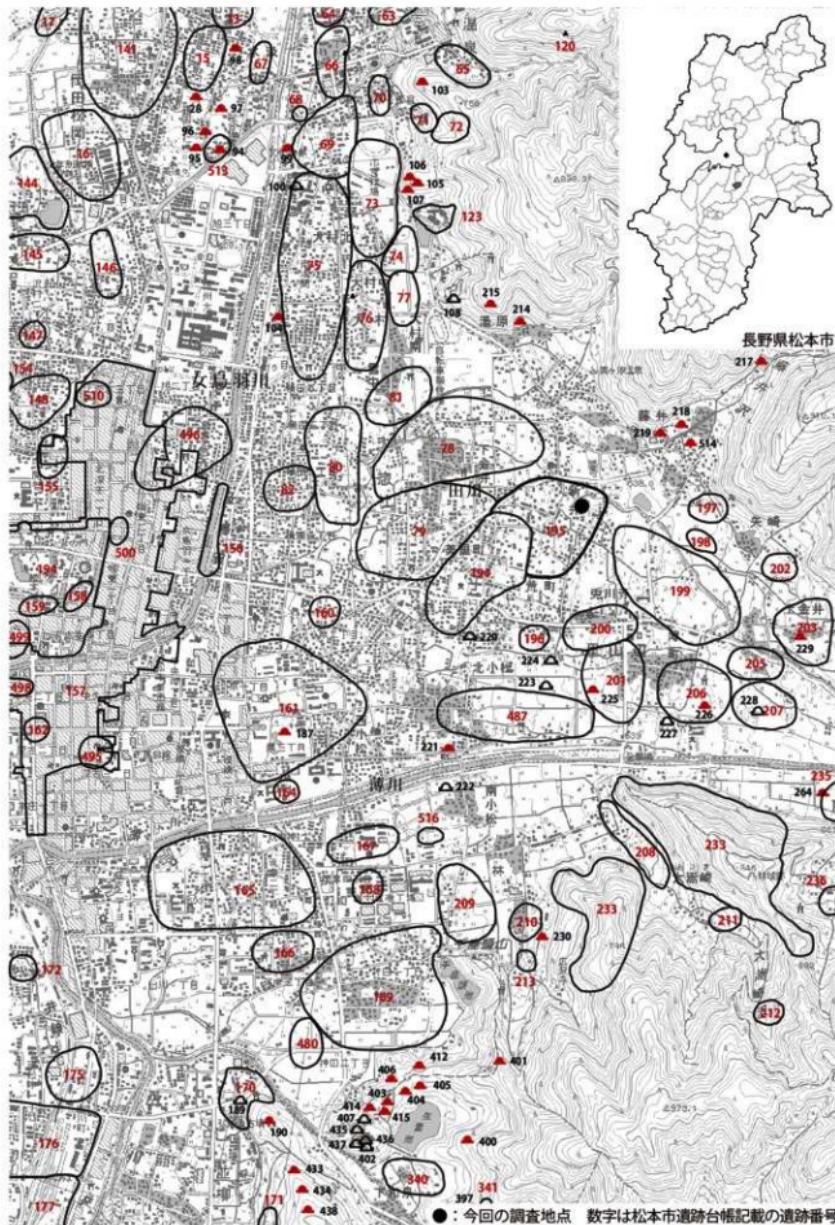
#### 1 新井遺跡付近の地形・地質の概観

新井遺跡は松本市街地の東に位置し、筑摩山地と鉢伏山地に挟まれた山辺構造谷に地形区分される。東側に連なる筑摩山系の三峰山、美ヶ原付近に源を発して西流する薄川によって形成された扇状地と、筑摩山系の三才山峠、武石山、袴越山付近に源を発して西流し、稻倉付近で流路を約90度左に変えて南流する女鳥羽川によって形成された扇状地が合する複合扇状地上に位置する。扇央部に位置し、標高は約620～630mである。本遺跡の周囲には、西に女鳥羽川、南に薄川が流れるが、地形的には薄川の影響が強く、南西に向かって緩く傾斜している。さらに、この両扇状地が交差しやや低地化しているところを、袴越山の西南斜面を流下する沢が集まり湯川となって西流し、本遺跡の北側を流れている。薄川は古くは扇状地の北端を流れ、湯川水域から現在の女鳥羽川水系を流れていたと考えられ、清水、源池、埋橋などで湧水帯を形成している。上流はV字谷を作るが、中流部は河岸段丘が発達し、下流部では舟付橋付近を扇頂として扇状地が形成される。河岸段丘は5～6段を数え右岸に顕著で、現在も上手町、三反田、中村など主要集落が立地している。

薄川右岸には山腹に直線状に三角末端面が連続し、断層が形成されている。なお、平坦部においても湯の原・藤井・上金井・南方・舟付にかけて5～10m幅の断層粘土が見られる。本遺跡の北東に位置する地点であるが、過去の周辺調査においても、低湿地帯の周囲に遺跡が立地し、生産域が確保されていた可能性が指摘されている。また、薄川は堀の内、鎌田、石上、薄町等の調査においても、N～30°～40°Wの流路方向を示す河床跡が確認されている。これらの河床疊は今回の調査区でも確認されており、古墳時代後期～平安時代の住居址に切られている。堀の内遺跡の調査成果によると、縄文～古墳時代の住居址が切られており、古墳時代において大洪水があったことが考えられる。これらによって、入江状にふるい分けの悪い幾筋もの微高地が形成され、この上部に古墳時代の遺構が形成される。その後、これらの堆積物中のシルト層が小洪水や雨水で洗い出されて微高地の低部を埋めている。この洗い出し層の上部にも奈良～平安時代にかけて集落が営まれるようになる。

#### 2 発掘調査地点の地形・地質

今回の発掘調査地点は松本市里山辺1796番1ほかにあり、現況は田畠である。すぐ北側を湯川、南約1.2kmに薄川が西流する。調査地の北約0.7kmには筑摩山地が迫るために、周囲は緩やかに南西へ低くなっている。田畠の段差でもそれを窺い知ることができる。いずれの調査区も現況が水田であるため、地表下0.2～0.3mまでは水田耕作土および基盤土層(床土)が堆積する。その下、Ⅲ層は灰色系のシルト質層で中世以降の堆積層と考えられる。試掘・本調査時に青磁・白磁等の遺物が少量だが出土している。また、遺構検出後も、明らかに平安時代以前の遺構の覆土とは異なる暗灰色シルトの遺構が確認でき、中世以降にも遺跡が存在していた可能性が高い。このⅢ層は各調査区において確認できるが、一番北東に位置するB東区では削平のためか顕著ではない。その後、地表下約60～80cmに遺構面が存在するが、調査区ごとで状況は異なる。A・C南区は洪水性自然流路が多く、砂礫が多量に混じり、ふるい分けの悪いシルト上に遺跡が立地する。B西・C北区も同様であるが、本流が南側にあったためか疊が小振りで疊が混じらない洗い出し層が多くなる。B東区は全く異質で、洪水層の検出は少ない。遺構覆土の合間に見られる地山は暗黄褐色シルト層で疊はほとんど混入しない。この地山より下には、再び黒褐色粘質土層が堆積する。また、B東区北東隅のトレンチの土層観察では、地表下80cmから粘質土層の堆積が確認され、出水も多い。上記のように、湯の原・藤井・上金井に形成されている断層粘土が本調査地内まで及んでいることが明らかになった。古墳時代中期の住居址の立地もこれらに関係するものかもしれない。また、遺構面より下は何層もの洪水性砂礫層が堆積し、深さ200cmまで及んでおり、遺構・遺物は確認できない。



第2図 調査地の位置と周辺遺跡 ( $S=1/25,000$ )

No	遺跡名	時代	No	遺跡名	時代	No	遺跡名	時代
13	杵坂	繩・平	148	沢村	繩～古・平	202	上金井矢崎	繩・中
15	岡田七日市場	古・平	154	蠟ヶ崎	奈・平	203	上金井	繩
16	トウコン原	繩・古～平	155	田町	繩・古	205	里山辺鎌田	繩～古
17	天神ノ木	平安	156	女鳥羽川	繩・弥	206	薄町	繩・平
63	島居前	弥・古	157	松本城下町跡	近	207	石上	繩・古・平
64	本郷上高田	繩・古・平	158	丸の内	繩	208	林山腰	繩・平・中
65	大音寺	弥	159	大名町	繩・中	209	千鹿頭北	繩～平
66	本郷高田	繩・古	160	四ツ谷	弥・奈・平	210	御符	繩・古・中
67	水汲西原	繩・弥・古	161	県町	弥・奈・平	211	大嵩崎	中
68	芝田	繩・弥・奈・平	162	本町南	古～中	212	わび沢	中
69	柳田	繩・奈・平	165	筑摩	弥～平	213	林	繩・古・平
70	新湯南裏	繩	166	三才	古・中	233	林城跡	中・近
71	真觀寺	古・平	167	筑摩北川原	古・平	235	里山辺南方	中・近
72	飯治洞	古・平	168	筑摩南川原	弥・古	236	穂倉	繩
73	大村	弥・奈・平・中	169	神田	繩・古・平	340	生妻	繩～平
74	大村古屋敷	弥～平	170	平烟	弥・古・平	341	弥生	繩
75	大輔原	古・平	171	山行法師	繩～平	480	神田西	古・平
76	大村立石	繩・平	175	出川	弥・古・平	487	北小松	平
77	大村前田	弥・古・平	176	出川西	弥・古～中	495	天神西	古
78	惣社	繩・古	177	出川南	弥～平・中	496	圓の宮	古・平
79	宮北	弥・古・平	194	下原	古～平	498	伊勢町	中
80	横田	繩・平	195	新井	弥～平	499	土居尻	古
81	大村塚田	繩	196	荒町	弥・平	500	片端	弥
82	横田古屋敷	弥・古・平	197	藤井山田	平	510	堂町	古・平
144	孤塚	繩・古～平	198	藤井	平	513	水汲	古・平
145	旧村の場西	繩・古～平	199	堀の内	繩～中	516	小松下	奈
146	元原	奈	200	兎川寺	古～平			
147	沢村北	弥	201	針塚	弥・奈・平			

No	古墳名	調査年等	No	古墳名	調査年等	No	古墳名	調査年等
28	松圓		215	御母家2号		401	生妻2号	
94	水汲1号	S8 発掘	217	里山辺丸山	煙滅、H3 発掘	402	中山31号	煙滅
95	水汲2号	S41 発掘	218	藤井1号		403	中山32号	
96	水汲3号	S40 発掘	219	藤井2号		404	中山33号	
97	水汲4号	S41 発掘	220	荒町	煙滅	405	中山34号	
98	水汲5号	S41 発掘	221	北河原屋敷		406	中山35号	
99	大屋敷1号		222	巾上		407	仁能田山	煙滅、S46・H6 発掘
100	大屋敷2号	煙滅	223	大塚1号	煙滅	412	中山56号	
103	桜ヶ丘	S30・31 発掘	224	大塚2号	煙滅	414	中山58号	
104	国司塚		225	針塚	H1・2・5 発掘	415	中山59号	
105	妙義山1号	S30・31 発掘	226	古宮		433	北尾根1号	
106	妙義山2号	S30・31 発掘	228	石上	煙滅、H1 発掘	434	北尾根2号	
107	妙義山3号	S30・31 発掘	229	上金井		435	柏瀬山1号	煙滅、S34 発掘
108	桃仙園	煙滅	230	御符		436	柏瀬山2号	煙滅、S34 発掘
187	県塚1号		235	南方	煙滅、S63 発掘	437	柏瀬山3号	煙滅、S34 発掘
189	平烟	煙滅、H2 発掘	237	里山辺塚塚	煙滅	438	北尾根3号	
190	弘法山	S49 発掘	397	弥生山1号		514	藤井3号	
214	御母家1号		400	生妻1号				

第1表 周辺遺跡・古墳一覧表

## 第2節 歴史的環境

新井遺跡が位置する薄川扇状地と背後の山辺構造谷には数多くの遺跡が立地し、河岸段丘および扇状地上に分布している。大きく分けて扇頂・扇央・扇端部に分けられ、集落の展開もそれに左右される。近年の調査により次第にその様相が明らかになってきており、当該地域では時期幅を有した複合遺跡が多く見られる。ここでは、発掘調査の行われた遺跡を中心に、時期別に周辺遺跡を概観したい。

旧石器時代は、この地域においては弘法山古墳東麓において尖頭器が採取されているのみで、発掘調査では遺物・遺構とともに発見されていない。ただし、今回の発掘調査において、洪水層からナイフが出土しており、薄川中流域でも遺跡が発見される可能性はある。

縄紋時代は、主に薄川両岸の山麓斜面から薄川扇状地奥部にかけて分布している。薄川上流の大和合周辺では早期の遺物が出土している。薄川左岸では、昭和62年の林山腰遺跡の調査において中期初頭の竪穴住居3軒、後期の敷石住居1軒が確認されている。また、大形石棒2本が出土している。昭和63年の南方遺跡の発掘調査でも早期～晚期の遺物が出土している。右岸では、平成元年調査の石上遺跡で前期末～中期初頭の竪穴住居3軒、鎌田遺跡で前期末～中期初頭の竪穴住居1軒が検出されている。山麓では、堀の内遺跡で中期初頭の竪穴住居が検出されたほか、藤井、上金井遺跡でも遺物が出土している。

弥生時代になると、薄川中・下流域の河岸段丘と扇端部に遺跡が分布する。昭和57年の調査で針塚遺跡より前期末の再葬墓が発見されている。出土した遠賀川・条痕文・水式系の土器群は中部高地における弥生文化の波及過程を究明するうえで重要な資料となった。また、近接する鎌田遺跡では平成元年の調査で後期の竪穴住居2軒が検出されている。薄川下流域では、県町遺跡で中期末を中心後にかけて竪穴住居が42軒確認されている。当該期の中心的な集落として考えられる。このほか、横田古屋敷遺跡では礎床木棺墓4基が発見されている。

古墳時代では、薄川両岸縁辺部と山麓部に20数基の古墳が確認され、大塚・南方・針塚・丸山の各古墳が発掘調査をされている。集落遺跡は、中・下流域の河岸段丘と扇状地部に立地する。昭和62年に発掘された薄川右岸の千鹿頭北遺跡で前期の竪穴住居7軒、後期40軒、平成元年の鎌田遺跡の調査で中期の竪穴住居が1軒、平成4年の下原遺跡で後期の竪穴住居が5軒見つかっており、新井遺跡における今回の報告も含めて、扇央部一帯に遺跡が立地するようである。

奈良・平安時代になると、薄川中・下流域両岸の各遺跡で竪穴住居が確認される。右岸では堀の内遺跡で67軒、県町遺跡で47軒、石上・薄町遺跡で43軒のほか、宮北遺跡、針塚遺跡などでも見つかっている。左岸では、千鹿頭北遺跡で17軒、林山腰遺跡で2軒のほか、南方、神田遺跡でも検出されている。分布からみると、薄川右岸扇央部から先端部にかけて広範囲に集落が展開していたと考えられる。

中世は、大塚古墳、薄町、石上、南方遺跡などで中世の遺物が出土しているが、調査例が少なくまだその様相は明らかになっていない。

## 第3節 過去の調査成果

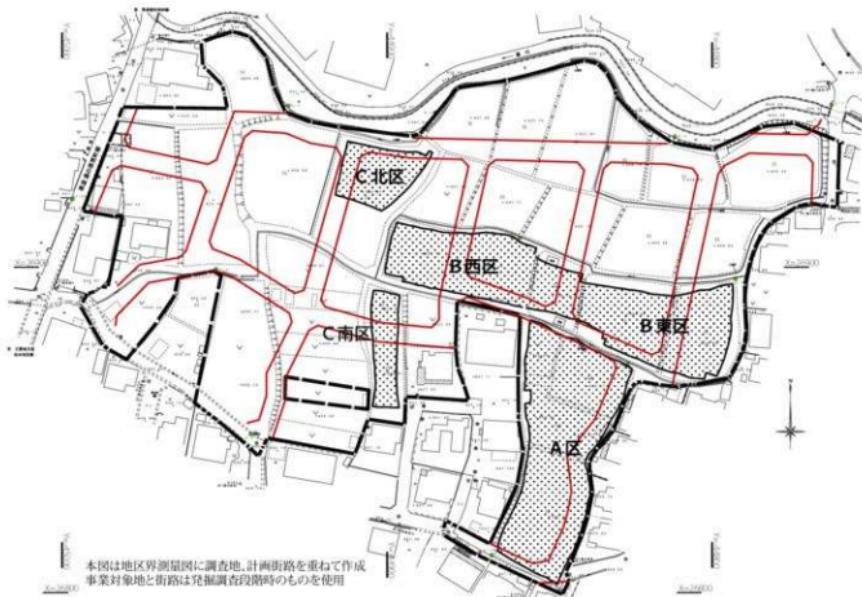
本遺跡は平成8年に第1次発掘調査が行われており、概要は以下のとおりである。今回の調査地より南南西に300mの位置にあり、その間の様相は不明であるため、即座に同一集落とは判断できない。

発掘期間：平成8年12月6～23日 発掘調査面積：402m<sup>2</sup> 発掘主体者：松本市教育委員会

発見された遺構：竪穴住居址3、掘立柱建物址3、土坑8、溝址1（いずれも平安時代前期8世紀末～9世紀後半と推定）

出土遺物：土師器、黒色土器、須恵器、窯壁材

調査所見：竪穴と掘立を中心とする平安時代前期集落址の一部。第1号溝址は幅が320cm前後の人工的な区画溝と考えられ、内部から窯壁材が出土。また第8号土坑は覆土に炭化物や骨片を含み墓址と考えられる。



第3図 事業対象地と調査区の範囲 (S=1/1500)



調査地周辺の航空写真 (平成 16 年撮影)

## 第Ⅲ章 調査成果

### 第1節 調査の方法

#### 1 調査区の設定

調査対象地は、湯川と住宅地に挟まれた水田・畑地であり、長らく開発が及ばなかった場所である。試掘調査の結果、豊穴住居址のカマドと考えられる被熱面や多量の土器片が出土し、遺跡の広がりが確認された。また、湯川に近い北側は出水を作らる河川の流路跡であり、その下層も湿地性の粘土層が堆積しており、遺構・遺物が残存する可能性は低いと考えられた。そのため事業予定地の北側を除外し、残りを調査対象地とした。

本調査に際して調査対象地を大きくA～Dの4区に分けた。耕作地や現場事務所等の用地確保を考慮し、試掘調査の結果から遺構密度が高いと推測されるA区から順に調査を開始することとした。実際に発掘調査を実施できたのはA・B西・B東・C北・C南の5地区であり、掘削土をそれぞれ隣接する用地に仮置きできたため、反転せずに遺構検出を行っている。調査面積は合計4455.163m<sup>2</sup>で、遺構検出面は1面である。

#### 2 発掘手順

まず、大型のパワーシャベルによりA区南東隅にトレンチを設定、掘削した。土層の堆積状況を確認し、試掘調査の結果と併せて地表下約0.6～0.8mを遺構検出面とし面的な掘り下げを行った。その後、人力により遺構検出を行い、調査区全面に洪水性の砂疊層とそれを切る遺構群を検出した。遺構検出後は、検出状況の写真撮影・図面記録を行い、個別の掘削調査を行った。

遺構番号は、遺構の種別毎とし、豊穴住居址は新井遺跡第1次調査からの通し番号を付し、5号からとした。その他の遺構は今回の調査で1号から通し番号を付した。個々の遺構の掘削時に、土層観察などの所見から遺構ではないと判断できたものは、遺構番号を欠番とした。

各遺構の調査終了後、各調査区の完掘状況写真を撮影し、パワーシャベルにより埋め戻しを行った。A区の調査終了後、同様の手順でB西・B東・C北・C南区の発掘調査を行った。発掘調査期間は平成23年5月19日～平成24年3月30日である。

#### 3 測量・写真記録

測量調査は、区画整理事業予定地の地形測量のために設定された基準点B-6を原点(NSO,EWO)とし、調査区の西をもとに調査区内に3mグリッドを設定した。X・Y軸は世界測地系平面直角座標に基づき設定し、座標値は任意のものとした。基準としたB-6の世界測地系平面直角座標および標高は以下のとおりである。

$$B-6: X = 26909.508 \quad Y = -44859.238 \quad \text{標高} Z = 627.948\text{m}$$

平面図はこれをもとに簡易造り方測量により作成し、部分的に光波測距儀を併用した。平面図・断面図の縮尺は1/20を原則とし、詳細図が必要なものは1/10で作成した。

出土遺物のうち、遺構の覆土上層のものは、住居址など大きな遺構は4分割した区画毎に、出土位置が把握できるように一括で取り上げ、下層および床面直上出土のものは詳細出土状況図を作成し、標高を記録し取り上げた。

調査区全景、土層・遺構の状況、遺物出土状況等は、35mm一眼レフカメラ(リバーサル、白黒フィルム)とデジタルカメラで撮影した。

#### 4 整理作業

発掘作業に並行して写真・図面等の整理を行った。図面類は平面図・土層断面図の点検・照合を行い、報告書に掲載するものについてはトレース作業を行った。遺物は洗浄・クリーニングを行った後、土器は洗浄後に注記(遺跡名、調査次、通し番号、帰属遺構等)を行い、石器・金属器は台帳登録を行った。この後、遺構単位で接合作業を行い、遺存度の良好なものと特徴的な遺物について実測・トレースを行った。



第4図 新井遺跡第2次発掘調査遺構配置図( $S=1/600$ )

## 第2節 遺構

### 1 概要

竪穴住居址185軒、掘立柱建物址6棟、土坑349基、ピット376基、焼土、溝、流路などが確認された。遺構の重複は著しく、全形を確認できたものは少ない。出土遺物から推定すると、古墳時代前期から平安時代中期にかけての、主に竪穴住居で構成される集落址を調査したものといえる。

### 2 竪穴住居址(第2表)

遺構検出の段階で5号から237号までの233棟の存在を把握し番号を付したが、その後の掘り下げ作業等の中で48棟が遺構ではないことが判明したため欠番とした。したがって実質の棟数は185棟である。また作業の手順や調査期間の関係で掘下げに至らなかったものが47棟生じている。掘り下げを行った138棟のうち85棟については出土土器の検討により属する時期を把握できた。1棟が古墳時代前期に遡る可能性があるほかは、すべて古墳時代中期から平安時代中期までの範囲内に収まっている。

竪穴住居址の平面形は概ね方形を基調としており、まれに長方形や不整な方形のものが認められた。規模は一辺が最大で約7m、最少で約2.5m、検出面からの深さにはばらつきがあり7~60cmほどである。古墳時代後期以降のものは西または東壁にカマドを有する。古墳時代中期以前のものは他遺構の重複で破壊されて明瞭ではないが、住居内の奥寄りに地床灰や埋甕灰を持つ。

### 3 掘立柱建物址(第3表)

A区に4棟、B東区と西区に各1棟の6棟が確認された。ただし、ほかにも土坑やピットが集中している部分が数ヵ所あり、これらの中にも掘立柱建物址と認めて良いものが含まれている可能性がある。全形が判るのは総柱式の1建のみである。時期は概ね竪穴住居址と同じで古墳時代後期から平安時代前期の間に収まると思われるが、出土遺物が少なく、詳細は確定できない。

### 4 土坑・ピット(土坑:第4表)

土坑は検出段階で1号から398号までの番号を付したが、その後の掘り下げ等の作業の中で49基が欠番となり、実質は349基を確認した。このうち212基は調査手順等の都合で未掘である。各地区に分布するが、特にA区が127基と多く、ほかはB東区98基、B西区56基、C北区33基、C南区35基を数える。覆土の特徴から中世に属すると判断されるものがわずかにあるが、ほとんどが竪穴住居址と同様の時期と推定される。最終的に掘立柱建物址を構成する掘り方となったものもある。

ピットは401基を確認したが、うち25基が欠番となり、実質は376基である。A区147基、B東区100基、B西区53基、C北区59基、C南区17基という分布をみせる。228基は未掘である。覆土の特徴から中世に属するものが多いと考えている。

### 5 焼土

焼土のみが検出された地点が数ヵ所あったが、ほとんどが竪穴住居址と関連付けて理解できたため、焼土単体として把握したのはA地区の2基に限られた。これらについても削平等で煙滅した竪穴住居址などに付随していたカマド・灰などであった可能性が高いと考えている。

### 6 溝・流路

B東区以外の調査区には、遺構検出面を設定した深度の土層付近に全面的に洪水起源の砂礫層が広がっていて、特に調査地南側のA区、C南区は著しかった。これらの砂礫層をさらに切り込むように溝や流路が確認されたが、溝9条のうち明らかに人為的と認められるものは1本のみで、他は小規模な流路である可能性が高い。流路は覆土に多くの礫を含み、平面形や底面の状態に人為的な掘り込みの痕跡が認められない大規模な溝状のもので、検出面付近の砂礫層形成後に起きた新たな洪水等に起源をもつものと推定する。

No	地区	平面形態 主軸方位	主軸×次軸×深さ 床面積 (m)	カマド形態	遺構重複 (古) ガマド位置	遺構重複 (新)	出土土器の時期	備 考
5	A	方形 N94E	494×451×42 16.36	被熱面 西壁中央	6住	P2+4~7	7~8期	北・東壁よりも被熱面あり 礎座堂住居
6	A	不整方形 N86E	165×305×36 3.39	石組 東壁中央	5住		8期	
7	欠番							
8	欠番							
9	A	方形 N102E	496×505×62 18.43	石組 東壁中央	底 3 P45		8期	
10	欠番							
11	A	方形 N108E	541×499×38 22.64	石組 東壁中央	12+13・190住, 流3		9~11期 8期	2時期あり
12	A	方形 N102E	(590)×(450)×25	被熱面 東壁中央?	(190住)	11+13~15住	7期	調査時に13住と切り合ひ誤認
13	A	隅丸方形 N109E	310×668×50 (14.6)	石組 東壁中央	12+14~37+190住, 流3	11+15住	8期	調査時に12住と切り合ひ誤認
14	A	方形 N111E	(450)×(475)×29 (18.56)	被熱面 東壁南寄り	16+37住 13+15住		5期前後	
15	A	方形?	(465)×(463)×25 (19.53)	未確認	(12+13+14住)	572住	8期	16住との切り合ひは遺物から15住が新
16	A	方形 N108E	510×(496)×25 (22.22)	石組 東壁中央	流 7	14+15住, P82+84+87+123+125, P104	3期	建3(±土 85)と重複
17	A	方形 N112E	377×411×14 13.83	被熱面 東壁北寄り	18+19+38住, 流7		7~8期	
18	A	方形 N20E	277×256×21 6.29	被熱面 北壁東寄り	38住 17住, 土 95, P109		4期	煙道あり
19	A	方形 N63W	386×(327)×15 (13.43)	未確認	38住			遺物少ない
20	A	方形?	455×360×11 N30E (16.45)	未確認	17+39住, P114+147		7~8期	範囲内に焼土1・2あり 30住との重複あり
21	A	不整方形 N74W	(439)×425×7 (16.66)	未確認	流 7		7~8期	
22	欠番							
23	A	方形 N14E	446×385×16 14.26	被熱面 北壁中央	底 7		10~11期	
24	欠番							
25	欠番							
26	A	方形 N77W	365×349×22 10.69	未確認	27住		8期	西壁寄りにわずかに焼土 礎座堂住居
27	A	方形 N67W	487×574×27 (25.19)	被熱面 西壁中央	28住	7C 前半		礎座堂住居 5~6Cの土器高杯型入
28	A	方形 N74W	419×401×38 14.08	石組 西壁中央	30住, 流3 P140+141		1~2期	
29	欠番							
30	A	隅丸方形 N73W	475×520×32 (21.06)	粘土 西壁北寄り	底 3 28住, 土 66, P61~63		6~7C 7~8期	2時期あり。後者は他遺構の混入品と想定
31	A	方形 N86W	460×470×30 17.13	石組?	建4, 底 3 土 120, P64+67		3~5期	建4(±土 126)との重複あり 9~10期の土師器杯1点
32	欠番							
33	A	方形? N93E	(205)×(120)×13 (1.97)	被熱面 東北隅	底 3 P83+142		8~9期	カマド近くに土師器甕・須恵器壺が散在 される
34	A	方形? N16W	532×(130)×— (5.81)	不明	底 3 31住, 土 50+51, P50			未確認
35	A	方形 N75W	401×417×22 13.40	被熱面 西壁中央	建4, 流3 土 48, P48+136+138+139		7~8期	建4(±土 115+119)との重複
36	A	方形? N22E	380×(167)×47 (3.29)	被熱面 北西隅	底 4 土 17+133, P151			未確認
37	A	方形? N22E	(470)×(391)×24 (7.67)	未確認	底 3 13+14住			未確認
38	A	不整方形? N68W	(232)×(165)×17 (2.98)	未確認	17~19住, P110			
39	A	方形 N66W	(250)×268×13 (5.87)	被熱面 西壁南寄り	19住, P155		3~4期	
40	A	方形? N22E	(315)×(196)×20 (3.83)	未確認	土 132+133 128, P95			15住との重複あり
41	B西	方形? N16E	(365)×(315)×18 (10.40)	未確認	236住, 土 198 上 199+371, P203		7~8期	調査区外へ続く
42	B西	方形 N78W	(320)×288×26 (8.17)	石組 西壁南寄り	61住, 土 142		5~6期	カマドが壁外に面り出す 南東側にテラス状部分あり
43	B西	方形 N106E	485×431×18 18.00	被熱面 西壁中央	44住		7~8期	
44	B西	長方形? N2W	320×(469)×— —	不明	43+45住			未確認
45	B西	方形? N104E	(73)×(313)×17 —	被熱面 東壁南寄り	44住, P397		未検討	P200がカマドに相当
46	B西	方形 N73W	422×410×18 15.19	未確認	45+47~97住		未検討	
47	B西	方形 N80W	460×(343)×25 (14.76)	未確認	44+45+63+97住 46住		1期	同溝あり

第2表 穴穴住居址一覧 (1/6)

No.	地区	平面形態 主軸方位	幅×奥行×深さ (m) 床面積 (m <sup>2</sup> )	カマド形態 カマド位置	遺構査定 (古) 遺構重視 (新)	出土土器の時期	備考
48	欠番						
49	B西	方形	289 × (143) × 21 N82W -3.31	未確認	50往 P164	未検討	調査区外へ続く
50	B西	方形	(183 × 515) × 18 N8W -5.09	被熱面 北壁東寄り	49往	未検討	調査区外へ続く
51	欠番						
52	欠番						
53	B西	方形?	319 × 97 × 35 N77W -2.38	未確認	57往	未検討	周溝あり
54	欠番						
55	欠番						
56	B西	方形	374 × 392 × 26 N102E 11.77	石組 東壁中央	74往, 土169	7 ~ 8期	
57	B西	方形?	(420 × (230) × 27 N102E -6.26)	被熱面 東壁	53往 59往, 土194	未検討	
58	欠番						
59	B西	方形?	497 × (228) × 40 N79W -9.11	未確認	57往 土194	4 ~ 5期	
60	B西	方形?	437 × 383 × - N78W -	不明	59往, P201・202	未検討	未調査
61	B西	方形	403 × 329 × 15 N98E -15.72	石組 西壁中央	6往, 土151	6期	カマドが壁外に張り出す 南東側にテラス状部分
62	B西	方形	484 × 456 × 31 N95E -21.00	石組 西壁中央	63往, 64往・98・100往 66往・68往	7 ~ 9期 3期	カマドが壁外に張り出す 2時期あり。後者は他遺構の混入品と概定
63	B西	方形	352 × (100) × 20 N88E -2.25	未確認	97往 47~62往	(3期?) 7 ~ 8期	本址と 62 往の 3 期の遺物が本來の時期か?
64	B西	方形	(262) × (357) × 39 N85W -5.85	被熱面 西壁中央?	62~68・98往	未検討	
65	欠番						
66	B西	方形	(200) × (391) × 24 N99E -7.03	石組 東壁中央	62~100往 68往	6 ~ 7期	カマドが壁外に張り出す
67	欠番						
68	B西	方形	456 × (385) × 33 N80W -15.94	石組 西壁中央	62~64・66往 75往	7 ~ 8期 3 ~ 4期	調査区外へ続く。カマドが壁外に張り出す 2時期あり。後者は他遺構の混入品と概定
69	欠番						
70	欠番						
71	B西	方形	379 × (254) × 43 N82W -9.02	未確認	99往	未検討	調査区外へ続く
72	B西	方形	428 × 381 × 34 N82E -13.34	石組? 東壁中央	75~78往	5 ~ 6期	礎塊塗住居
73	欠番						
74	B西	不整方形?	532 × 435 × - N39W -	不明	77往 56~75往, 土170	未調査	未調査
75	B西	方形?	(339) × 327 × - N42W -	不明	74~77~78往 72~76往	未調査	未調査
76	B西	方形	500 × 518 × 31 N82W -22.40	被熱面 西壁中央	75~77~78~237往 土187	未調査	カマドが壁外に張り出す
77	B西	方形?	(326) × (155) × - N40E -	不明	74 ~ 76往	未調査	未調査
78	B西	方形?	(373) × (115) × (35) N81W -	不明	72~75~76~237往	未調査	未調査
79	B西	方形	(335) × (498) × 31 N97E -3.05	被熱面 東壁	101往 80~81往	未検討	調査区域外へ続く
80	B西	方形	470 × (499) × 28 N81W -20.97	被熱面 西壁中央	79~81~101往, 土191 土174	未検討	調査区域外へ続く
81	B西	不整長方形	486 × (376) × 30 N71W -10.41	被熱面 西壁中央	79~83~237往 80~82往	1 ~ 2, 5 ~ 6, 7 ~ 8期 土器は 3 時期あるが 5 ~ 6 期が本址の時期	周溝あり西壁にカマドらしき焼土
82	B西	方形	488 × 465 × 40 N95E -19.13	石組 東壁中央	81~83~84往 P205	6期	
83	B西	方形	495 × (458) × 37 N103E -7.33	被熱面? 東壁	84~93~237往 81~82往	4 ~ 5期	
84	B西	方形	(151) × (467) × 38 N87W -4.17	石組? 西壁南寄り	94~101往 82~83往, P205	未検討	
85	B西	方形	279 × (162) × 19 N80W -3.91	未確認	101往 土181, P189~392	未検討	周溝あり
86	欠番						
87	欠番						
88	B西	方形	(265) × (298) × 36 N11E -6.74	石組 北壁中央	85~101往 94往, 土178~179~181~182~195	6 ~ 7期	カマドが壁外に張り出す
89	B西	方形?	385 × (65) × - N81W -	不明	90往 91往	未調査	未調査
90	B西	方形?	(414) × (124) × - N74W -	不明	89~91往, 土186, P198	未調査	未調査
91	B西	方形	382 × 393 × 22 N21E -12.99	被熱面 北壁中央	89~94往 土186, P199	5 ~ 6期	礎塊塗住居
92	欠番						
93	B西	方形	376 × 298 × 35 N101E -9.81	石組 東壁中央?	土187 83往	6期	礎塊塗住居
94	B西	方形	(327) × (318) × 29 N79W -8.86	被熱面 西壁南寄り	88往 84~91往, 土178	6期?	被熱面弱い

第2表 穫穴住居址一覧 (2/6)

No.	地区	平面形態 主軸方位	寸幅×既輪積×深さ mm 床面積 (m <sup>2</sup> )	カマド形態 未確認	遺構重視 (古) 遺構重視 (新)	出土土器の時期	備 考	
							未検討	B 東区 96 住との重複あり
95	B 西	方形?	260 × (180) × 6 (445)	未確認			未検討	B 東区 96 住との重複あり
96	B 西	不明	100 × 372 × —	被熱面	175 住		未検討	B 東区 95 住との重複あり
97	B 西	方形?	(167) × (600) × 27 N80W 8.17	被熱面	46+47+63 住		未検討	
98	B 西	方形	337 × (338) × 26 N83W (9.98)	石組?	64 住		未検討	礎廻り住居
99	B 西	方形	(235) × (199) × 46 N83W (3.73)	未確認	71 住, P177		未検討	調査区域外へ続く
100	B 西	方形?	— × — × 19 N87W —	被熱面	62+66 住, 土 153, P171+173+175		未検討	一部のみ掘り下げ
101	B 西	方形?	(345) × (440) × N79W —	西壁中央	79~81+84~85+88~94 住, 土 176		未検討	
102	B 東	方形	(163) × (349) × N83W 4.70	被熱面	西壁中央	P214	未検討	調査区域外へ続く 未掘が既出時に床面まで下がる
103	B 東	方形	385 × 256 × N108E 6.56	被熱面	土 300		1 ~ 2 期	調査区域外へ続く
104	B 東	方形	392 × 320 × N2E 11.3	東壁中央?	土 215+296 ~ 299+389			
105	B 東	方形?	442 × (150) × N13E —	被熱面	105+108+187 住		未検討	調査時に 107 住との切り合い測認
106	欠番							
107	B 東	長方形?	387 × 281 × N89E (9.66)	被熱面	104+108+187 住		未検討	礎廻り住居
108	B 東	方形	563 × (356) × N66E (6.05)	不明	104+107+187 住	5C		
109	欠番							
110	B 東	方形	608 × 546 × N98W 31.25	石組	西壁中央	111 ~ 113 住	6 ~ 7 期	壁間に襖配置。カマド被熱が大きい 2 時期あり。後者は 111 住からの混入品
111	B 東	方形	503 × 420 × N87W (12.07)	未確認		113+186 住	5C	
112	B 東	方形?	(605) × (147) × 13 N88E —	被熱あり	110 住, P243		5C	
113	B 東	方形	631 × (445) × 27 N5E (5.76)	未確認	186 住		5C	
114	B 東	方形	(170) × (390) × 38 N100E (5.91)	石組?	東壁中央	(115) 住, 土 200+231+390, P237+239	7 ~ 8 期	調査時に 115 住との切り合い測認
115	B 東	不整方形	436 × (402) × 18 N76W (11.19)	被熱あり	(114) 住	6C	6 ~ 7 期	調査時に 114 住との切り合い測認 後者は 116 住の混入品
116	B 東	方形	550 × (181) × 30 N73W (6.83)	未確認	116 住, 土 200		未検討	
117	B 東	方形?	(420) × (102) × 35 N89W (1.14)	未確認	117 住		未検討	
118	B 東	方形	400 × (460) × 18 N77W 16.54	石組	西壁南北寄り	P238	7 ~ 8 期	カマド新旧 2 基あり
119	B 東	方形?	(214) × (174) × 20 N15E (3.16)	未確認			未検討	土 392 との重複あり
120	B 東	方形	547 × 545 × 20 N96E 20.76	被熱面	119+121 住		3 ~ 4 期	土 398 との重複あり
121	B 東	方形	533 × 510 × 11 N93E (13.42)	石組	111+186 住, 土 229		4 期	
122	B 東	方形	465 × 464 × 38 N97E 18.88	石組	118+120+134+188 住, 土 39		未検討	
123	欠番							
124	B 東	方形	(518) × 535 × 27 N89E (8.37)	石組?	134+159 住, 土 244		4 ~ 5 期	床面に別住居のカマド焼出
125	B 東	不整方形	611 × 543 × 28 N79E (19.62)	理塵炉?	122 住		4 ~ 5C	
126	B 東	方形	427 × 411 × 12 N128E (12.75)	被熱面	120+122+132+134+188 住, 土 5		未検討	
127	B 東	方形?	(386) × (262) × N20E —	東壁南北寄り	127 住, 土 257 ~ 259			
128	B 東	方形	(329) × 355 × N69W —	不明	128+130 住, 土 261		未検討	未調査。北東側の襖はカマドの可能性
129	B 東	方形	(335) × 417 × N21E —	不明	127+129 住		未検討	未調査。
130	B 東	方形	248 × (46) × N63W —	不明	127+128 住		未検討	未調査。
131	B 東	方形?	284 × 69 × N68W —	不明	129 住		未検討	未調査。
132	B 東	方形	430 × (370) × 25 N103E 12.70	石組	125+133+134 住, 土 270		未検討	
133	B 東	方形	(226) × (350) × 23 N81W 6.69	被熱面	135 住		2 ~ 3 期	煙道あり
134	B 東	方形	(416) × (335) × 30 N86W (11.31)	西壁南北寄り	134 住		1 期以前	煙道あり

第 2 表 積穴住居址一覧 (3/6)

No	地区	平面形態 主軸方位	主軸×直交軸×深さ回 床面積(㎡)	カマド形態 未確認	遺構重複(古) カマド位源	遺構重複(新) 未確認	出土土器の時期	備 考
135	B 東	方形	531×494×41 (11.85)	未確認	133・140住、P274		7C	
136	B 東	方形?	(317)×(468)×—	不明	137・138住		未検討	未服
		N73W	—	西壁南寄り	140住			検出面で被熱跡確認
137	B 東	方形	(330)×(430)×—	煙道あり			未検討	
		N23E	—	北壁?	129・136住			北壁に煙道あり主軸とする
138	B 東	方形	338×(279)×—	不明	142住		未検討	未服
		N64W	—	西壁中央?	136・139・140住、上279			西壁に焼土あり主軸とする
139	B 東	方形?	(410)×313×—	石組	138・140・142住		未検討	未服
		N118E	—	東壁南寄り	141住、上294			140住振り下押時にカマド確認
140	B 東	方形	(338)×(425)×37 (15.27)	被熱面	135・136・138住 139住、上294	P273・275	7C	調査時に139住との切り合い誤認
		N72W	—	西壁中央				
141	B 東	方形	426×395×28 (16.05)	被熱面	139・142・143・149住		未検討	
		N80W	—	北壁西寄り	147住、P287			
142	B 東	長方形?	(524)×(425)×—	不明	138・139・141・143・145住		未掘	
		N23E	—					
143	B 東	方形	(365)×(298)×27 N20W (4.80)	被熱面	142・151住		7C	148住の下層に被熱面あり西カマドか
		—	西壁中央?	141・149住				
144	B 東	方形	(284)×(331)×25 (2.50)	石組?			未検討	
		N105E	—	東壁北寄り	155住			
145	B 東	方形?	(162)×395×10 (4.40)	被熱面	142住		1期以前 1~3期	2時刻あり、遺構所見からの時刻判別は不能
		N83W	—	北壁東寄り				
146	欠番							
147	B 東	方形	433×350×36 (13.88)	被熱面	141・148・149住		6~7期	腰庇窓住居
		N75W	—	西壁中央	P268~270			
148	B 東	方形	(231)×397×18 N71W (8.53)	被熱面	149住		7C	煙道あり。カマドに煙を導える
		N20E	—	西壁中央	147住			
149	B 東	方形	558×495×23 N15E (26.04)	未確認	143・150・151住、上273、P281		6~7期	
		—	—	141・147住、P287				
150	B 東	方形?	465×(193)×—	不明	151・152住、上278、P283		未掘	未掘
		N15E	—		上276、P284			
151	B 東	方形?	296×(75)×—	不明			未掘	未掘
		N73E	—					
152	B 東	不明	(545)×385×—	不明	154住		未掘	未掘
		N17E	—		100・108・109住、上275・276、西 壁			
153	B 東	不明	(272)×250×—	不明	152住		未掘	未掘
		N83W	—		167住、上277~285			
154	B 東	不明	433×(100)×—	不明	157住		未掘	未掘
		N70W	—		144・152・155住、P285			
155	B 東	方形	(315)×458×18 N18E (7.11)	石組	144・154・157住		8期	
		—	北壁中央	156住				
156	B 東	方形	503×(159)×20 N74W (6.81)	未確認	155・158住		8~9期	
		—						
157	B 東	方形?	(272)×(163)×—	不明	178住		未掘	未掘
		N22E	—		154~156・158住、P298~299			
158	B 東	方形?	(422)×(160)×—	不明	157・178住		未掘	未掘
		N76W	—		156・179住、上286			
159	B 東	方形	428×520×25 N78W (3.35)	石組	162住		未検討	カマドの被熱面2枚
		—	西壁中央	124住				
160	欠番							
161	B 東	方形?	513×(474)×29 N74W (17.56)	石組土?	上267~268		7C	煙道あり
		—			162住、上265、P261			
162	B 東	方形	(475)×(148)×27 N80W (6.32)	未確認	161・163住		4~5期	南東隅に腰庇中
		—						
163	B 東	方形	669×(224)×29 N77W (14.07)	石組?	164住、上274		7C	
		—	西壁南寄り	162住、P280				
164	B 東	方形	420×420×29 N92W (16.03)	未確認	152・166・167・235住		7C	北西に焼土
		—			渠6			
165	B 東	方形	(232)×(180)×33 N88W (3.37)	未確認	166~235住		未検討	
		—						
166	B 東	方形	(210)×(352)×26 N100W (5.90)	方形	165・167住		6C	
		—	西壁中央	164・235住、P295				
167	B 東	方形?	485×(430)×—	不明	178住		未検討	未掘。プラン不確
		N69W	—		164・166~177・185住、上283			
168	B 東	方形	457×(496)×43 N75W (21.23)	石組	169~170~184住、上283~291、P290		1~2期	壁際5カ所に被熱面
		—			P292			
169	B 東	方形	472×(285)×—	不明	173~184住		未掘	未掘
		N106E	—		168~170~172~185住、上284			
170	B 東	方形?	228×(36)×—	不明	169~173住		未掘	未掘。大型土坑か
		N18E	—		168住			
171	B 東	方形	326×(49)×—	不明	169住		未掘	未掘
		N75W	—		172住			
172	B 東	長方形	627×475×—	不明	169~171~173~180~181~185住		未掘	未掘
		N10E	—		176住			
173	B 東	不明	(319)×(120)×—	不明	170~172~180住、上292、P307		未掘	未掘
174	欠番							

第2表 積穴住居址一覧 (4/6)

No	地区	平面形態 主軸方位 床面積 (m)	カマド形態 床面積 (m)	遺構重複 (古) 東壁・南寄り	遺構重複 (新)	出土器の時期	備考
175	B 東	方角? 140×93×12 N83E —	被熱面	未検討			
176	B 東	方形 360×330×— N82W —	不明	96 住	未掘	未掘	
177	B 東	方形 400×360×— N80W —	不明	167・178・179・185 住	未掘	未掘	
178	B 東	方角? 380×286×— N13E —	不明	172・180・181 住	未掘	未掘	
179	B 東	方角? (595)×(164)×— N75W —	不明	157・158・167・177・179 住	未掘	未掘	検出面で東壁に梯土
180	B 東	方形? (190)×425×— N102W —	不明	173・181・182 住	未掘	未掘	検出面で西壁に梯土
181	B 東	不明? (244)×(140)×— — —	不明	172・176・179・180 住	未掘	未掘	
182	B 東	方角? 390×(315)×— N12E —	不明	183 住	未掘	未掘	B 西区へ続く
183	B 東	方角? 135×70×— N16E —	不明	180 住	未掘	未掘	
184	B 東	不明? 270×(95)×— N9E —	不明	107 住, 土 283	未掘	未掘	
185	B 東	方形? (130)×(80)×— N86W —	不明	168・169・185 住, 土 284	未掘	未掘	
186	B 東	方形? (309)×(140)×27 N96E (311)	未確認	111・113・121 住	5C		
187	B 東	方形 200×(350)×11 N96W (6.19)	石組	108 住	4 期	2 時期あり。後者は 187 住の混入品と推定	
					5~6C		
188	B 東	不明? —×—×— N103E —	石組	104・107 住	6~7 期	カマドのみの抽出でプラン不明	
					5C, 7C	3 時期あり。5C の一部は 125 住からの混入	
189	欠番	—	—	122 住, 滝 5			
190	A	不明 —×—×—	被熱面	黃 3	未検討	被熱面, P1・2 のみ確認	
				11~13 住			
191	C 北	方形 (200)×(413)×13 N55W (7.79)	被熱面	192・234 住	7~8 期		
192	C 北	方形 429×(387)×21 N80W (10.12)	石組	193・(24) 住	7 期	瓦, 緑釉出土	
193	C 北	方角? (260)×(200)×— N89W —	不明	191 住	未検討		
194	欠番	—	—	192 住			
195	C 北	方形? 365×(108)×— N25E —	不明	197 住	7C		
196	欠番	—	—				
197	C 北	方形? (335)×(250)×— N76W —	不明	195 住, P310~313	未掘	未掘	
198	C 北	方形? 510×(250)×— N79W —	不明		未検討	一部のみ掘り下げ	
199	欠番	—	—				
200	欠番	—	—				
201	欠番	—	—				
202	欠番	—	—				
203	欠番	—	—				
204	C 北	方角? (355)×(325)×— N21W —	不明	205 住	未掘	未掘	
205	C 北	不明 —×—×—	不明	土 310, P338~339・341~342	未掘	未掘	
206	C 北	長方形? 503×340×— N67W —	不明	206~209・250 住, 土 313, P344~346	未検討		
207	C 北	方形 440×(425)×— N74WE —	不明	207 住, P320~323・329~344	未検討		
208	C 北	方形 530×(345)×— N17W —	不明	207 住, 土 304	未検討	一部のみ掘り下げ	
209	C 北	長方形? 314×420×47 N101E 9.97	石組?	208~210 住, 土 304	5 期	カマド石抜き取り穴あり 土跡出土	
210	C 北	方形 497×440×38 N13E —	不明	207~217 住, 黄 13	未検討	一部のみ掘り下げ	
211	欠番	—	—	209 住, 土 304			
212	C 北	方形 (375)×(330)×— N13E —	不明	213 住	未検討		
213	C 北	(210)×(158)×—	不明	土 314~324, P358~359	未検討		
214	C 北	不明 (225)×(215)×	不明	214 住	未検討		
				212~215~218 住			
215	C 北	方形 400×396×27 N30E (8.39)	未確認	213~215~216~218 住, 土 326~327	1 期		
216	C 北	方形 478×482×30 N73W 19.59	石組粘土 西壁中央	216 住, 土 313	7C	埋道あり	
217	C 北	長方形 400×300×— N17E —	不明	205 住	未検討	未掘	
				207~209 住, 土 315~318, P346~349			

第2表 積六住居址一覧 (5/6)

No	地区	平面形態	主軸×底面幅×深さ(cm)	カマド形態	遺構重複(古)	出土土器の時期	備考
		主軸方位	床面積(cm <sup>2</sup> )	カマド位置	遺構重複(新)	未検討	
218	C 北	方形 N75W	510×385×~ ~	不明	212~214往 ±39往, ±38往~38往, F30~F33		
219	欠番						
220	C 北	楕円方形? N14E	373×(197)×32 (6.00)	未確認	218往 ±36往, P389+390	7C	
221	C 北	楕円方形? N14E	345×(169)×41 (4.56)	被熱面 東壁南寄り	±323, 高13	5期	
222	欠番						
223	欠番						
224	欠番						
225	欠番						
226	C 南	方形 N100E	274×250×18 595	石組 東壁南寄り	高13 ±352, P386	8期	
227	欠番						
228	C 南	方形 N3E	358×(321)×20 (10.65)	石組 北壁中央		5期	カマドが壁外に張り出す 中央に礎痕壁
229	欠番						
230	欠番						
231	欠番						
232	欠番						
233	欠番						
234	C 南	不規則 N139W	~×~×11 ~	被熱面 南壁	191+192往	未検討	燒土のみ検出
235	B 東	方形? N76W	65×(264)×32 (1.53)	不明 西壁中央?	165+166往 164往	未検討	被熱層はないかがカマド石らしきものあり 調査後の整理作業で遺構認定
236	B 西	不明 N75W	(70)×(251)×	被熱面 西壁	41往	未検討	
237	B 西	方形? N18E	446×(322)×	不明	78往 76.81~83往	未検討	

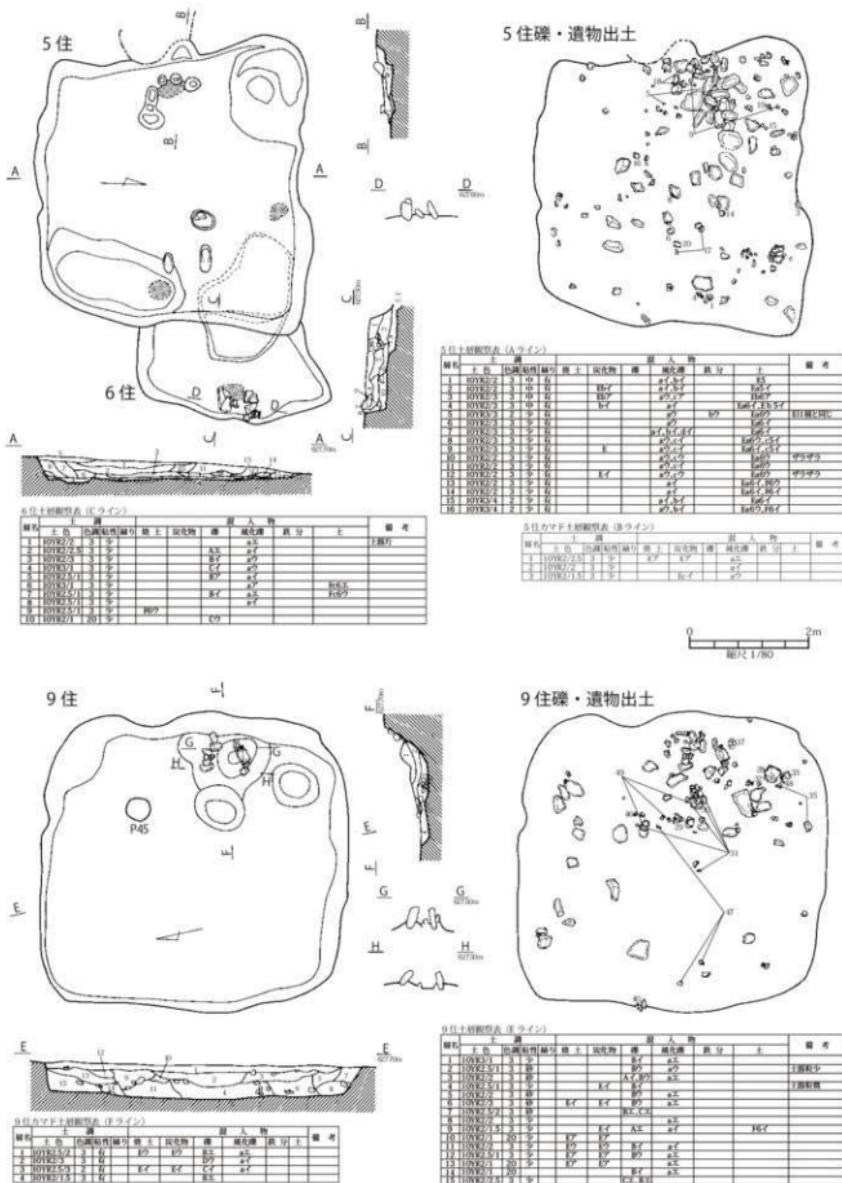
第2表 穴穴住居址一覧 (6/6)

No	平面形	主軸方向	規 模 (cm)	柱間寸法(cm)	柱 六			備 考
					平面形	規模 (cm)	柱直 (cm)	
1	方 形	N-12-E	2間×2間	桁行 128~172	円形	径 26~58	10~20	
	矩 柱	10.9 m	364×280	梁間 152~200		深 46~88		
2	方 形	N-29-E	2間×2間	桁行 152~192	円形	径 42~80	な し	
	側 柱	12.2 m	364×332	梁間 168~180	方 形	深 46~69		
3	長方形	N-17-E	3間×2間以上	桁行 228~256	円形	径 50~80	不 明	西側のみの検出
	側 柱	(22.2 m)	584×228(440)	梁間 188~200		深 14~30		
4	長方形	N-19°-E	4間×2間以上	桁行 300	円形	径 44~74	不 明	東側のみの検出
	側 柱	(20.9 m)	688×300(540)	梁間 152~200		深 17~33		
5	長方形	N-3-E	5間以上×2間	桁行 152~180				側面の掘藏なし
	側 柱	(26.2 m)	644(796)×360	梁間 148~180				
6	長方形	N-20-E	3間以上×1間	桁行 292				側面の掘藏なし
	側 柱	(13.3 m)	392(468)×292	梁間 180~212				

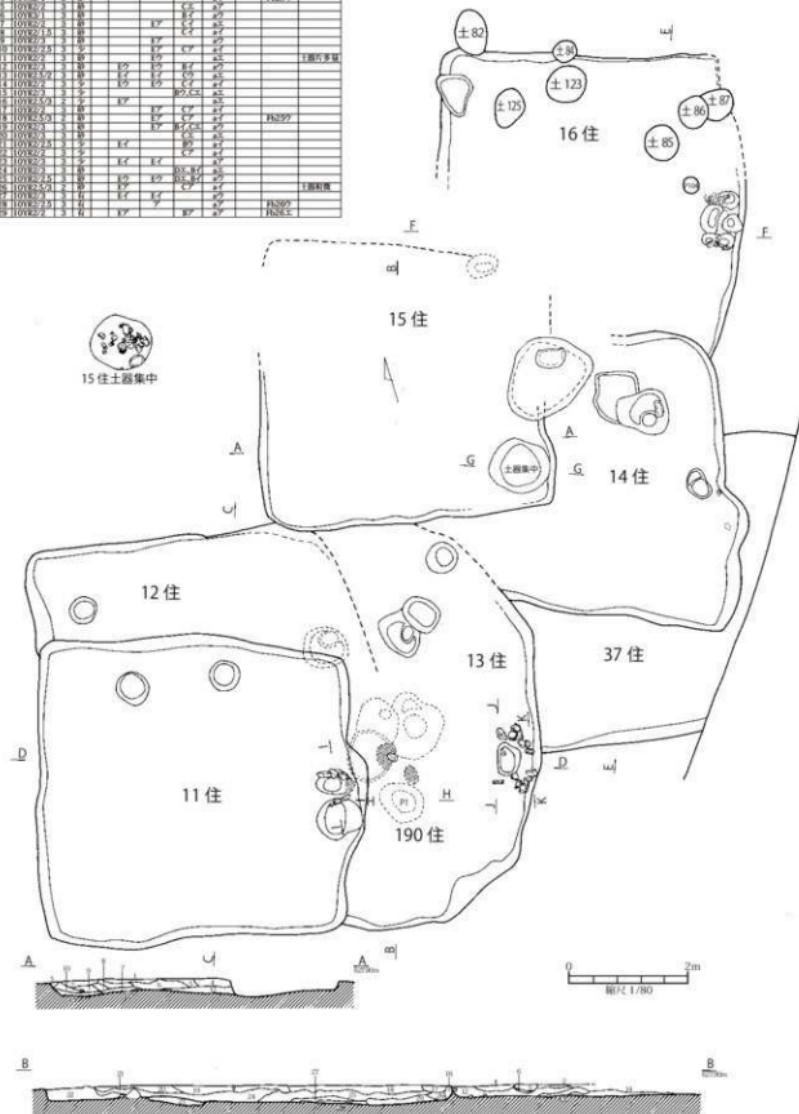
第3表 掘立柱建物址一覧

No.	地名	平面形	長軸	短軸	深さ	斜面傾角	出土遺物	備考
No.	地名	平面形	長軸	短軸	深さ	斜面傾角	出土遺物	備考
1	A 内田	75 79 35						
2	A 内田	50 49 19						
3, 22	A 長田原	56 57 57						
4	A 内田	49 43 20						
5, 22	A 長田原	56 57 54						
6	A 内田	60 80 14						
7, 22	A 内田	67 66 47						
8, 22	A 手堅原	80 48 52	III-317					
9	A 内田	52 49 17						
10	矢張							
11	A 内田	50 45 23						
12	A 内田	45 45 15						
13	A 内田	48 48 15	III-14, IV-9					
14	A 長田原	51 45 24	II-13					
15	A 長田原	96 67 54						
16	A 内田	50 45 45						
17	6 A 長田原か	700-555 28	III-366					
18, 6	A 内田か	60-344 21						
19	A 内田	50 44 53						
20	長田原か	55 44 24						
21	矢張							
22	A 内田	59 52 35						
23	A 内田	59 52 17						
24	A 内田	54 49 33						
25, 21	A 内田	65 60 26	II-1					
26	矢張							
27, 21	A 内田	65 62 26	II-1					
28	矢張							
29, 21	A 内田	55 45 32	II-1					
30	A 長田原	56 45 20	III-8					
31, 21	A 内田	76 68 40	II-1					
32, 21	A 内田	85 80 42	II-1					
33, 21	A 長田原	66 53 43	II-1					
34	A 内田	55 53 37						
35	A 内田	55 53 36						
36	A 内田	75 72 56	II-1					
37	A 長田原	61 42 -	II-8					
38	A 内田	62 52 40						
39	A 内田	79 75 7						
40	矢張							
41	A 長内弓原	140 91 32	中田か					
42	A 内田	89 89 31	中田か					
43	A 長田原	123 73 25	II-44	中田か				
44	A 長田原か	147 60 24	II-43	中田か				
45	A 矢張	118 71 33	中田か					
46	A 長内弓原	131 73 31	II-842	中田か				
47	A 内田	45 37 14						
48, 6	A 内田	73 106 45	III-500	II-8				
49, 22	A 内田	75 48 21	III-8	II-8				
50	A 内田	46 43 25	II-8	II-8				
51	A 内田	66 62 25	II-83	II-8				
52, 22	A 内田	55 44 31	II-83	II-8				
53, 22	A 内田	62 59 25	II-83	II-8				
54, 22	A 内田	66 63 34	II-83	II-8				
55	A 内田	65 45 16	II-83					
56	A 内田	65 45 16	II-83					
57	A 内田	64 59 16	II-83					
58	A 内田	69 66 16	II-83					
59	A 内田	58 49 18	II-83					
60	A 内田	57 51 28	II-83					
61	A 長田原	65 53 16	II-83					
62	A 内田か	89 495 61	II-127					
63	A 矢張	49 36 36						
64	A 内田	77 74 48						
65	A 内田	83 20 28						
66, 6	A 長田原	94 65 11	II-303	II-3	220~222 平安土器(赤)・馬頭			
67	A 長田原	48 35	II-8					
68	A 内田	72 62 19	II-8	223	丘陵斜面			
69, 6	A 内田	50 46 14	II-303	II-3	II-8			
70	A 内田	63 67 18	II-8	II-8	II-8			
71	矢張	53 33 18						
72	A 内田	56 50 25						
73	A 内田	55 48 32						
74	A 内田	55 46 41						
75	A 長田原	69 53 12						
76	A 内田	51 48 32	II-21(5)					
77	A 内田	54 53 40	II-87					
78	A 内田	59 53 25	II-87					
80	A 手堅原	79 20 25						
80	A 長田原	66 56 17						
81	A 内田	49 44 17						
82, 2	A 長田原	75 52 21	II-16(5)	II-7	II-8			
83	A 内田	61 54 29	II-87					
84, 2	A 内田	40 34 19	II-31(5)	II-7	II-8			
85, 2-2	A 内田	55 45 25	II-16(5)	II-7	II-8			
86	A 内田	55 50 25	II-19(5)	II-7	II-8			
87	A 内田	(45) 50 16	II-9, 86					
88, 21	A 内田	61 50 15	II-87					
89, 21	A 内田	77 69 40	II-1					
90, 21	A 内田	65 60 24	II-87					
91	矢張							
92, 21	A 長田原	72 65 20						
93	A 内田	72 65 20						
94	A 内田	57 93 21						
95, 4	A 内田	93 71 29	II-18(1)					
96	A 内田	55 45 20	II-87					
97	A 長田原	83 62 24	II-134	II-87				
98	A 矢張	- - -						
99	A 長田原	77 65 12	II-87					
100	A 内田	57 47 17	II-87					
101	矢張							
102	A 長田原	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
103	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
104	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
105	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
106	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
107	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
108	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
109	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
110	A 長田原	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
111	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
112	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
113	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
114	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
115	A 長田原	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
116	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
117	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
118	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
119	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
120	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
121	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
122	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
123	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
124	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
125	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
126	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
127	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
128	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
129	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
130	A 内田	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
131	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
132	S 内田	65 56 9	II-89					
133	A 不明	- - -						
134	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
135	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
136	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
137	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
138	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
139	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
140	A 内田	62 59 -						
141	A 内田	50 50 -						
142	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
143	A 内田	56 53 11						
144	A 内田	48 33 -						
145	A 内田	57 48 -						
146	A 内田	71 63 -						
147	A 内田	47 47 -						
148	A 内田	49 34 -						
149	A 内田	87 (50) -						
150	A 内田	52 48 -						
151	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
152	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
153	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
154	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
155	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
156	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
157	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
158	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
159	A 不明	51 42 -						
160	A 不明	38 38 7						
161	A 不明	59 54 -						
162	A 不明	51 49 -						
163	A 不明	48 47 -						
164	A 不明	80 80 -						
165	A 不明	52 18 -						
166	A 不明	59 49 -						
167	A 不明	82 82 -						
168	A 不明	58 (50) -						
169	A 不明	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13	II-87	100 13
170	A 不明	41 41 -						
171	A 不明	21 21 -						
172	A 不明	173 173 -						
173	A 不明	12 12 -						
174	A 不明	123 147 -						
175	A 不明	52 18 -						
176	A 不明	208 215 -						

No.	区	地名	平面形	北緯	東經	深さ	剖面図	出土物類	No.	地区	平面形	北緯	東經	深さ	剖面図	出土物類	参考
2011.15	東	内野	△14 111 35	310120E	40	標高標、岩盤以降跡	3011	C区	内野	△70 71	31380E	40					
302	東	内野	60 49	-			3022	C区	内野	64 74	31306E-2070	40					
203	東	内野	(55) 50	-			3033	C区	内野	54 21	31307E	40					
204	東	不動明	102 83	-			3044	C区	内野	230 200	31210E-3020E	40					
205	東	内野	(37) 57	311220E			3055	C区	内野	57 57	31207E	40					
206	東	内野	67 57	311220E			3066	C区	内野	100 55	31208E	40					
207	東	内野	87 59	-			3077	C区	内野	68 50	31209E	40					
208	東	内野	75 65	-			3088	C区	内野	70 63	31304E-31312E	40					
209	東	内野	60 51	-			3099	C区	内野	53 47	31305E-31307E	40					
210	東	内野	66 54	-			3110	C区	内野	55 53	31304E	40					
211	東	内野	57 59	-			3111	C区	内野	70 63	31304E-31312E	40					
212	東	内野	49 48	-			3112	C区	内野	53 47	31305E-31312E	40					
213	東	内野	50 49	310120E			3113	C区	内野	56 46	31305E-31306E	40					
214	東	内野	51 47	-			3114	C区	内野	70 60	-	40					
215,14	東	内野	53 57	310120E-31207E-31208E			3115	C区	内野	73 62	31302E-31317E	40					
216	東	内野	51 48	-			3116	C区	内野	100 87	31321E	40					
217	東	内野	44 39	-			3117	C区	内野	68 50	31321E	40					
218	東	内野	75 51	-			3118	C区	内野	58 87	31326E-31327E	40					
219	東	内野	55 45	-			3119	C区	内野	60 40	31321E	40					
220	東	内野	50 49	310120E			3200	C区	内野	109 90	31321E	40					
221	東	内野	74 57	310120E-310230E			3211	C区	内野	70 58	31025E	40					
222	東	内野	75 68	-			3222	C区	内野	58 50	-	40					
223	東	内野	50 47	-			3232	C区	不整形	140 90	31021E	40					
224	東	内野	55 52	-			3242	C区	内野	78 660	31321E-31328E-31329E	40					
225	東	内野	68 60	-			3252	C区	内野	120 70	31328E	40					
226	東	内野	59 52	-			3262	C区	不整形	75 60	31324E-31328E	40					
227	東	内野	61 51	-			3272	C区	内野	75 58	31324E	40					
228	東	内野	54	-			3282	C区	内野	53 44	31324E	40					
229	東	内野	65 (52)	310120E			3292	C区	内野	55 52	31318E-31330E	40					
230	東	内野	54 37	-			3302	C区	不明	75 55	31318E-31329E	40					
231,13	東	内野	55 48	31114E			3311	C区	内野	125 70	31030E	40					
232	東	内野	63 49	-			3322	C区	平整前	205 265	-	40					
233	東	内野	52 51	-			3332	C区	内野	63 55	-	40					
234	東	内野	54	-			3342	C区	内野	54 54	-	40					
235	東	内野	55	-			3352	C区	内野	115 105	-	40					
236,15	東	内野	69 59	310120E-31242E			3362	C区	内野	75 55	31313E	40					
237	東	内野	54	-			3372	C区	内野	90 60	31313E	40					
238	東	内野	50 48	-			3382	C区	内野	90 99	31313E	40					
239	東	内野	46 45	-			3392	C区	内野	65 55	31313E	40					
240	東	内野	51 46	-			3402	C区	内野	60 50	31313E	40					
241	東	内野	52	-			3412	C区	内野	120 118	31313E	40					
242	東	内野	69 45	310120E			3422	C区	内野	75 55	31313E	40					
243	東	内野	52 49	-			3432	C区	内野	60 50	31313E	40					
244	東	内野	136 79	310124E-31124E			3442	C区	内野	63 58	31313E	40					
245	東	内野	36 51	310124E			3452	C区	内野	48 43	31313E	40					
246	東	内野	700 55	310230E			3462	C区	内野	75 65	31313E	40					
247	東	内野	180 (カマツ)海苔	-			3472	C区	内野	50 48	31313E	40					
248	東	内野	54	-			3482	C区	内野	60 67	31313E	40					
249	東	内野	56 50	-			3492	C区	内野	69 60	31313E	40					
251	東	内野	67 46	310125E			3502	C区	内野	55 51	-	40					
252	東	内野	700 (52)	310125E-310230E			3512	C区	内野	62 56	-	40					
253	東	内野	190 (52)	310125E			3522	C区	内野	100 82	31260E	40					
254	東	内野	-	-			3532	C区	内野	60 55	-	40					
255	東	内野	-	-			3542	C区	内野	100 70	31277E	40					
256	東	内野	72 45	-			3552	C区	内野	100 70	31277E	40					
257,16	東	内野	191 81	310126E			3562	C区	内野	75 70	31324E-31325E	40					
258,16	東	内野	65 54	310126E			3572	C区	内野	75 50	-	40					
259,16	東	内野	55 48	310126E			3582	C区	内野	77 (70)	-	40					
260,15	東	内野	137 88	310130E			3592	C区	内野	83 70	-	40					
261	東	内野	55 51	310127E			3602	C区	内野	105 76	-	40					
262	東	内野	362 (43)	-			3612	C区	内野	105 76	-	40					
263	東	内野	98 (43)	-			3622	C区	内野	122 81	-	40					
264	東	内野	56 55	-			3632	C区	内野	98 58	-	40					
265,18	東	内野	304 78	310108E-31262E			3652	C区	内野	108 58	-	40					
266	東	内野	53 (51)	310130E			3662	C区	内野	147 45	-	40					
267	東	内野	125 81	310108E-31267E			3672	C区	内野	77 60	-	40					
268	東	内野	54 (42)	310108E			3682	C区	不明	45	31309E-31310E	40					
269	東	内野	-	-			3692	C区	内野	(69) (50)	31220E	40					
270	東	内野	400 60	310132E			3702	C区	内野	105 76	31261E	40					
271	東	内野	46 46	310128E			3712	C区	内野	61 (61)	31410E	40					
272	東	内野	315 49	310128E			3722	C区	内野	54 45	31440E	40					
273	東	内野	31 (44)	310100E-31276E			3732	C区	不明	107 (52)	-	40					
274	東	内野	77 (15)	310100E-31276E			3742	C区	内野	374 58	-	40					
275	東	内野	86 65	310127E			3752	C区	内野	375 58	-	40					
276	東	内野	165 115	310100E-31274E-31276E			3762	C区	内野	376 58	-	40					
277	東	内野	100 80	310125E-31276E			3772	C区	内野	377 58	-	40					
278	東	内野	56 49	310126E			3782	C区	内野	378 58	-	40					
279	東	内野	56 49	310126E			3792	C区	内野	379 58	-	40					
280	東	内野	40 (54)	31029E			3802	C区	内野	380 58	-	40					
281	東	内野	-	-			3812	C区	内野	381 58	-	40					
282	東	内野	60 51	-			3822	C区	内野	382 58	-	40					
283	東	内野	151 119	310107E-310108E-310140E			3832	C区	内野	383 58	-	40					
284	東	内野	75 71	310108E-310107E-310126E			3842	C区	内野	384 58	-	40					
285	東	内野	64 51	310107E			3852	C区	内野	385 58	-	40					
286	東	内野	57 23	310158E			3862	C区	内野	386 58	-	40					
287	東	内野	(77) 98	310158E			3872	C区	内野	387 58	-	40					
288	東	内野	(76) 54	-			3882	C区	内野	388 58	-	40					
289	東	内野	-	-			3892	C区	内野	389 58	-	40					
290	東	内野	57 45	-			3902	C区	内野	68 65	-	40					
291	東	内野	204 (265)-310108E	310108E-310126E			3912	C区	内野	52 41	-	40					
292	東	内野	58 44	310128E			3922	C区	内野	42 42	-	40					
293	東	内野	123 22	310108E-310109E-310128E			3932	C区	内野	57 57	-	40					
294	東	内野	63 63	310400			3942	C区	内野	69 47	-	31118E	40				
295	東	内野	51 (24)	-			3952	C区	内野	61 43	-	31118E-3120E	40				
296	東	内野	51 48	310108E			3962	C区	内野	75 63	-	31118E	40				
297	東	内野	960 (24)	310100E-310108E			3972	C区	内野	56 39	-	40					
298	東	内野	51 (45)	310100E-310108E			3982	C区	内野	68 45	-	40					

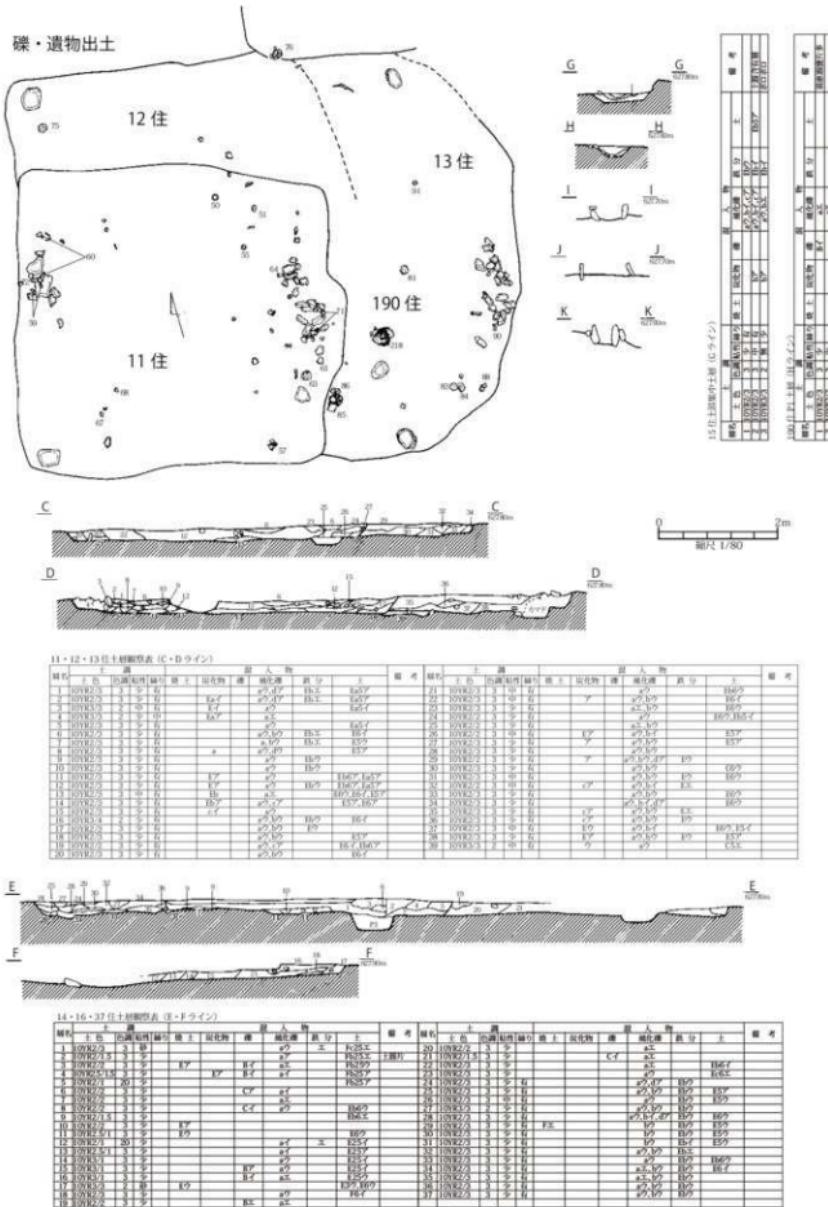


第5図 遺構実測図(1)

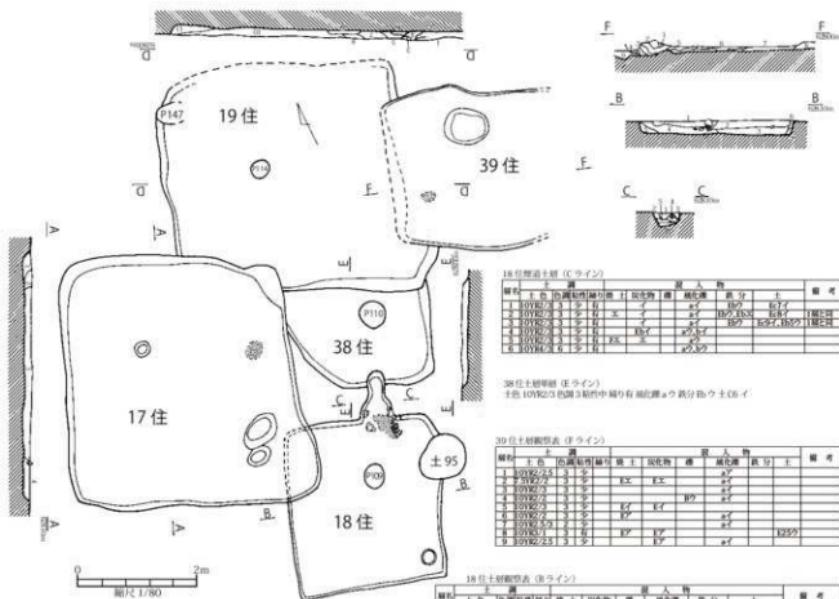


### 第6図 遺構実測図(2)

碟·遗物出土



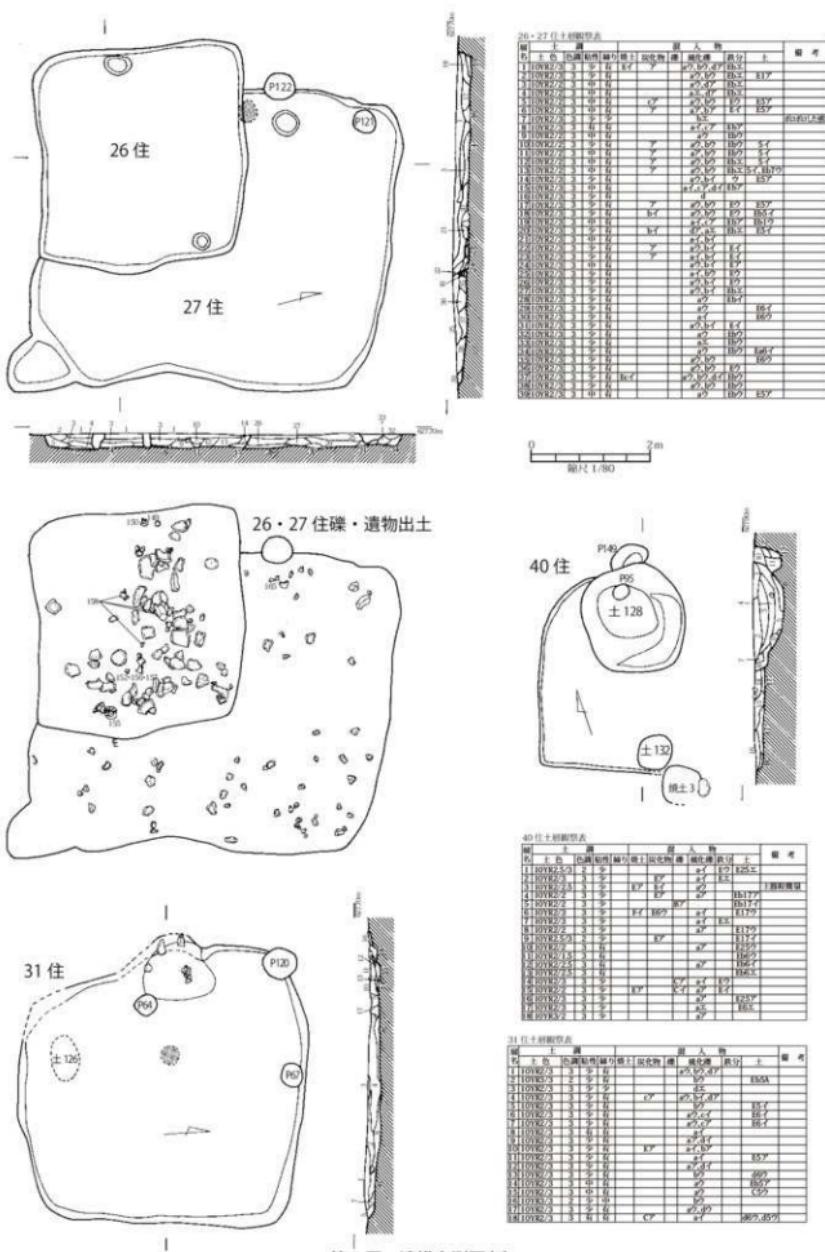
### 第7図 遺構実測図(3)



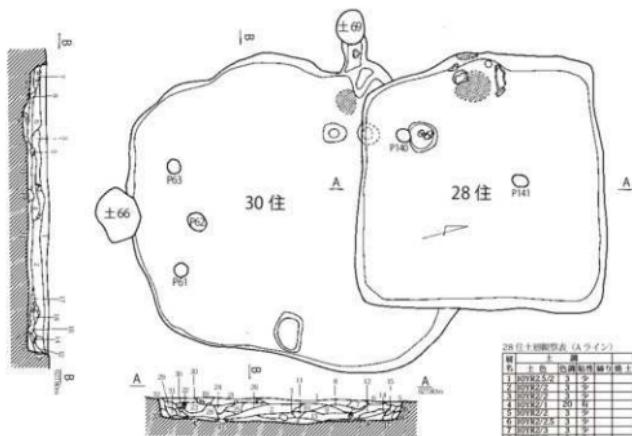
解説	上	色	色画痕跡	縫合	地工	炭化物	遺	風化層	風	土	備考
1	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
2	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
3	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
4	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
5	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
6	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
7	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
8	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
9	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
10	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
11	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	

解説	上	色	色画痕跡	縫合	地工	炭化物	遺	風化層	風	土	備考
1	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
2	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
3	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
4	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
5	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
6	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
7	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
8	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
9	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
10	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	
11	10992/2	3	少	少	少	少	少	少	少	少	

第8図 遺構実測図(4)



### 第9図 遺構実測図(5)

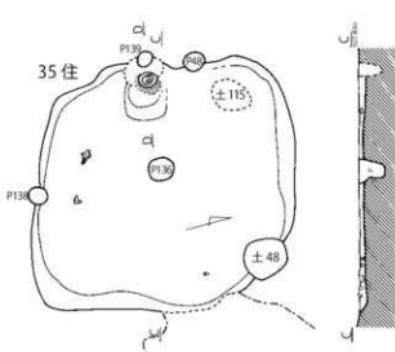


30住土切削断面(手ライン)

層	上層	下層	層入物	層	層
1	1	2	1	2	3
2	2	3	2	3	4
3	3	4	3	4	5
4	4	5	4	5	6
5	5	6	5	6	7
6	6	7	6	7	8
7	7	8	7	8	9
8	8	9	8	9	10
9	9	10	9	10	
10	10		10		

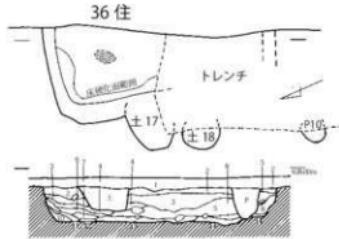
28住土切削断面(手ライン)

層	上層	下層	層入物	層	層
1	1	2	1	2	3
2	2	3	2	3	4
3	3	4	3	4	5
4	4	5	4	5	6
5	5	6	5	6	7
6	6	7	6	7	8
7	7	8	7	8	9
8	8	9	8	9	10
9	9	10	9	10	
10	10		10		



35住土切削断面(手ライン) 平面  
土色TR3/3色緑2粘性少縫合有機物Eaアラカイ風化層aエキEak

層	上層	下層	層入物	層	層
1	1	2	1	2	3
2	2	3	2	3	4
3	3	4	3	4	5

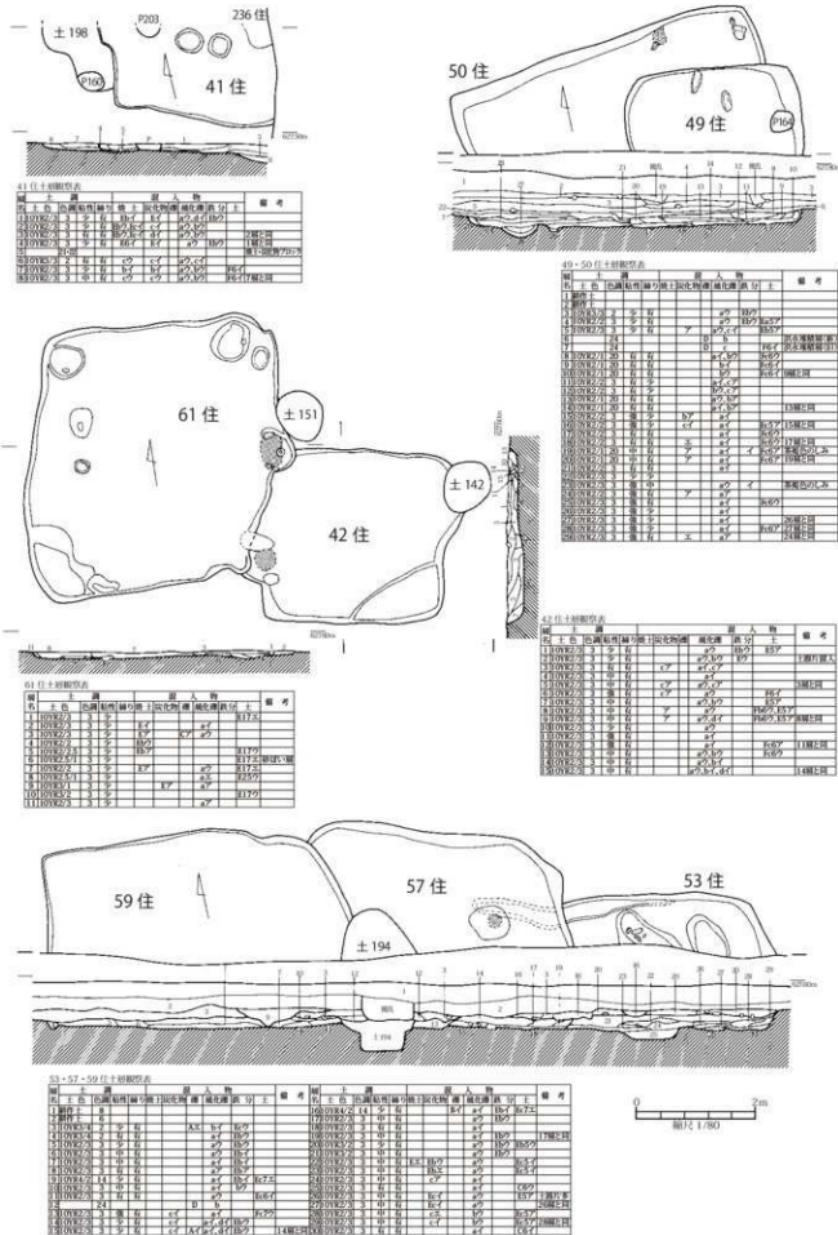


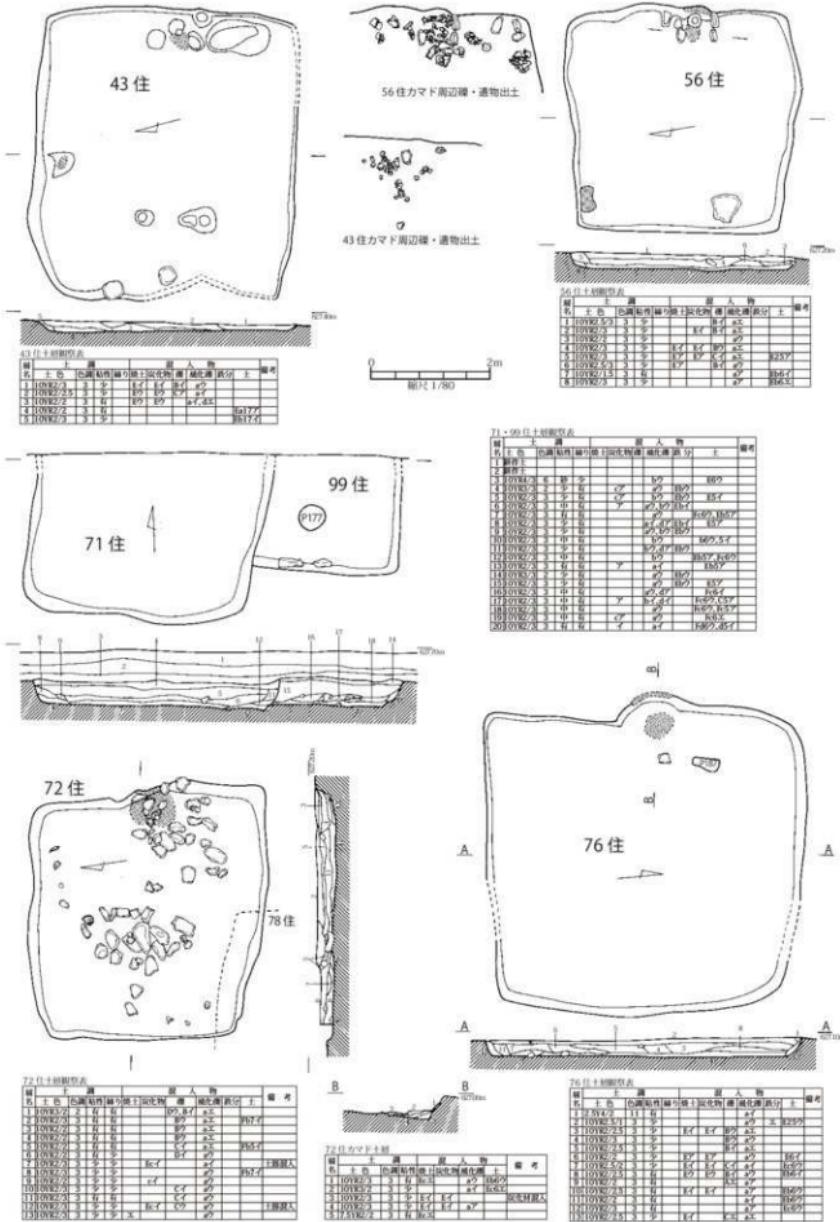
36住土切削断面表

層	上層	下層	層入物	層	層
1	1	2	1	2	3
2	2	3	2	3	4
3	3	4	3	4	5
4	4	5	4	5	6
5	5	6	5	6	7
6	6	7	6	7	8
7	7	8	7	8	9
8	8	9	8	9	10
9	9	10	9	10	
10	10		10		

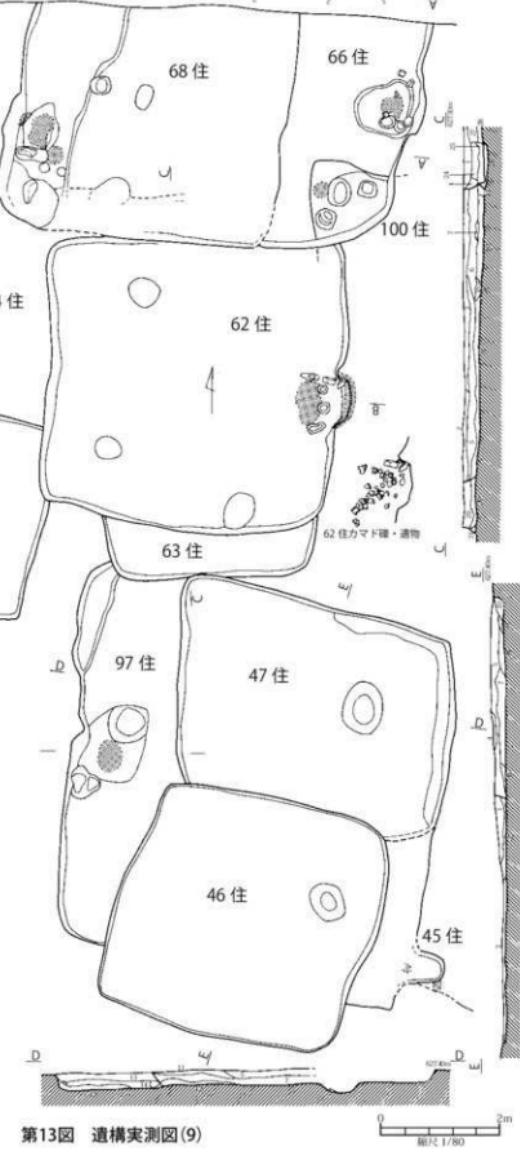
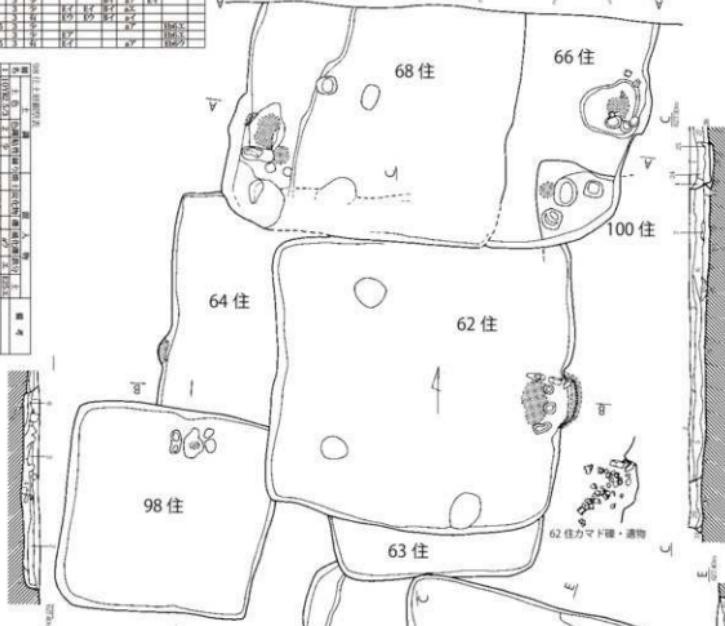
0 2m  
縮尺 1/80

第10図 遺構実測図(6)

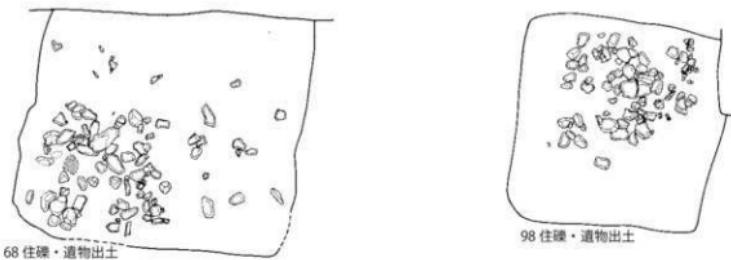




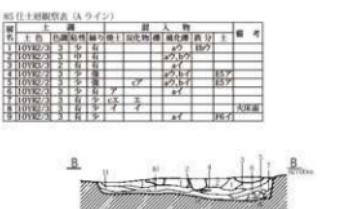
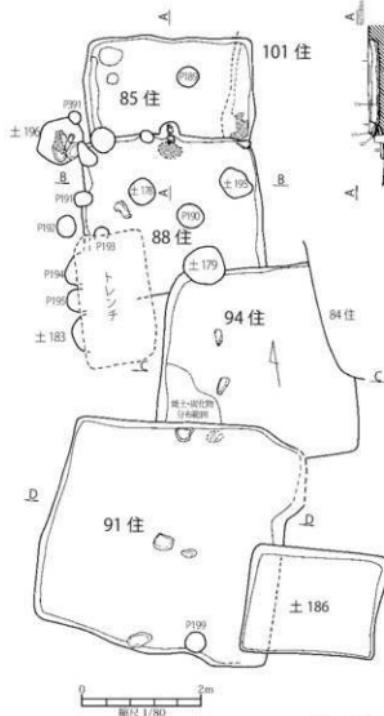
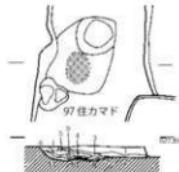
第12図 遺構実測図(8)



第13図 遺構実測図(9)



68 住礎・遺物出土

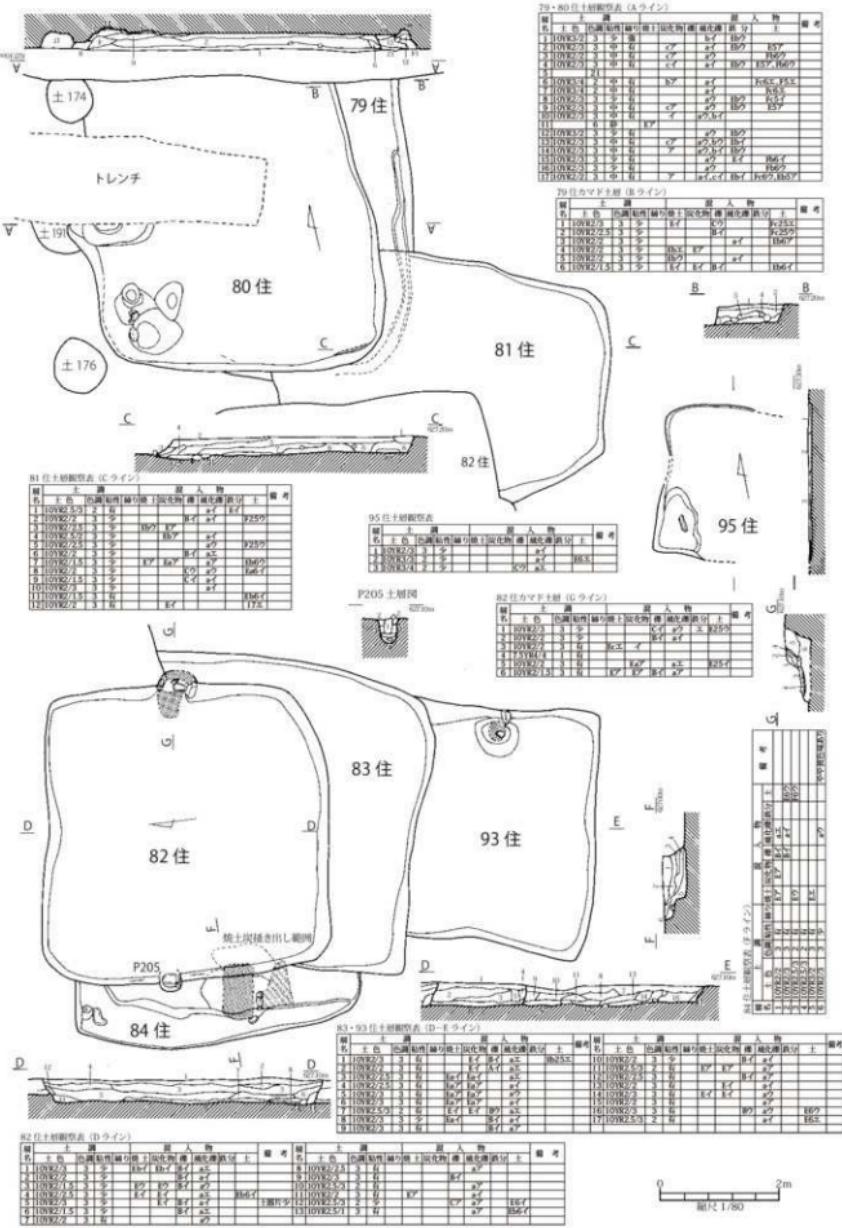


94行付別類別表(タクシイ)		固	人	物	
名	科	固有種名	学名	標準化 規範	主 考
1) BOVEX	3	中		g, f, C	
2) BOVEX	3	中		g, f, C	ESCT
3) BOVEX	3	中		g, f, C	SDTC
4) BOVEX	3	中		g, f, C	
5) BOVEX	3	中		g, f, C	IBT/ESCT
6) BOVEX	3	中		g, f, C	IBT/SDTC
7) BOVEX	3	中		g, f, C	
8) BOVEX	3	中		g, f, C	
9) BOVEX	3	中		g, f, C	
10) BOVEX	3	中		g, f, C	IBT/SDTC
11) BOVEX	3	中		g, f, C	
12) BOVEX	3	中		g, f, C	IBT/SDTC

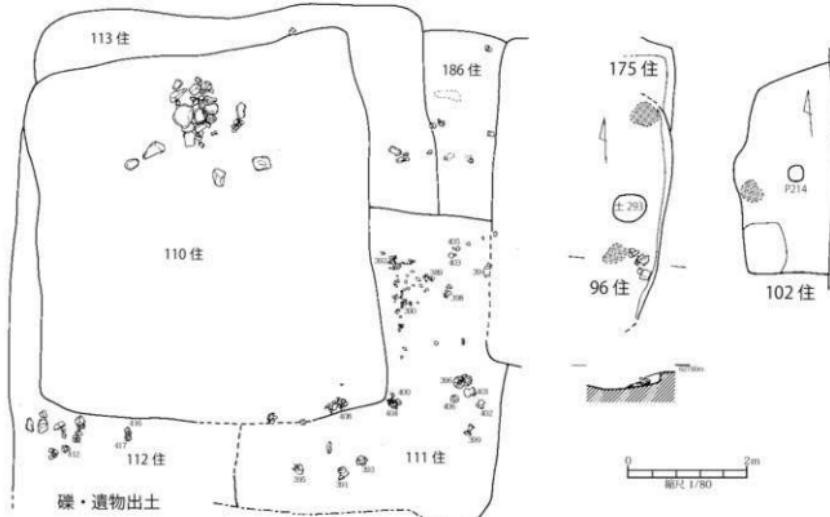
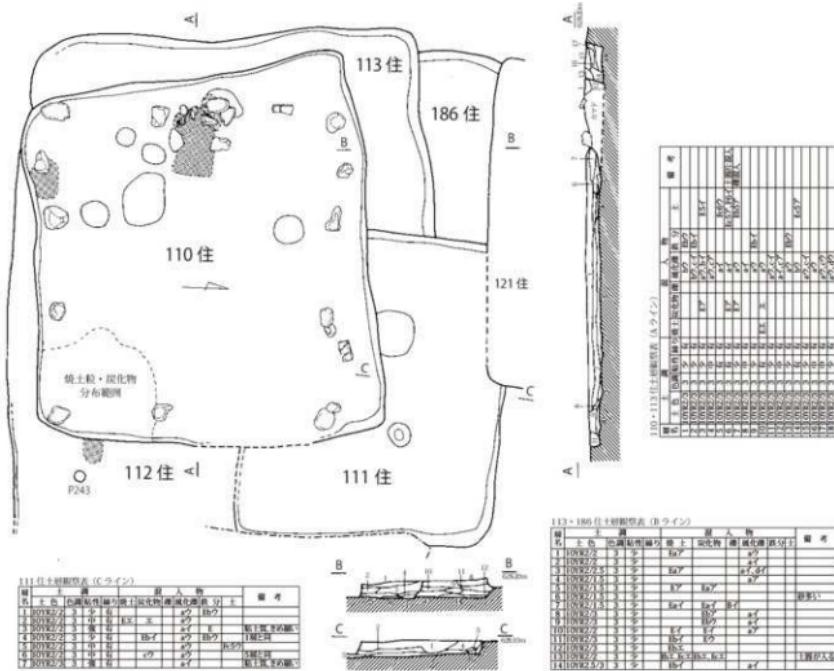


91 住土細胞原系 (D ライン)						
編 名	土 種	固 結 性	繊 維	供 入 物	搬 行 方 法	備 考
110982/2	3	少		10	10	1
110982/1-5	3	少		10	10	
110982/2	3	有	10	10	10	10

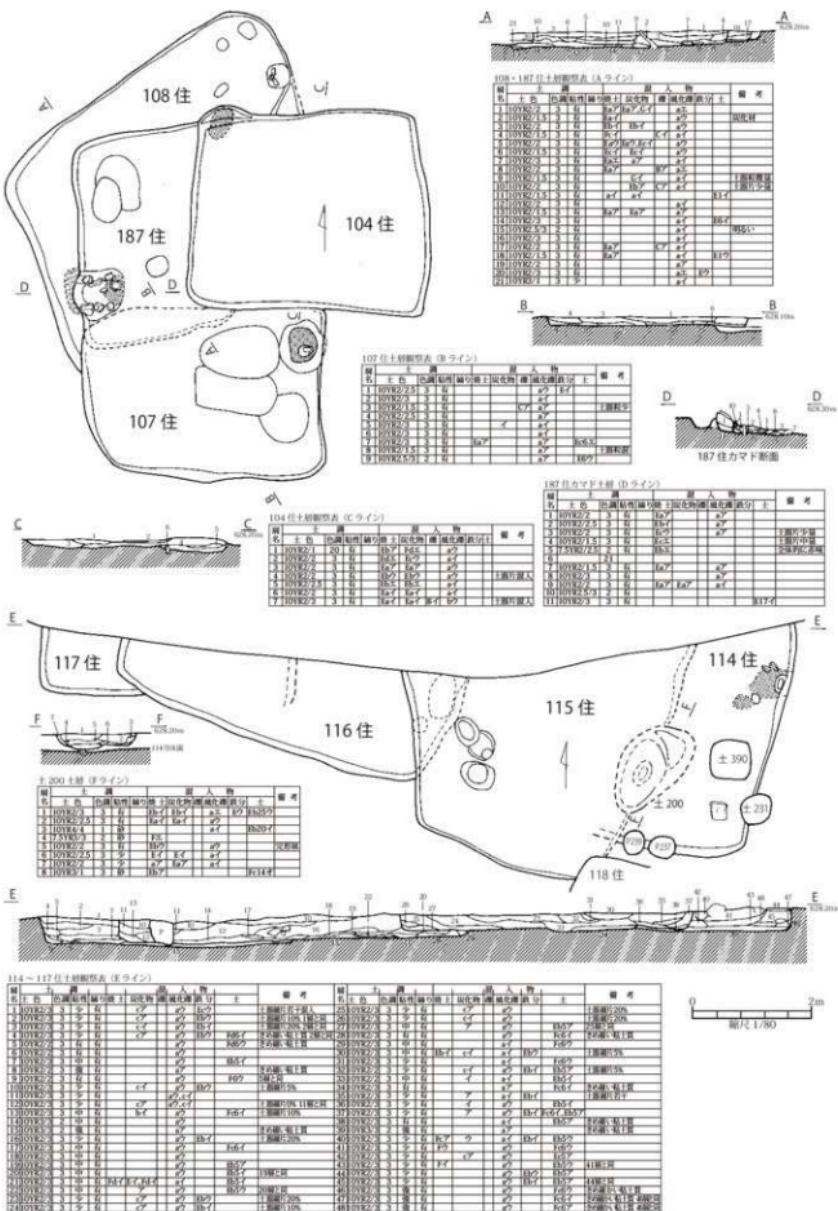
#### 第14図 遺構実測図(10)



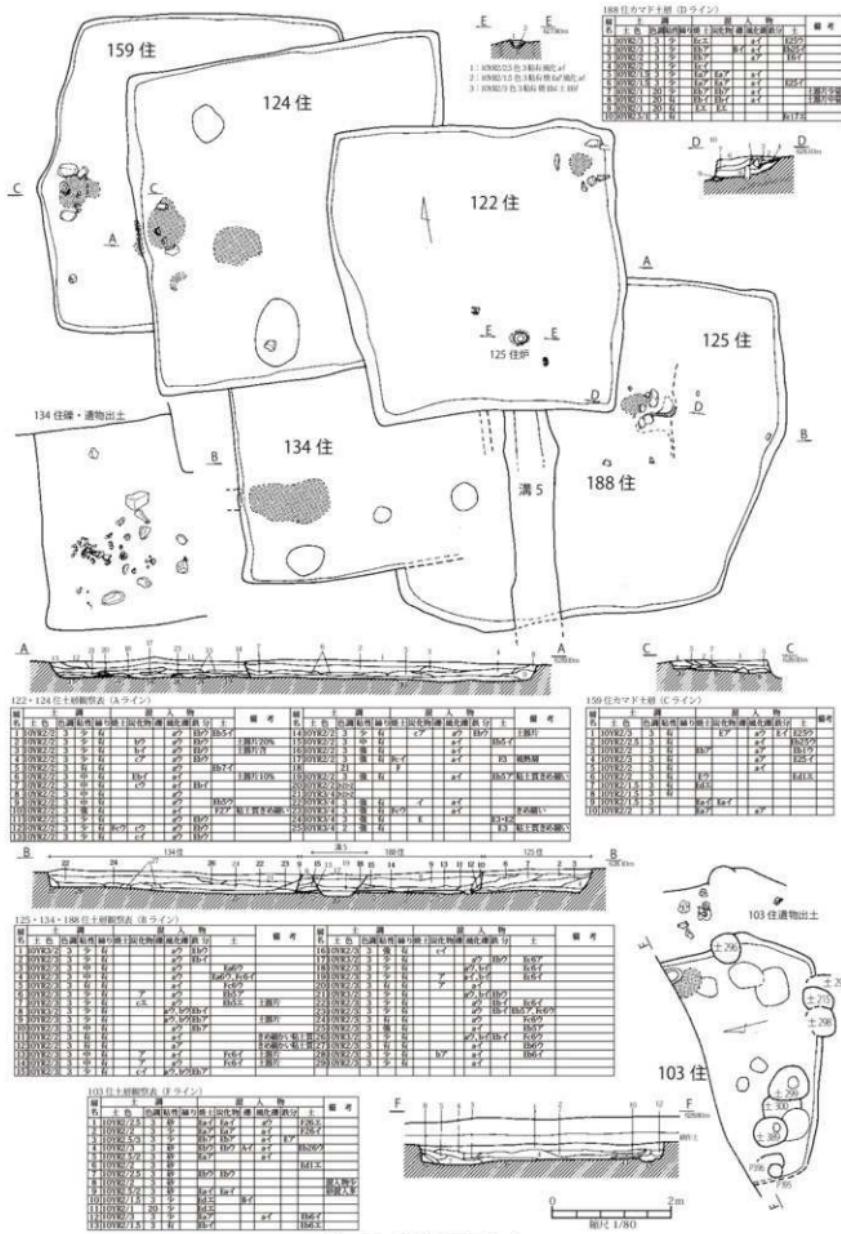
第15図 遺構実測図(11)



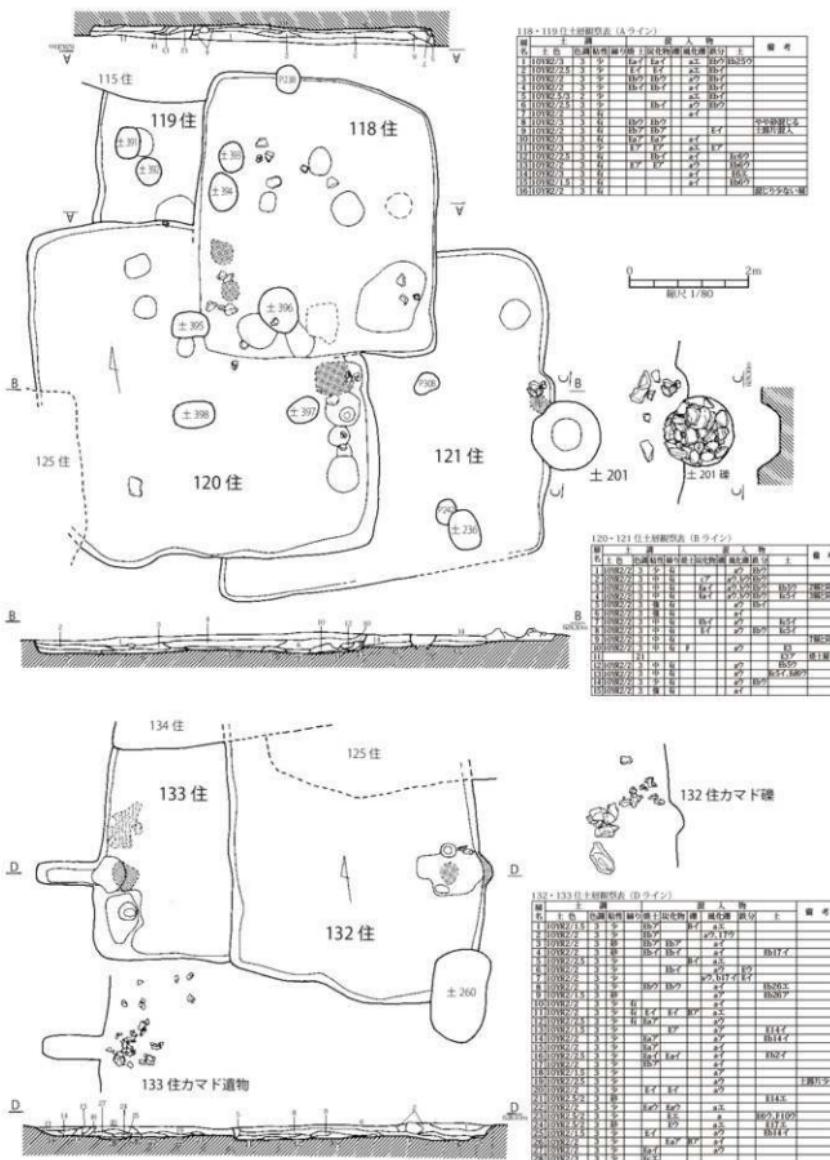
第16図 遺構実測図(12)



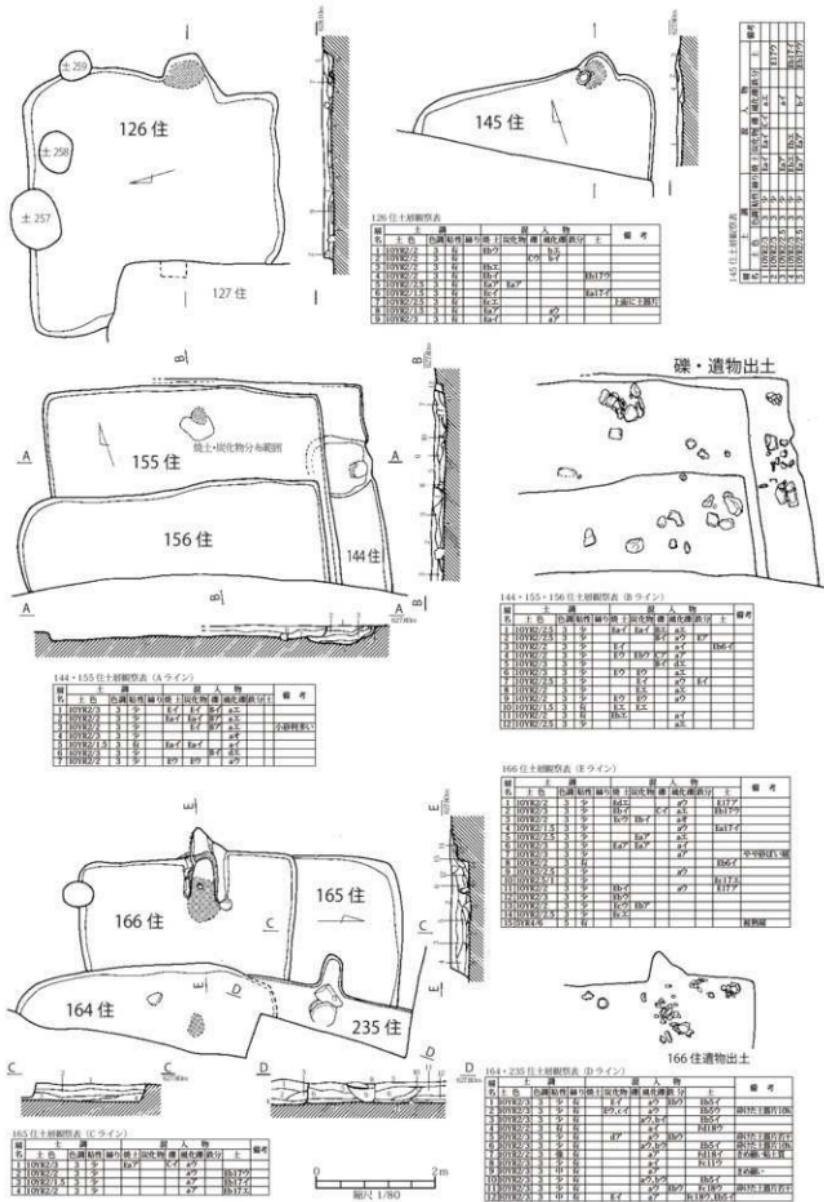
第17図 遺構実測図(13)



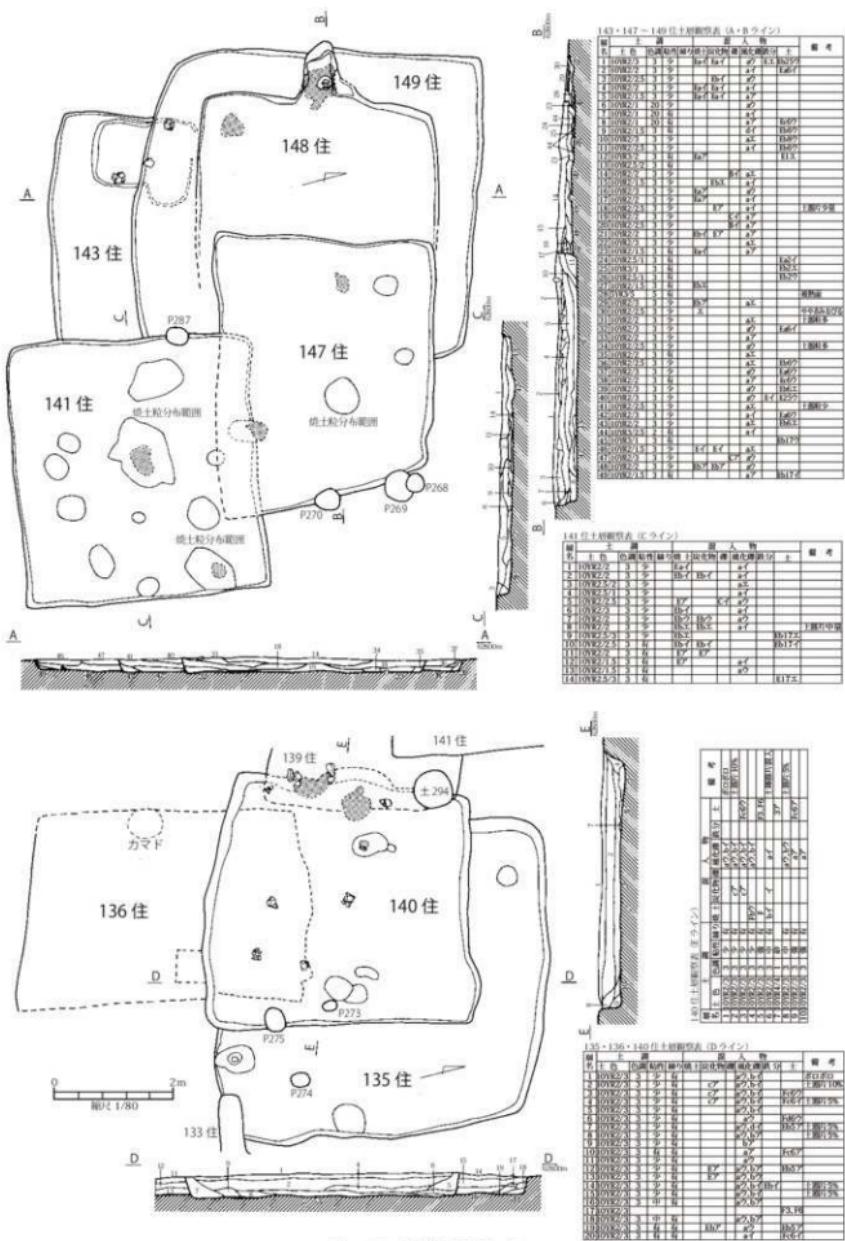
第18図 遺構実測図(14)



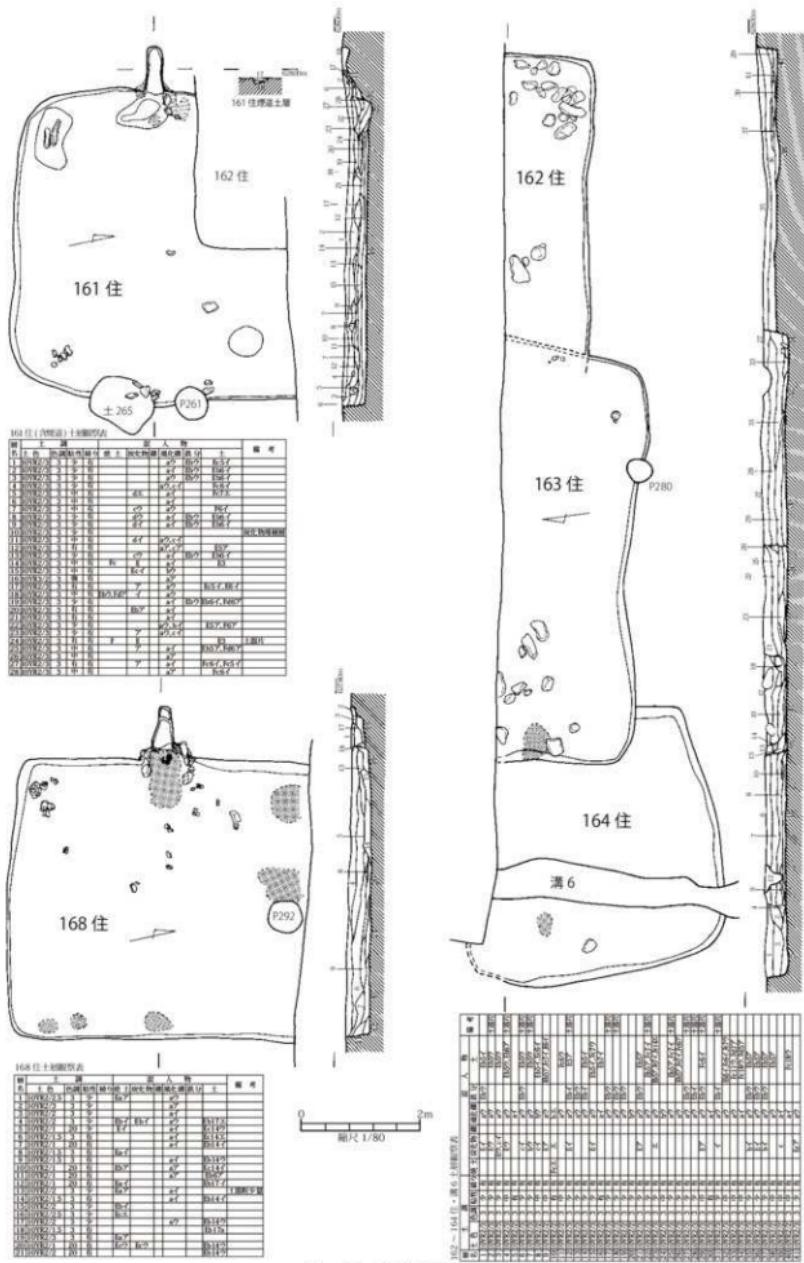
第19図 遺構実測図(15)



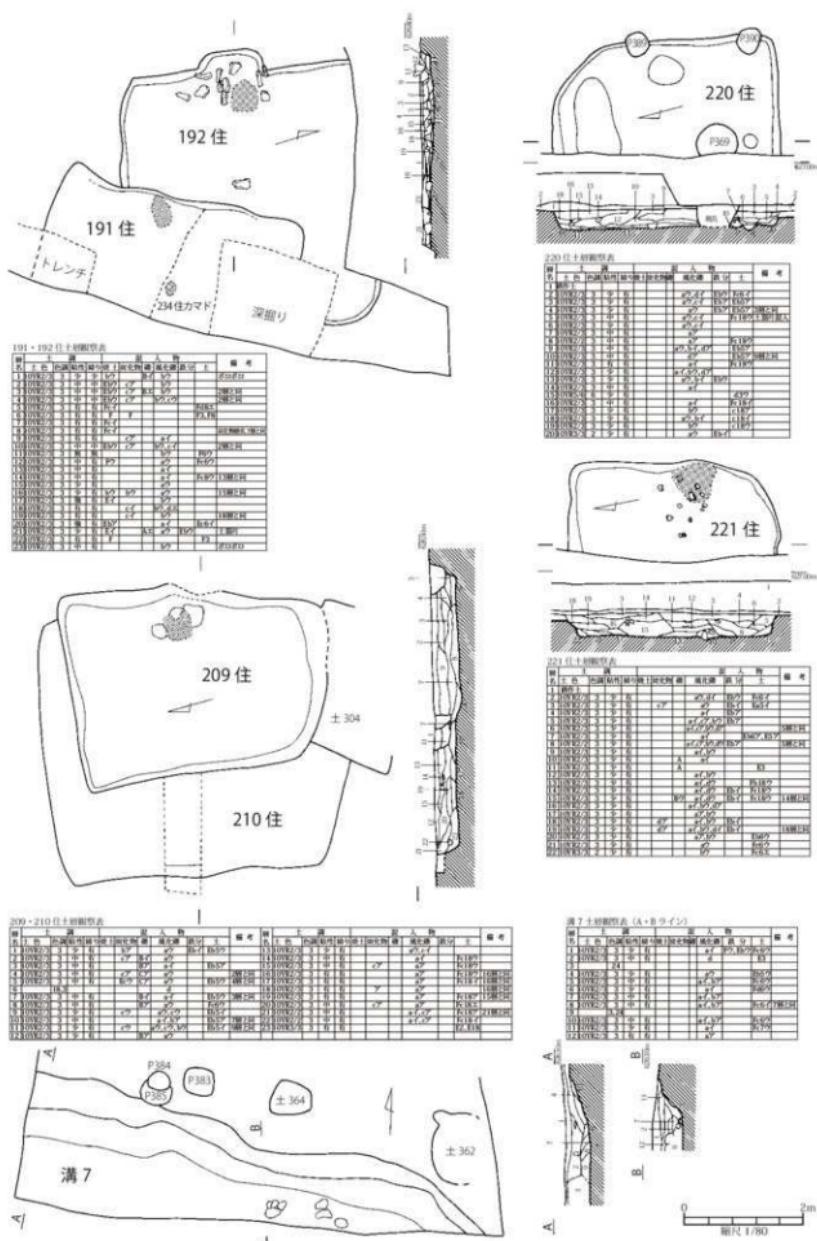
第20図 遺構実測図(16)



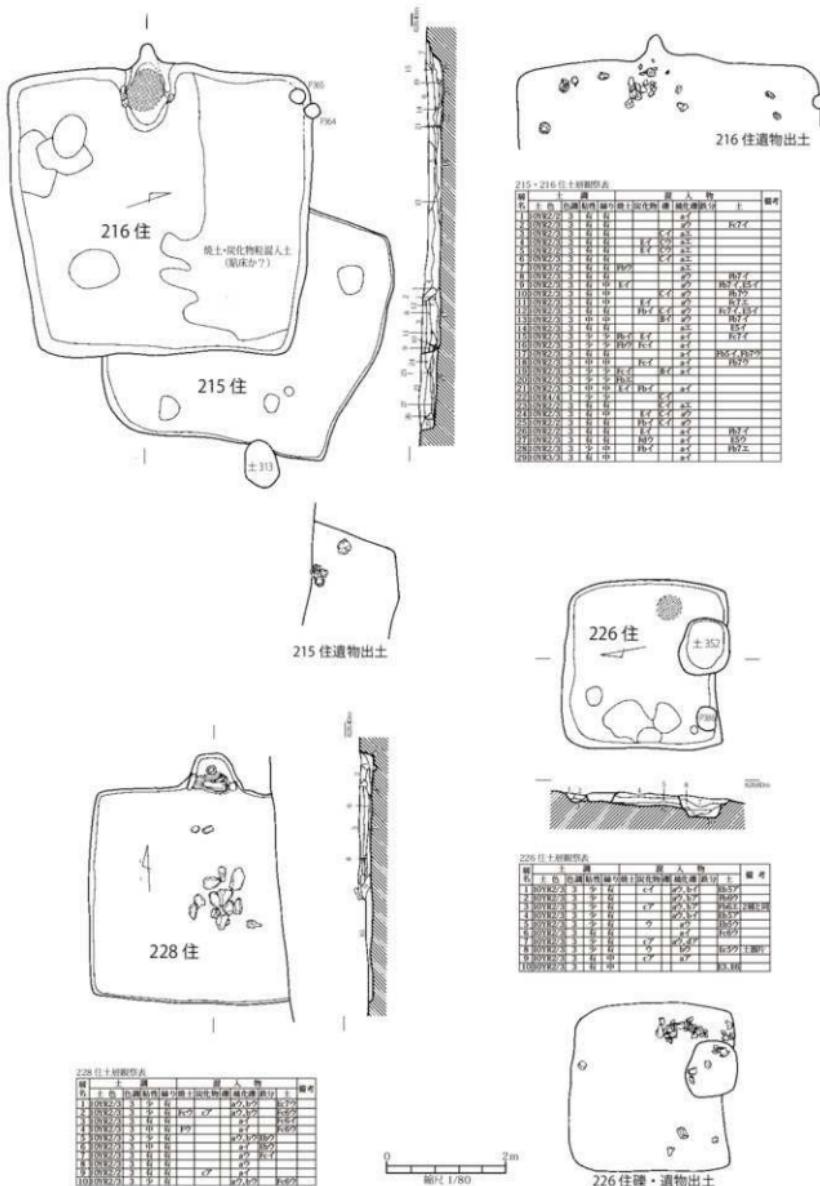
第21図 遺構実測図(17)



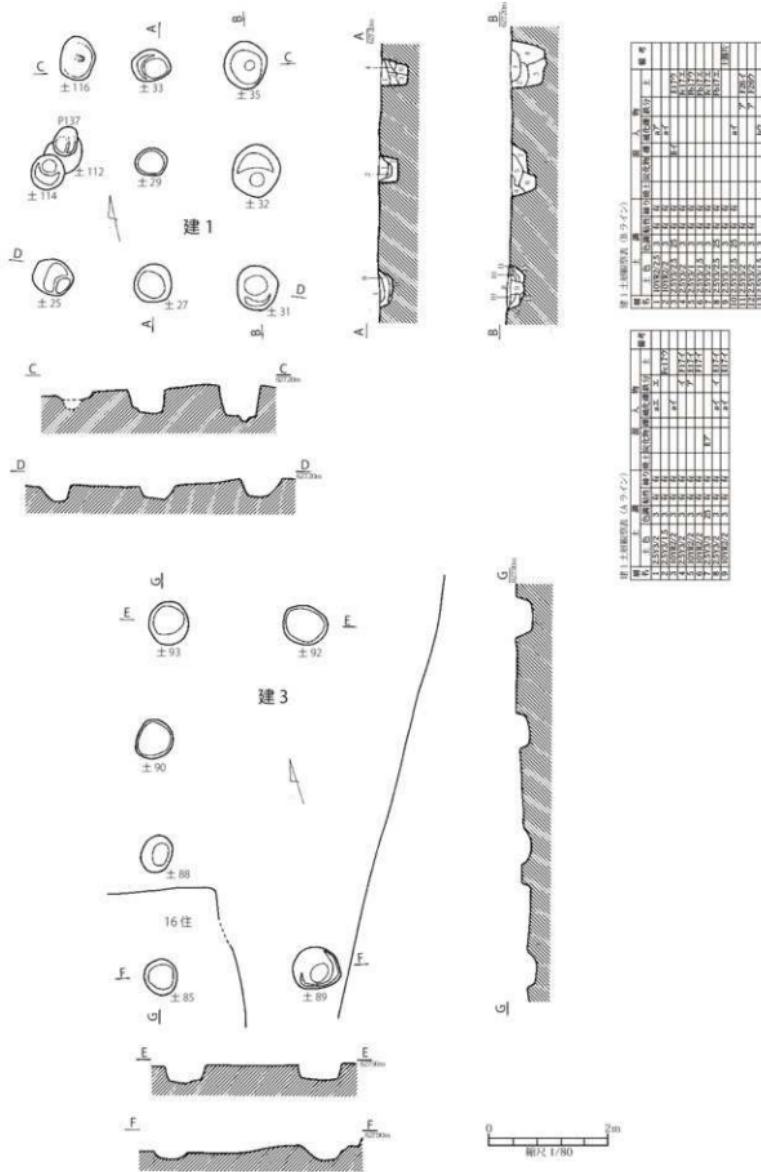
第22図 遺構実測図(18)



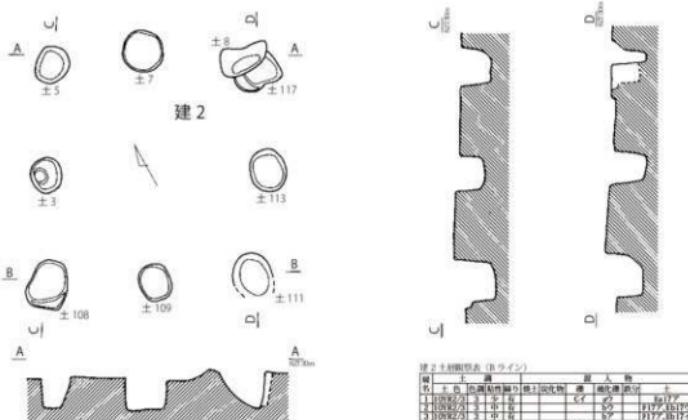
第23図 遺構実測図(19)



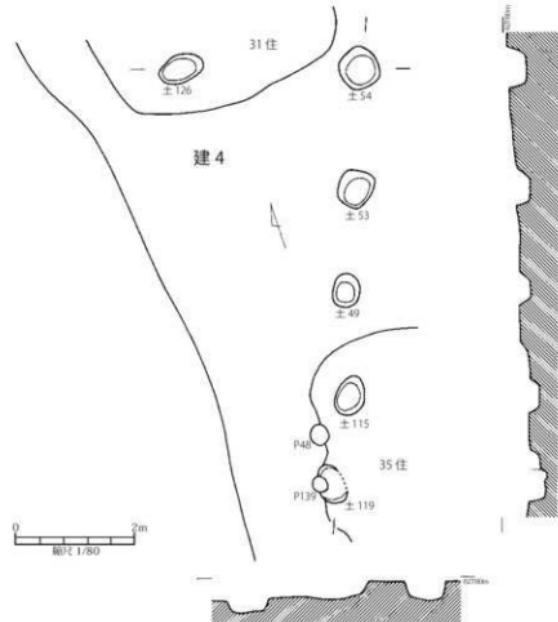
第24図 遺構実測図(20)



第25図 遺構実測図(21)



層	工 業	遺 物	備 考	層 入 物	
				上	下
1	土	白泥質粘土	未同化物	C <sub>1</sub>	B <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	D <sub>1</sub>	C <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	E <sub>1</sub>	D <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	F <sub>1</sub>	E <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	G <sub>1</sub>	F <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	H <sub>1</sub>	G <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	I <sub>1</sub>	H <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	J <sub>1</sub>	I <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	K <sub>1</sub>	J <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	L <sub>1</sub>	K <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	M <sub>1</sub>	L <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	N <sub>1</sub>	M <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	O <sub>1</sub>	N <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	P <sub>1</sub>	O <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	Q <sub>1</sub>	P <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	R <sub>1</sub>	Q <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	S <sub>1</sub>	R <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	T <sub>1</sub>	S <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	U <sub>1</sub>	T <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	V <sub>1</sub>	U <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	W <sub>1</sub>	V <sub>1</sub>
1	土	白	中等度熟成	X <sub>1</sub>	W <sub>1</sub>



第26図 遺構実測図(22)

### 第3節 遺物

#### 1 概要

遺構内、検出面及び包含層から土器類を中心に多量の遺物が出土している。他に土製品、金属製品、石器・石製品がある。

#### 2 土器・陶磁器(第5表、第27~47図)

遺構内と検出面から大量に出土している。総量は777.9kgであった。種別は土師器(内黒土師器・黒色土器を含む)、須恵器(軟質須恵器を含む)、灰釉陶器、綠釉陶器でわずかに繩紋土器、中世陶器が伴う。主に古墳時代前期から平安時代に属するもので、おおむね出土遺構の時期を示していると考える。前述のとおり、掘り下げを行った竪穴住居址のうち85棟について、出土土器の図化と時期比定のための検討を行っている。

##### (1) 古墳時代前期の土器

125住出土品(41図480~483)のみである。高杯2点、小型丸底壺1点、壺1点、甕1点を図示した。壺は二重口綠釉の口縁部で、中段の稜は突帯で刻みが行われている。

##### (2) 古墳時代中期の土器

代表的なものとして111・112住の出土品(第39図389~424)を挙げることができる。種別はすべて土師器で、器種は小型丸底壺・直口壺・高杯・甕がある。

##### (3) 古墳時代後期の土器

後期後半に属する代表的なものとして27・30・140・149・163・166・216住の出土品(第31・32・42~44・46・47図159~171・177~188・494~502・529~531・554・555・557~563・640~650)を挙げることができる。種別に土師器と須恵器があり、土師器の器種は杯・鉢・高杯・甕・小形甕、須恵器の器種には杯・蓋・甕・籠・プラスコ瓶がある。

また、後期終末期に属するものは47・145・168・215住の出土品(第35・42・44・46図266~268・505~513・564~577・633~639)が相当する。種別は土師器と須恵器、器種は土師器が杯・高杯・甕、須恵器が杯・蓋・高杯・台付長頸甕・甕である。

##### (4) 奈良・平安時代の土器

今回の調査で確認した住居址の半数以上は奈良時代後半から平安時代前半まで(4~9期:長野県埋蔵文化財センター1990:以下、出典は同じ。)に属するものであり、それらから同期の土器・陶器が大量に出土している。種別には土師器、黒色土器A・B、須恵器、軟質須恵器、灰釉陶器、綠釉陶器があり、器種器形は杯A・B、椀、皿、耳皿、托、鉢、盤、环蓋B、壺蓋A、甕B・C、小形甕C・D、羽釜、壺、円筒形土器がみられる。土器群としては9・11・23・110・118・124住、土坑200から良好なまとまった内容のものが出土している。

##### ア 124住出土品(第41図469~479)

須恵器杯A 4点・杯B 2点・杯蓋2点・鉢1点、土師器甕Bと甕Cの各1点ずつを図示しており、4~5期のまとった資料である。

##### イ 110住出土品(第38図365~379・385~388)

重複する111住(古墳時代中期)から出来するものを若干含んでいるが(380~384)、それらを除外すると6期(あるいは6~7期)の良好な土器群で、黒色土器Aの杯A I 4点・A II 3点、椀1点、皿4点、托1点、須恵器杯A 1点・杯B 1点、土師器甕B 2点、小形甕D、須恵器長頸甕1点を図示している。

##### ウ 土坑200出土品(第45図593~603)

黒色土器Aの杯2点、皿2点、黒色土器Bの皿1点、須恵器杯A 5点、杯B 1点が出土しており、杯Bはコップ形をした珍しいものである。7期のまとった資料である。

## エ 118住出土品(第40図439~457)

黒色土器Aの杯4点、椀5点、須恵器杯A3点、軟質須恵器杯A2点、灰釉陶器椀1点、土師器甕B3点、円筒型土器1点を図示できており、8期(あるいは7~8期)のまとまった資料である。

## オ 9住出土品(第27・28図27~49)

土師器杯3点、椀1点、黒色土器A杯6点、椀1点、灰釉陶器椀5点、皿3点、土師器小形甕D4点を図示できた。8~9期のまとまった資料である。

## カ 11住出土品(第28図50~72)

土師器杯5点、椀1点、黒色土器A杯5点、椀4点、灰釉陶器椀2点、皿1点、土師器甕B1点、羽釜1点、須恵器大甕を図示できた。8~9期のまとまった資料である。

## キ 23住出土品(第30図130~147)

土師器杯8点、椀2点、黒色土器A椀1点、灰釉陶器椀1点、土師器甕B5点、小形甕D1点を図示できた。10~11期のまとまった資料である。

### (5) 中世の陶磁器

検出面や古代の遺構覆土表層からわずかに出土しており、鉢を1点図示した(28図73)。

### (6) 文字関係資料

陶硯、転用硯、墨書き土器がある。45図608は風字硯の破片でB東区の検出面から出土した。裏面に低い脚が付されている。転用硯はいずれも灰釉陶器の底部(34図254、35図278)で、高台部を中心にして外周を意図的に打ち欠いている。278には外面に墨痕、内面に朱墨痕がある。墨書き土器は9住から出土した黒色土器Aの杯(27図33)の体部外面に「福」ともう1文字が書かれている。

## 3 土製品(第5表、第48図683~697)

土錘5点、紡錘車1点、土玉15点、鏡形模造品1点を図示した。土錘は古墳時代後期から平安時代に属し、他の土製品は古墳時代後期の所産である。土玉は古墳時代後期の115住から15点がまとまって出土したもので、径1.3~1.8cmのやや重んだ球形で、直径1~2mmの1孔が貫通する。ただし691のみは孔の中央部が未貫通である。鏡形模造品は古墳時代後期の134住から出土したもので、直径5.6cm、厚さ1.2cmの円盤状を呈し、片面の中央に一部を欠損してはいるが鉤を表現しているとみられる突起がある。付け根付近には突起を横断して貫通する小孔が穿たれていた痕跡が残る。

## 4 金属製品(第6表、第49~51図)

110点の出土を確認しており、うち34点を図化した。1点を除いて鉄を材質としている。器種が判別できるものとしては刀子、釘、楔、鎌、鋤先、鎌、紡錘車、火打金具がある。

平安時代前期の35住から出土した鉄製品塊は総重量が962gで、銷取りと個体分離作業の結果、同一形態の鉄器が9本銷着したものと分かった。この鉄器の状態や器種について、保存処理等の作業でご指導をいただいた長野県立歴史館の白沢勝彦専門主事から以下のコメントを頂戴している(抄)。

① 銛取り、個体分離作業の結果、一部欠損を含め全9個体であることを確認した。いずれも長さ(残存長を含む)15~16cm台で長方形断面、尖頭部に刃ではなく、反対側端部の打込み打点仕上げが認められた。少なくとも、鉄釘ではない。

② さらに9個体ともそれぞれに長方形断面の短辺側にわずかの反りが認められる。

③ この①・②の結果を、神戸市にある竹中大工道具館に問い合わせしたところ「木部(柄)のはずれた『打抜鑿(穴の肩を叩き出すもの)』に近い形状であること。ただし、平安時代にそのような特定の目的に対応するほど鑿が分化していたとも考えづらく、何らかの裏付けをもって、本出土品を大工道具ないし鑿と特定することは困難」との感想をいただいた。





番	周	地点	地	器物名	口径	底径	高さ	底厚	外 面	内 面	注記番号	実測番号		
									底	底厚				
177	32	30日	土	杯	(10.4)			1/6	ミガキ	ミガキ	0583	3074		
178	32	30日	A	杯	(12.0)	5.5	(3.7)	1/6	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0584	3075		
179	32	30日	A	杯	(13.6)	6.3	3.3	1/3	兜	ロコロ・ミガキ	0582	3061		
180	32	30日	A	杯		6.0		1/2	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0585他	3072		
181	32	30日	土	高杯	(14.0)			1/8	ミガキ	工具	0578	3067		
182	32	30日	土	高	(13.2)			1/10	ロコロ	ロコロ	0585	3075		
183	32	30日	土	泡	(10.4)			1/2	ロコロ	ロコロ	0580	3078		
184	32	30日	土	小盃	(12.2)			1/4	ロコロ・工具	ミガキ	0583	3079		
185	32	30日	土	小盃	(14.0)	7.6	8.3	1部	兜	工具	0575他	3066		
186	32	30日	土	甕	(18.4)			1/5	ロコロ・工具	ミテ摩滅	0583	3070		
187	32	30日	土	甕	(22.2)			1/6	ロコロ・工具	ミテ摩滅	0577	3072		
188	32	30日	土	甕	(16.2)			1/2	ロコロ・工具	ミテ摩滅	0579	3071		
189	32	30日	土	杯	(14.0)	(6.8)	3.4	1/3	ロコロ	ロコロ	0607	3111		
190	32	31日	泡	杯A	(11.2)	(3.6)	3.8	1/10	ロコロ	ロコロ	0608	3113		
191	32	31日	泡	杯B	(14.0)			1/6	ロコロ	ロコロ	0607	3112		
192	32	31日	泡	杯B	(11.2)	(6.9)	3.6	1/10	ロコロ・回ケ	ロコロ	0607	3115		
193	32	31日	泡	杯B	(13.0)	(10.2)	3.2	1部	1/4	ロコロ・回ケ	ロコロ	0611	3114	
194	32	31日	泡	杯B	(18.1)	12.2	6.9	1/4	2/3	ロコロ・回ケ	ロコロ	0592+0608他	3116	
195	32	31日	泡	蓋	(17.2)		3.5	7/8	ロコロ・回ケ	ロコロ	0594他	3117		
196	32	31日	泡	蓋	(23.8)			1/16	ミガキ・ツヅリ	ミガキ	0615	3118		
197	32	31日	土	円筒型		(11.8)		3/8	ミガキ・ツヅリ	ミガキ・ツヅリ	0598他	3119		
198	32	31日	A	杯	(16.8)	(7.6)	5.9	1/5	1/2	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0620	3371	
199	32	31日	A	杯	(14.2)	(7.4)	5.1	1/16	1/2	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0618	3372	
200	32	31日	A	杯	(14.0)	6.6	5.1	1/2	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0621	3373		
201	32	31日	A	小腰D	(13.7)	(7.4)	15.1	1/5	ほぼ	ロコロ・カキ・回系	ロコロ	0624	3373	
202	32	31日	A	小腰D	(5.6)			1/6	ロコロ・回系	ロコロ	0617	3374		
203	32	31日	A	知前両	(16.0)			1/5	ロコロ	ロコロ	0621	3376		
204	32	31日	A	知前両	(11.6)			1/5	ロコロ	ロコロ	0623	3377		
205	32	31日	A	口付壺				1/5	ロコロ	ロコロ→ミガキ→黒	0644	3571		
206	32	31日	A	杯	(12.8)			1/4	ロコロ	ロコロ→ミガキ→黒	0648	3573		
207	32	31日	A	杯	(15.2)			1/8	ロコロ	ロコロ→ミガキ→黒	0644	3575		
208	32	31日	A	杯	(16.2)			1/8	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0632	3574		
209	32	31日	A	碗	(16.6)	(7.0)	5.6	1/3	1/3	ロコロ・回系	ロコロ・頭け襟	0634	3575	
210	32	31日	A	碗	(18.8)			1/20	ロコロ	ロコロ	0634他	3576		
211	33	39日	土	円筒型		(15.2)		1/5	ミガキ・ツヅリ	ミガキ・ツヅリ	0614他	3576		
212	33	39日	土	酒	A杯	13.5	7.0	4.4	1/3	1/2	ロコロ・静系	ロコロ	0666他	3573
213	33	39日	土	酒	A杯	14.0	6.7	4.2	2/3	兜	ロコロ・静系	ロコロ	0667他	3571
214	33	39日	土	酒	A杯	(14.2)	5.9	4.6	1部	兜	ロコロ・回転・ヘア切	ロコロ	0675	3572
215	33	39日	土	酒	蓋	(15.2)			1/2	ロコロ・回ケ	ロコロ	0665	3574	
216	33	39日	土	甕	甕	(19.0)			1/10	ミコロ・工具	工具	0663	3575	
217	33	39日	土	甕	B	(9.0)			1/4	ミガキ・ツヅリ	工具摩滅	0674他	3576	
218	33	39日	土	甕	B	(26.4)	(11.0)	35.8	1/8	1/6	ミガキ・ハケ	ミガキ・ハケ	0670他	3577
219	33	19日	土	甕	E	(34.3)	25.6	26.5	1/5	1/2	ロコロ・回系・当興瓶	ロコロ・指ナシ・当興瓶	0667他	19011
220	33	19日	土	甕	E	(3.6)			1/2	ロコロ・回系	ロコロ	0733	1461	
221	33	19日	土	甕	E	(4.0)	6.7	4.2	2/3	兜	ロコロ・静系	0749	1663	
222	33	19日	土	甕	E	(3.2)	(6.8)	3.0	3/4	兜	ロコロ・回系・子手消	ロコロ→ミガキ→黒	0748	1664
223	33	19日	土	甕	E	(16.2)			1/4	ミガキ・ハケ	工具	0747	1662	
224	33	19日	土	甕	E	(16.2)			1/8	ロコロ・回ケ	ロコロ・頭け襟	0751	1684	
225	33	19日	土	甕	E	(13.4)			1/6	ロコロ・ツヅリ	ロコロ→ミガキ→黒	0798	1118-1	
226	33	128	泡	杯A	14.9	6.7	5.1	11/10	兜	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	0808	1128-3	
227	33	128	泡	杯A	(14.2)	(5.8)	3.5	1/7	1/5	ロコロ・回系	ロコロ	0812	1128-1	
228	33	128	泡	杯A	(17.2)	(8.9)	5.4	1/4	1/4	ロコロ・回系	ロコロ・ハク筆	0810他	1128-4	
229	33	128	土	円筒型		(14.4)			1/9	ミガキ・ハケ	ミガキ	0809	1128-2	
230	33	128	土	甕	A杯	12.6	9.5	4.6	1/4	1/6	ロコロ・回ケ・回系	ロコロ	0909	14-1
231	33	128	土	甕	A杯	(15.4)	(6.9)	3.0	3/4	兜	ロコロ・回系・子手消	ロコロ→ミガキ→黒	0916	14-2
232	33	128	土	甕	甕	(7.6)			1/5	1/2	ロコロ・静系	ロコロ・動輪	0904他	14-3
233	33	128	土	甕	甕	(4.2)			1/2	ロコロ・回ケ・頭け襟	ロコロ	0909	14-4	
234	33	128	土	甕	A杯	(14.0)			1/6	ロコロ・回ケ	ミガキ→ミガキ→黒	0905	14-5	
235	33	128	土	甕	A杯	(16.6)			1/6	ロコロ・回ケ	ミガキ→ミガキ→黒	0911	14-2	
236	33	128	土	甕	A杯	(12.9)	5.0	3.2	1/8	1/4	ロコロ・回系	ロコロ	0904	14-3
237	33	128	土	甕	A杯	(13.6)	6.1	4.4	1/2	1/3	ロコロ・静系	ロコロ	0904	14-6
238	33	128	土	甕	B杯	(11.8)	5.9	4.1	1/2	1/2	ロコロ・回ケ	ロコロ	0904	14-7
239	33	128	土	甕	B杯	(12.5)	(9.0)	4.2	1/4	1/4	ロコロ・回ケ	ロコロ	0902	14-8
240	33	128	土	甕	B杯	(16.7)	(7.8)	3.5	1/6	1/2	ロコロ・回ケ・強輪	ロコロ・強輪	0902	14-2
241	33	128	土	甕	B杯	(9.7)			1/8	ロコロ・回ケ・強輪	ロコロ・強輪	0902	14-3	
242	33	128	土	甕	B杯	(6.7)			1/6	ロコロ・回系	ロコロ	0905	14-9	
243	33	128	土	小腰D	(17.8)			1/4	ロコロ・カキ	カキ→ロコロ	0941	0412-1		
244	34	4月	A	杯	(15.6)			1/8	ロコロ	ロコロ→ミガキ→黒	0979	0414-1		
245	34	4月	A	甕	(39.2)			1/6	ロコロ・流状文	ロコロ・構工具	0993	0414-2		
246	34	4月	A	甕	(11.4)	(4.6)	3.1	1/12	1/8	ロコロ・回系	ロコロ	1002	0415-2	
247	34	4月	A	甕	(7.4)			1/4	1/12	1/2	ロコロ・部品ナシ消	ロコロ	1000	0415-1
247	34	4月	A	甕	9.4			2/3	1/4	ロコロ・回系・ツヅリ	ロコロ	1009	0416-1	
248	34	4月	A	甕	(34.7)			1/10	1/6	ロコロ・回ケ・強輪	ロコロ・強輪	1009	0416-2	
249	34	4月	A	甕	(24.0)	7.8	(39.0)	1/4	ほぼ	ロコロ・回ケ・ツヅリ	ロコロ・当興瓶	1008他	0416-3	
250	34	4月	A	甕	13.4			3/4	ロコロ	ロコロ	1077	0417-5		
251	34	4月	出	甕	A杯	12.9	5.5	3.4	1/10	1/4	ロコロ・回ケ	ロコロ	1070-3	0417-1
252	34	4月	出	甕	(13.8)	(5.8)	3.1	1/10	1/4	ロコロ・頭け襟	ロコロ	1075	0417-2	
253	34	4月	出	甕	甕	5.8	3.1	2/1	兜	ロコロ・回系	ロコロ	1072	0417-4	
254	34	4月	出	甕	甕用板	8.5			兜	ロコロ・外側打ち欠き	ロコロ	1073	0417-3	
255	34	4月	出	甕	甕	7.0	20.9	1/4	兜	ロコロ・回ケ	ロコロ	1071	0417-6	
256	34	4月	出	甕	(11.5)	(5.6)	3.5	1/8	1/3	ロコロ	ロコロ→ミガキ→黒	1148	4111	
257	34	4月	A	甕	(13.3)	6.9	2.65	1/3	ロコロ	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	1151	4112	
258	34	4月	A	甕	(13.6)			ロコロ		ロコロ	1149	4113		
259	34	4月	甕	甕	(13.3)	6.2	3.85	1/10	3/4	ロコロ・回系	ロコロ	1157	4212	
260	34	4月	甕	甕	(13.7)	5.7	12.7	1/9	兜	ロコロ・カキ・静系	ロコロ→カキメ	1154他	4212	
261	34	4月	A	甕	(13.0)	7.0	4.15	1/4	頭け	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	1160	4211	
262	34	4月	A	甕	(12.0)	(6.4)	5.0	1/3	1/2	ロコロ・回系	ロコロ→ミガキ→黒	1191	4212	
263	34	4月	A	甕	(20.1)	9.0	31.5	2/5	3/5	ハゲヌ	ナテ・頭け・カキ・カキ・工具	1153他	4213	
264	34	4月	A	甕	(20.0)	(8.0)	34.1	1-部	1/3	ハゲヌ	ナテ・頭け・カキ・カキ・工具	1156他-3種	4214	

第5表 土器観察表 (3/8)

名	周	地点	種	器物概形	口径	底径	高さ	壁厚	外縁	内縁	注記番号	実測番号	
									縦横	底部			
265	35	43#	酒	短角瓶	(15.4)	10.8	24.9	一部	2/3	ロクロ・ナデ	ロクロ	1117304	43785
266	35	47#	土	杯	(14.4)			1/5		ミガキ・摩滅	ミガキ	1214	47672
267	35	47#	土	杯	(13.4)			1/10		ミガキ・摩滅・ケズリ・摩滅	ミガキ・黒摩滅	1214	4773
268	35	47#	土	高杯	(6.2)			1/8		ミガキ・摩滅	ミガキ・黒摩滅	1212	4771
269	35	56#	土	杯	13.1	5.0	4.0	5.6	完	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1231	5687
270	35	56#	土	杯	12.35	5.0	4.5	5.6	ぼほ	ロクロ・回系?	ロクロ・ミガキ→黒	1235	5684
271	35	56#	土	杯	13.55	5.7	4.3	6.7	ぼほ	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1237	5685
272	35	56#	土	杯	(16.4)	6.0	5.95	1/12	ぼほ	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1253081	5687
273	35	56#	土	杯	(11.9)	5.2	5.1	3/5	ぼほ	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1249	5681
274	35	56#	土	杯	10.6	5.7	4.6	3/4	完	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1233	5683
275	35	56#	土	杯	(12.4)	(6.0)	4.3	1/4	1/2	ロクロ・回系	ロクロ・ミガキ→黒	1250081	5686
276	35	56#	土	皿	13.4	6.0	2.9	5.6	完	ロクロ・回系?	ロクロ・ミガキ→黒	1243	5683
277	35	56#	土	鉢	(25.6)			1/4		ロクナデ	ロクロ・ミガキ→黒	1234082	56810
278	35	56#	土	転用瓶	(9.6)					ロクロ・回・墨盤	ロクロ・墨盤・朱墨・墨打ちちぎり	1249	5689
279	35	56#	土	甕	(22.6)			3/8		ハナメ	カラトナデ	1236083	56814
280	35	56#	土	甕	(24.2)			1/4		ハナメ	カラトナデ	1232	56813
281	35	56#	土	甕	(22.4)			1/5		ハナメ	カラトナ・工具・腹部上縁	1241	56811
282	35	56#	土	甕	(10.0)					ハナメ	チヂ	1232	56812
283	35	56#	土	皿	(15.3)			1/8		ロクロ	ロクロ	1265	5682
284	35	56#	土	皿	(14.7)	(10.8)	4.05	1/6	一部	ロクロ	ロクロ	1264081	5683
285	35	56#	土	皿	(13.2)			1/4		ロクロ・回	ロクロ	1265	5681
286	35	56#	土	皿	13.8	7.0	3.85	2/3	完	ロクロ・回	ロクロ	1266	5682
287	35	61#	土	杯	18.0	8.2	4.95	5.6	完	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1286	5681
288	35	61#	土	杯	15.8			1/2		カラト	カラト・ケロ	1279081	56773
289	35	62#	土	杯	(13.8)	6.2	3.75	1/4	3/4	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1319	5671
290	35	62#	土	杯	6.4					ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1322	5672
291	35	62#	土	杯	(14.2)	6.8	5.55	1/8	完	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1325	5673
292	35	62#	土	杯	(15.0)	(6.6)	4.2	1/6	1/3	ロクロ・回	ロクロ	1334	5674
293	35	62#	土	杯	(15.0)	(7.6)	4.75	1/6	1/4	ロクロ・回	ロクロ	1323	5675
294	35	62#	土	杯	(14.8)					ロクロ	ロクロ	1326	5676
295	35	62#	土	杯	(15.2)			1/6		ロクロ	ロクロ	1323	5676
296	35	62#	土	甕	(20.1)			1/4		ハナメ・ナデ	ハナメ・ナデ	1306	5678
297	36	63#	土	杯	(16.0)			1/6		ミガキ・摩滅	ミガキ→黒	1337	6361
298	36	66#	土	杯	(16.2)	8.6	5.8	1/6	完	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1343	6602
299	36	66#	土	杯	(16.4)			1/6		ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1348	6601
300	36	66#	土	皿	(8.9)			1/3		ロクロ・回	ロクロ	1350	6603
301	36	68#	土	杯	(13.4)	(6.6)	4.2	4/4	ぼほ	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1366	6862
302	36	68#	土	杯	(16.2)			1/4		ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1366	6861
303	36	68#	土	杯	(16.4)			1/4		ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1365	6863
304	36	68#	土	甕	(7.4)			1/8		ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1374	6864
305	36	68#	土	皿	6.6			1/2		ロクロ・回	ロクロ	1370	6865
306	36	68#	土	皿	(15.0)	9.0	4.3	1/8		ロクロ	ロクロ	1369	6866
307	36	68#	土	甕	(13.4)			1/2		ロクロ・明き・回・破部ケリ	ロクロ	1357	6867
308	36	68#	土	甕	(24.8)	10.0	28.8	1/16	1/2	ヨコ・縦・ハケケ	カラト・工具	1359	6868
309	36	72#	土	甕	(10.0)			1/4		ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1388	7202
310	36	72#	土	甕	(7.6)			2/5		ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1387	7201
311	36	72#	土	小甕	14.5	6.7	12.9	1/4	完	ロクロ・カキ・回	カラト・ロクロ	1303	7203
312	36	76#	土	皿	(12.0)	(6.2)	3.4	1/4	一部	ロクロ・回	ロクロ	1397081	7603
313	36	76#	土	皿	(12.7)	8.0	4.0	1/4	2/3	ロクロ・回	ロクロ	1400	7602
314	36	76#	土	皿	(15.0)	9.0	4.3	1/8		ロクロ・回	ロクロ	1399	7601
315	36	76#	土	皿	(14.2)	(9.4)	3.3	1/4	1/4	ロクロ・底部ナデ消	ロクロ	1398	7604
316	36	76#	土	皿	(13.3)	9.5	3.9	1/2	完	ロクロ・底部ナデ消	ロクロ	1398082	7605
317	36	76#	土	皿	(16.0)	(10.9)	5.5	1/4	1/9	ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1399	7606
318	36	76#	土	皿	(13.8)			1/5		ロクロ・回	ロクロ	1398	7607
319	36	76#	土	皿	(16.4)			1/5		ロクロ・回	ロクロ	1399	7608
320	36	81#	土	皿	(12.0)	6.6	2.2	1/4	完	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒	1417	8101
321	36	81#	土	皿	(4.0)			1/3		ロクロ	ロクロ	1416	8114
322	36	81#	土	皿	(12.4)	(9.0)	4.1	1/4	1/4	ロクロ・回	ロクロ	1416	8103
323	36	81#	土	皿	(12.2)			1/16		ナデ	ナデ	1417	8102
324	36	82#	土	小甕	(12.2)			1/4		ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1422	8205
325	36	82#	土	杯	(12.6)			1/6		ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1421	8204
326	36	82#	土	杯	(14.6)					ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1423	8206
327	36	82#	土	杯	7.8					ロクロ・回	ロクロ	1423	8202
328	36	82#	土	皿	(11.4)	(5.8)	3.6	1/3	1/16	ロクロ・回	ロクロ	1421	8207
329	36	82#	土	皿	(12.3)	6.6	3.3	1/4	5/6	ロクロ・回	ロクロ	1425	8201
330	36	82#	土	皿	(8.2)			1/4		ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1423	8203
331	36	83#	土	皿	(12.8)	(7.6)	3.7	1/12	1/4	ロクロ・底部ケリ	ロクロ	1427	8302
332	36	83#	土	皿	(7.8)	(12.6)	7.1	1/7	1/4	ロクロ	ロクロ	1427	8301
333	36	83#	土	皿	(10.2)	(5.2)	9.4	1/6	3/4	ロクロ・カキ	カラト・ロクロ	1427081	8304
334	37	88#	土	皿	(19.2)	7.8	6.0	3/4	1/3	ロクロ・回	ロクロ・ミガキ→黒・黒拉	1440091	8806
335	37	88#	土	皿	(11.9)	6.0	4.1	3/4	3/4	ロクロ・回	ロクロ	1442081	8805
337	37	88#	土	皿	(13.6)	6.2	3.0	5/6	完	ロクロ・回	ロクロ	1439082	8803
338	37	88#	土	皿	13.7	6.8	4.3	2/3	完	ロクロ・回	ロクロ	1441	8804
339	37	88#	土	皿	(16.4)			1/4		ロクロ・回	ロクロ	1438	8802
340	37	91#	土	甕	(18.8)			1/5		ヨコ・縦・ハケ	カラト・ナデ	1440	9101
341	37	91#	土	甕	(7.6)					ロクロ・明き・ト平回	ロクロ	1435082	9107
342	37	91#	土	甕	(12.0)	(6.9)	3.55	1/5		ロクロ	ロクロ	1450	9103
343	37	91#	土	甕	(6.2)			1/3		ロクロ・回	ロクロ	1448	9102
344	37	91#	土	甕	(12.6)			1/4		ロクロ	ロクロ	1449	9104
345	37	91#	土	甕	(7.6)			1/2		ロクロ・回	ロクロ	1449	9101
346	37	91#	土	甕	(21.0)			2/3		ナデ・ケズリ	ナデ・ケズリ	1445	9105
347	37	93#	土	皿	(14.8)			1/3		ロクロ	ロクロ・ミガキ→黒	1452081	9303
348	37	93#	土	皿	(13.0)			1/8		ロクロ	ロクロ	1455	9302
349	37	93#	土	皿	12.4	4.8	3.2	1/2	2/3	ロクロ・回	ロクロ	1455	9304
350	37	93#	土	皿	(6.0)					ロクロ・回	ロクロ	1455	9301
351	37	93#	土	甕	24.0	4.6	27.2	1/2	1/2	ナデ・アズリ	ナデ	1452081	9305
352	37	94#	土	甕	(14.6)			3/4		ロクロ・ケズリ	ロクロ	1458	9401

第5表 土器観察表 (4/8)

番	周	地点	種	器物名	口径	底径	高さ	底厚	外縁	鉢輪調査・処理場		注記事号	実測番号
										内縁	内面		
353	37	94件	土	甕	(1.80)	(10.0)	17.8	1/4	カキナード	カキナード	145682	94件2	
354	37	103件	土	甕A	(1.46)	(9.8)	4.7	一部	口クロ・回転ハ切	ロクロ	1601	103件1	
355	37	103件	土	甕B	1.43	10.1	4.1	1/2	5.6	ロクロ・底部斜面	ロクロ	159081	103件2
356	37	103件	土	甕	(2.53)	(9.6)	1.5	1/4	コヨナード	コヨナード	159291	103件5	
357	37	103件	土	甕B	7.9				縁斜面	ハサワ・工具	1597	103件4	
358	37	103件	土	甕	(2.66)				縁斜面・底部木盤	ヨコ・工具・摩滅	1596	103件3	
359	37	103件	土	甕E	(3.13)			1/5	ヨコ・凹面	ヨコ	159581	103件6	
360	38	108件	土	杯	(1.18)			1/16	ヨコミガホ	ミガホ・黒	1632	108件1	
361	38	108件	土	小型丸壺	(10.0)	3.1	9.1		口白ハケ・側ミガホ、底ケズリ	ナゲ摩滅	1630+2217	108件2	
362	38	108件	土	小型丸壺					ハグ日摩滅	ナゲモアツリ摩滅	1633+2223	108件3	
363	38	108件	土	甕	17.7				ナタ摩滅、底部ケズリ	ナゲ摩滅	1631+2217	108件4	
364	38	108件	土	甕	(2.24)	27.1	1/4	完	ヨコナード摩滅	ナゲナード摩滅	1502+1607集4+22282	108件5	
365	38	110件	A	杯	(1.37)	6.1	3.0	3/5	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1662	110件2	
366	38	110件	A	杯	1.30	5.6	4.1	3/4	回転	ロクロ・ミガホ・黒	163982	110件1	
367	38	110件	A	杯	(1.56)	7.2	3.7	1/10	1/6	ロクロ	ロクロ・ミガホ・黒	1653	110件4
368	38	110件	A	杯	(1.47)	6.1	4.8	1/5	1/4	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1662	110件5
369	38	110件	A	皿	(3.35)	5.5	2.9	1/6	3/4	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1662	110件3
370	38	110件	A	皿	(1.09)	3.3	2.2	3/5	完	ロクロナード、底部斜面削除	ロクロ・ミガホ・黒	1657	110件1
371	38	110件	A	皿	(1.37)	7.7	2.8	1/2	1/3	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1635	110件11
372	38	110件	A	皿	(1.30)	(6.0)	3.3	1/4	ロクロ	ロクロ・ミガホ・黒	1646	110件9	
373	38	110件	A	碗	(1.59)	8.0	5.5	1/4	5.6	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	164581	110件9
374	38	110件	A	碗	(1.60)	7.1	6.4	1/4	回転	ロクロ・ミガホナード	ロクロ・ミガホ・黒	163882	110件7
375	38	110件	A	碗	(1.63)	(6.8)	6.9	1/4	完	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	164182	110件6
376	38	110件	A	碗	(2.01)	(8.2)	2.0	1/4	回転ナード消	ロクロ・ミガホ・黒	1661	110件8	
377	38	110件	A	碗	(1.28)	5.5	1.7	2/5	ロクロ・回転	ロクロ	1656	110件14	
378	38	110件	A	碗	(2.82)	(13.0)	5.7	1/7	1/16	ロクロ	ロクロ・ミガホ・黒	1654	110件5
379	38	110件	A	盤	(1.31)	(7.0)	3.0	1/3	1/3	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1662	110件13
380	38	110件	A	盤	11.8				側斜面	側斜面	163082	110件16	
381	38	110件	A	高杯	(1.70)				ミガホ摩滅	ミガホ摩滅	1656+1704	110件17	
382	38	110件	A	高杯	(4.3)				ナダ	ナダ	1660	110件22	
383	38	110件	A	小型丸壺	(10.3)	9.9			摩滅不鮮	ミガホ摩滅	1659	110件18	
384	38	110件	A	小型丸壺	(8.8)				摩滅不明	ミガホ摩滅	1656+1704	110件19	
385	38	110件	B	小腰D	(1.30)				ロクロ	ロクロ	1637	110件20	
386	38	110件	B	小腰D	(8.2)				ロクロ・カホ	カホ・ロクロ	1662	110件21	
387	38	110件	B	費B	(2.52)	9.0	3.35	1/8	完	ヨコミガホ	カハナ・ミガホ	1636805	110件24
388	38	110件	B	費B	(9.6)				2/5	開口	開口	163882	110件23
389	39	111件	土	高杯	(1.52)				ミガホ	ミガホ	1692	111件8	
390	39	111件	土	高杯	(2.06)				ミガホ	ミガホ	1691	111件5	
391	39	111件	土	高杯	2.24				ミガホ	ミガホ	1667	111件6	
392	39	111件	土	高杯	(1.92)				ミガホ	ミガホ・脚工具	1695	111件10	
393	39	111件	土	高杯	(1.62)			1/6	杯底上付摩滅、脚部ハゲミガホ	杯底上付摩滅、脚部ハゲミガホ	1668	111件11	
394	39	111件	土	高杯	14.9				ミガホ・脚	ミガホ・脚	1683	111件12	
395	39	111件	土	高杯	14.4				摩滅	ナダ	1666	111件4	
396	39	111件	土	高杯2	18.1				ミガホ	ミガホ	1576	111件7	
397	39	111件	土	高杯	(13.8)				杯底ハゲ・脚部ハゲミガホ	杯底ハゲ・脚部ハゲミガホ	1670801	111件3	
398	39	111件	土	高杯	11.0				3/4	ミガホ	ミガホ	1670	111件11
399	39	111件	土	高杯	13.0	9.3	12.9	7/8	摩滅	杯底摩滅不鮮・脚部ミガホ	杯底摩滅不鮮・脚部ミガホ	1672	111件10
400	39	111件	土	高杯					ミガホ	ミガホ・脚工具	167181	111件9	
401	39	111件	土	直口壺	15.1	17.2	2/3	完	口横ミガホ・側ケズリ状工具・ミガホ	口横ミガホ・側ケズリ状工具・ミガホ	1675	111件15	
402	39	111件	土	小型丸壺	9.7	10.4			溝	ミガホ・工具	1673	111件13	
403	39	111件	土	小型丸壺					ハサウエ工具	工具	1684	111件14	
404	39	111件	土	直					工具	工具	1669	111件16	
405	39	111件	土	小型丸壺					ナラバズリ	工具	1685	111件17	
406	39	111件	土	直					一部	ミガホケズリ	工具	1675	111件18
407	39	111件	土	直	5.2				ミガホ	ミガホ	1700	111件19	
408	39	111件	土	直	(16.4)			1/3	ヨコ・工具	ヨコ・工具	1665	111件20	
409	39	112件	土	高杯	(16.0)			1/10	ハゲミガホ	ハゲミガホ・脚工具	1717	1112	
410	39	112件	土	高杯	(17.0)			1/6	ミガホ摩滅	ミガホ摩滅	1715	112件1	
411	39	112件	土	高杯	12.0				ミガホ	ミガホ	1715	112件2	
412	39	112件	土	高杯	(14.9)			1/3	摩滅	工具	1705	112件3	
413	39	112件	土	高杯					ミガホ摩滅	脚板・ミガホ・ナデ摩滅	1711	112件6	
414	39	112件	土	高杯	(11.7)	6.1	13.7	1/4	摩滅	脚板・ナデ	1717801	112件5	
415	39	112件	土	直	(13.7)	9.5	3.4	完	ヨコミガホ・脚部ハケ	ヨコミガホ・脚部ハケ	1714	112件16	
416	39	112件	土	小型丸壺	10.4	9.5	3.4		6.6ミガホ・脚ミガホ・脚ケズリハケ	工具	1719	112件19	
417	39	112件	土	小型丸壺	(9.0)	9.5	1/4	完	側斜面・脚部ミガホ	ミガホ・工具、底面ハケ	1729	112件28	
418	39	112件	土	小型丸壺	(10.3)	9.5	1/6		6.6ミガホ・脚ミガホ・脚ケズリハケ	工具	1715	112件10	
419	39	112件	土	小型丸壺	9.3	8.2			ミガホ摩滅	ナダ	1717	112件7	
420	39	112件	土	小型丸壺					ミガホ摩滅	工具	1715	112件12	
421	39	112件	土	小型丸壺					ミガホ摩滅	工具	1715	112件13	
422	39	112件	土	小型丸壺	(9.8)				ミガホ摩滅・底面ハケ	工具	1717	112件13	
423	39	112件	土	直	(1.0)				ヨコミガホ	ヨコミガホ	1712	112件14	
424	39	112件	土	直	(1.0)				ハグ摩滅	工具	1716	112件15	
425	40	113件	土	小型丸壺	(10.0)			1/2	ミガホ	ミガホミガホ・工具	1722	113件2	
426	40	113件	土	小型丸壺	9.6	10.0	7.8	完	ハグ・底斜ケズリ後ハケ	ハグ・脚工具	1720	113件1	
427	40	114件	A	杯	1.28	7.0	4.1	3/4	摩滅	ロクロ・回転ナード消	ロクロ・ミガホ・黒	1727+2248	114件1
428	40	114件	A	杯	(1.30)	(6.4)	4.0	1/6	3/5	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1727+2258	114件2
429	40	114件	A	杯	(1.64)	(8.5)	4.7	1/3	1/5	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1727	114件3
430	40	114件	A	杯	(1.50)	7.1	5.3	1/6	摩滅	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1727+2251	114件5
431	40	114件	A	杯	(1.48)				ロクロ	ロクロ・ミガホ・黒	1727	114件4	
432	40	115件	A	杯	(1.28)	(5.6)	4.5	1/4	1/2	ロクロ・回転ナード消	ロクロ・ミガホ・黒	1726801	115件1
433	40	115件	A	皿	(1.26)				ロクロ	ロクロ・ミガホ・黒	1751	115件2	
434	40	115件	A	皿					ミガホ	ミガホ・黒	1734	115件3	
435	40	115件	A	直	17.6				ミガホ	摩滅	1732803	115件4	
436	40	115件	A	直	12.5				ミガホ	ナダ	1731801	115件5	
437	40	115件	A	直	(2.0)				ミガホ	工具	1730803	115件6	
438	40	115件	A	直	(8.4)			2/3	ヨコミガホ	ヨコミガホ・黒	1729804	115件7	
439	40	118件	A	杯	(13.0)	6.0	4.0	1/4	摩滅	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1791	118件7
440	40	118件	A	杯	13.1	6.3	3.8	1/4	摩滅	ロクロ・回転	ロクロ・ミガホ・黒	1797	118件5

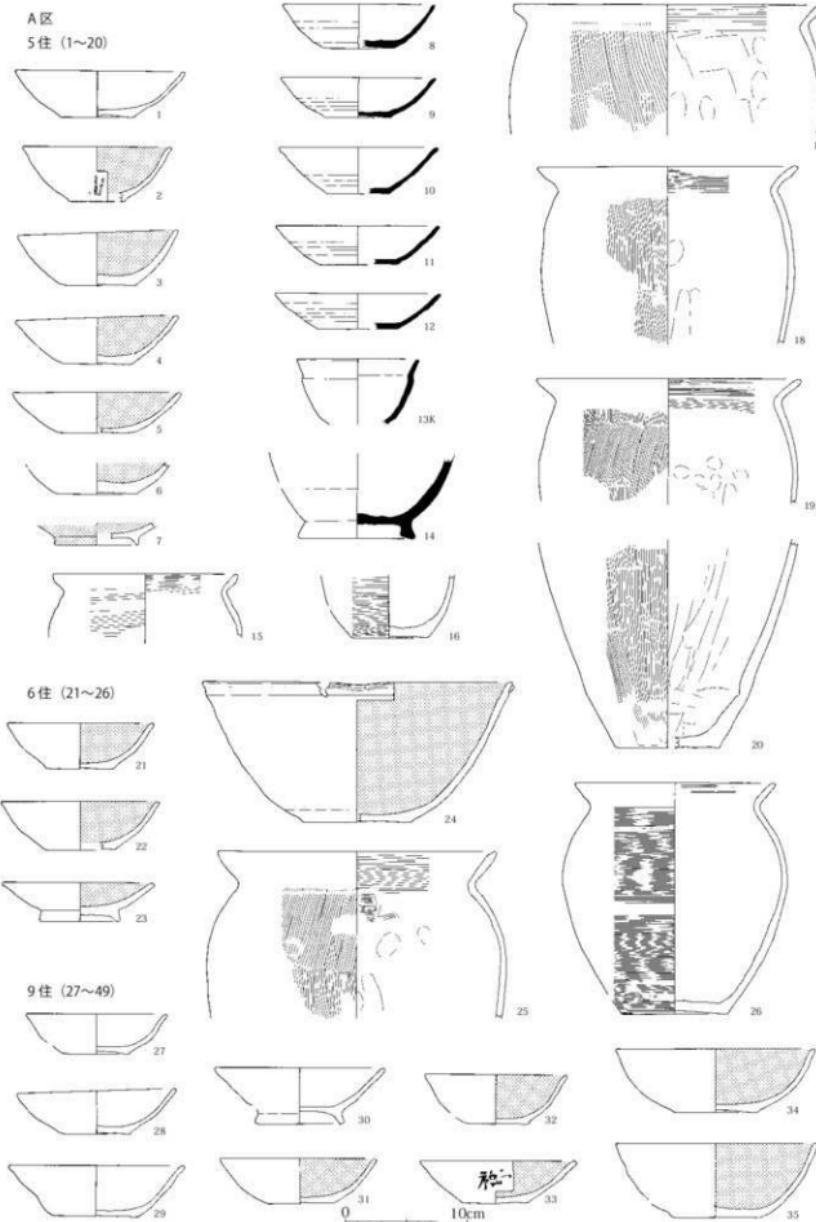
第5表 土器観察表 (5/8)

No.	周	地点	地	器物名	口径	底径	高さ	壁厚度	測量調査・処理等			注記番号	実測番号	
									外	面	内			
441	40	118位	A	杯	(13.0)	5.1	3.9	1.8	壳	クロコ・回系	クロコ・ミガキ→黒	1792	118/3	
442	40	118位	A	杯		(6.6)		2/3		クロコ・回系	クロコ・ミガキ→黒	1781	118/19	
443	40	118位	A	皿		6.0		壳	クロコ・回系テナ	クロコ・ミガキ→黒	1797	118/1		
444	40	118位	A	碗	(15.4)	6.8	5.6	1/3	ぼ	クロコ・回系	クロコ・ミガキ→黒	1781	118/18	
445	40	118位	A	碗	(14.8)			1/4		クロコ	クロコ・ミガキ→黒	1789	118/8	
446	40	118位	A	碗	(16.8)			1/8		クロコ	クロコ・ミガキ→黒	1792	118/9	
447	40	118位	A	碗		6.8		1/2		クロコ・底部剥	クロコ・ミガキ→黒	1797	118/4	
448	40	118位	A	碗	(12.2)	4.8	4.1	1/4	壳	クロコ・回系	クロコ	1788	118/2	
449	40	118位	A	碗	(13.4)	6.0	3.9	1/8	壳	クロコ・回系	クロコ	1783	118/10	
450	40	118位	A	碗	(13.2)	4.8	3.7	1/21	3/4	クロコ・底部ケズ	クロコ	1788	118/13	
451	40	118位	A	碗	(12.8)	4.9	3.6	一部	1/3	クロコ・回系	クロコ	1792	118/12	
452	40	118位	A	碗		5.6		壳	クロコ・回系	クロコ	1774	118/6		
453	40	118位	A	碗	(19.8)			1/5		クロコ	クロコ・ハケ兼	1793/1	118/14	
454	40	118位	A	碗	(22.4)			1/2		ヨコ・耐ハケ	カ・耐・工具	1777/3	118/11	
455	40	118位	A	碗	(9.0)			1/3		耐ハケ	耐・工具	1785	118/16	
456	40	118位	A	碗	(23.8)			1/6		ヨコ・耐ハケ	カ・耐・工具	1792	118/15	
457	40	118位	A	円筒型	(9.2)			1/3		耐ハケ	帆・工具	1792/1	118/17	
458	40	120位	A	杯	(13.0)	4.5	1.3			チバケリ摩滅	ミガキ→黒	1801	120/4	
459	40	120位	A	杯	(13.8)	6.4	3.9	1/5	1/3	クロコ・回系	クロコ→ミガキ→黒	1821	120/1	
460	40	120位	A	杯	(15.0)			1/8		クロコ	クロコ	1816	120/5	
461	40	120位	A	杯	(12.0)			1/3		クロコ・回系	クロコ	1805	120/3	
462	40	120位	A	盃	15.8		3.1	5/6		クロコ・回系	クロコ	1806	120/19	
463	40	120位	A	盃	(16.0)			1/2		クロコ・回系	クロコ	1812	120/6	
464	41	121位	A	小盾B	(12.4)			1/8		ヨコ・耐ハケ	ヨコ・耐・ハケ	1813	121/1	
465	41	120位	A	盃	23.9			1/4		クロコナ	クロコ	1805	120/8	
466	41	120位	A	盃	(28.6)			1/7		クロコナ・叩き→ヨコ	クロコ・当具輪ナ	1813	120/7	
467	41	121位	A	盃	12.5	5.9	3.1	1/2	壳	クロコ・回系	クロコ	1821	121/1	
468	41	121位	A	盃	(17.4)			2/3		クロコ	クロコ	1821	121/2	
469	41	124位	A	盃	(13.0)	6.8	3.4	1/3	1/3	クロコ・回系	クロコ	1849	124/3	
470	41	124位	A	盃	(12.4)	5.8	4.3	1/2	耐	クロコ・回系	クロコ	1849	124/2	
471	41	124位	A	盃	13.2	5.4	3.7	壳	クロコ・回系	クロコ	1850	124/4		
472	41	124位	A	盃	(12.9)	6.6	3.9	1/2	1/2	クロコ・回系	クロコ	1841/1	124/1	
473	41	124位	A	盃	(12.4)	9.4	3.9	1/9	1/9	クロコ	クロコ	1852	124/5	
474	41	124位	A	盃	(11.0)			1/9		クロコ・底部剥	クロコ	1849	124/6	
475	41	124位	A	盃	(17.4)			1/8		クロコ・回系	クロコ	1853	124/11	
476	41	124位	A	盃				325	1/10	クロコ・回系	クロコ	1852	124/7	
477	41	124位	A	盃	(2.0)					クロコ・回系	クロコ	1848	124/8	
478	41	124位	A	盃B	(2.0)					ヨコ・耐ハケ	カ・耐・工具	1846/1	124/9	
479	41	124位	A	盃C	(2.0)			1/4		ヨコケズリ	ヨコケズリ	1844	124/10	
480	41	125位	A	高杯	(18.0)			1/6		ミガキハケ抜工具	ミガキ	1867	125/1	
481	41	125位	A	高杯	(14.6)			1/4		摩滅小	ナデ	1868	125/2	
482	41	125位	A	小型丸壺						摩滅不明	ナデ・アマモ	1866	125/3	
483	41	125位	A	盃	(20.3)			1/4		ヨコ・耐ハケ	ヨココナ	1837/1	125/4	
484	41	125位	A	盃	(16.3)			ぼ		ヨコ・耐	ナデ	1862	125/5	
485	41	133位	A	盃	(13.4)	9.0	3.7	2/3	3/4	クロコ・回転ヘラ切りナ	クロコ	1894/1	133/1	
486	41	133位	A	盃	(12.4)	9.2	5.4	1/3	1/3	クロコ・回転ヘラ切りナ	クロコ	1925	133/2	
487	41	133位	A	盃	(2.8)			1/8		ヨコ・スケ・アミ摩滅	帆・工具	1907/2	133/3	
488	41	133位	A	盃	(2.1)			1/5		ヨコ・耐ハケ摩滅	ヨコ・摩滅ナ	1906	133/4	
489	41	133位	A	盃	(2.0)			1/2		ナデ摩滅	ナデ摩滅	1901/4	133/5	
490	42	134位	A	無頭壺	(10.2)			1/5		ヨコ・工具	ヨコ・工具	1926	134/11	
491	42	134位	A	盃	(18.8)			1/5		ヨコ・工具摩滅	ヨコ・工具	1934	134/10	
492	42	134位	A	盃	(16.0)			1/3		摩滅小	摩滅小	1940/1	134/3	
493	42	135位	A	杯	(14.1)			1/24		ミガキ摩滅	ミガキ→黒摩滅	1965	135/1	
494	42	140位	A	杯	(10.4)			1/4		ミガキ・ケズリ摩滅	ミガキ→黒	1991	140/11	
495	42	140位	A	高杯	(13.4)	7.9	6.6	1/11	1/1	ミガキ摩滅	ミガキ→黒	1984	140/4	
496	42	140位	A	高杯				4.4	4.4	ミガキ摩滅	ミガキ→黒・工具	1981	140/5	
497	42	140位	A	高杯	(13.2)			1/6		ヨコ	ヨコ	1991	140/2	
498	42	140位	A	高杯	(14.1)			1/4		ヨコ	ヨコ	1991	140/3	
499	42	140位	A	杯	(11.5)			1/16		摩滅小	工具	1992	140/6	
500	42	140位	A	杯	(28.4)			1/4		ヨコ・ミガキ摩滅	ミガキ	1980	140/7	
501	42	140位	A	杯	(21.5)			1/18		ナデ摩滅	ナデモ	1988	140/7	
502	42	140位	A	杯	(29.1)			1/5		ヨコ・工具	ヨコ・工具	1994	140/8	
503	42	140位	A	杯	12.0			4.4	4.4	クロコ	クロコ	2009	143/1	
504	42	140位	A	盃		9.4		壳		ヨコ・耐	工具	2007	143/2	
505	42	145位	A	杯	(11.2)			1/5		ヨコ・ミガキ	ミガキ	2021	145/2	
506	42	145位	A	高杯	(14.0)			1/3		ヨコ・ミガキ	ミガキ→黒	2018/1	145/5	
507	42	145位	A	高杯	(17.0)			1/4		ヨコ・ミガキ	ミガキ→黒	2020	145/7	
508	42	145位	A	高杯		15.0		7/8		ヨコ・ミガキ	ナデ・ミガキ	2018/1	145/8	
509	42	145位	A	盃A	(16.2)	(11.2)	4.3	1/7		クロコ・回転ヘラ切り摩滅	クロコ	2021	145/3	
510	42	145位	A	盃	(16.0)	8.0	4.4	2/3		クロコ・底部剥	クロコ	2019	145/6	
511	42	147位	A	盃	(10.6)			1/8		クロコ・回系	クロコ	2018	145/1	
512	42	147位	A	盃	(22.2)			1/8		ヨコミガキ	ミガキ→黒	2022	145/9	
513	42	145位	A	小壺	(13.8)	7.8	12.3	1/24	8/10	ヨコ・工具	ナデ摩滅	2018	145/4	
514	42	147位	A	杯	13.2	5.2	4.1	ぼ	壳	ヨコ・回転ヘラ切りナ	ヨコ・工具	2025	147/3	
515	42	147位	A	杯	13.8	6.3	4.4	ぼ	壳	ヨコ・回転ヘラナ	ヨココナ	2029	147/4	
516	42	147位	A	杯	15.5	6.0	5.0	ぼ	壳	ヨコ・回転ヘラナ	ヨココナ	2026	147/6	
517	42	147位	A	皿	(14.0)	(7.2)	3.6	1/4	1/4	クロコ・回系	ヨココナ	2035	147/5	
518	42	147位	A	皿	(12.5)			1/36		クロコ・回系	クロコ	2035	147/7	
519	42	147位	A	盃B		9.4		壳		ヨコ・耐	帆・工具	2034/1	147/9	
520	42	147位	A	小壺D	(13.2)	6.0	13.7	2/12	壳	ヨコ・カキ・底部剥	ヨコ・工具	2028/2	147/8	
521	42	147位	A	盃B	(21.8)			5/6		ヨコ・耐ハケ	カ・耐・工具	2028/4	147/2	
522	42	147位	A	盃B	(21.3)	8.4	29.9	3/4	1/3	ヨコ・耐ハケ	カ・耐・工具	2027/2	147/1	
523	42	148位	A	高杯	(12.6)			1/2		摩滅小	ミガキ→黒	2049/1	148/3	
524	42	148位	A	高杯						摩滅小	脱臼器・指ナ	2046	148/4	
525	42	148位	A	小壺	(14.4)			1/4		ヨコケズリ摩滅	工具	2043	148/5	
526	42	148位	A	小壺				壳		ヨコ・摩滅	摩滅小	2051	148/2	
527	42	148位	A	小壺	(13.0)			8.6	1/3	1/2	ヨコ・摩滅	ヨコ・摩滅	2055	148/1
528	42	148位	A	小壺	(17.3)			7/8		ヨコ・ガキ	ヨコ・摩滅	2044	148/6	

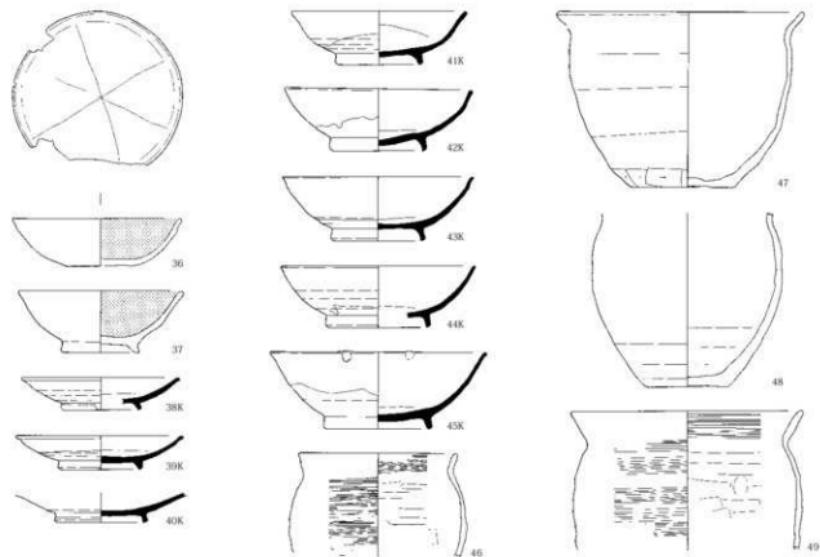
第5表 土器観察表 (6/8)



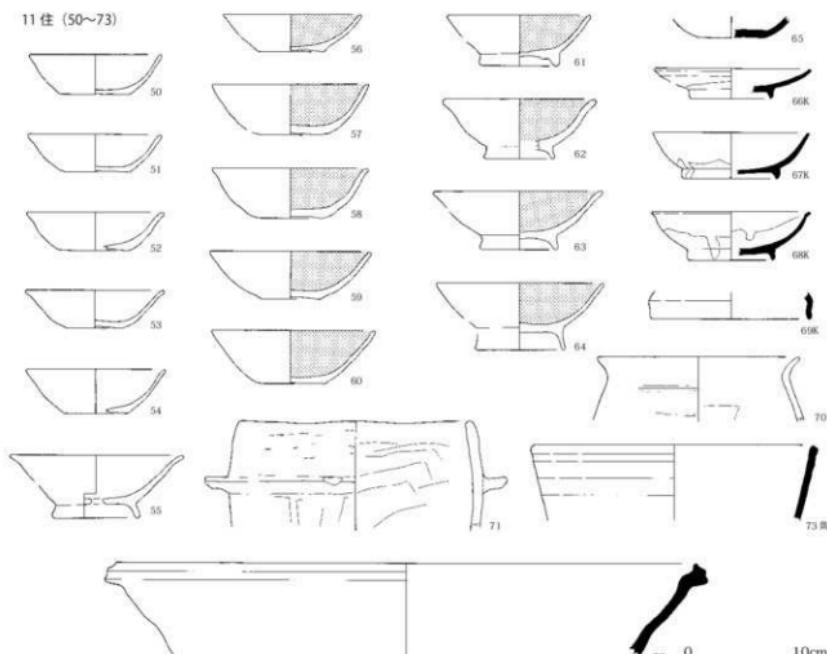




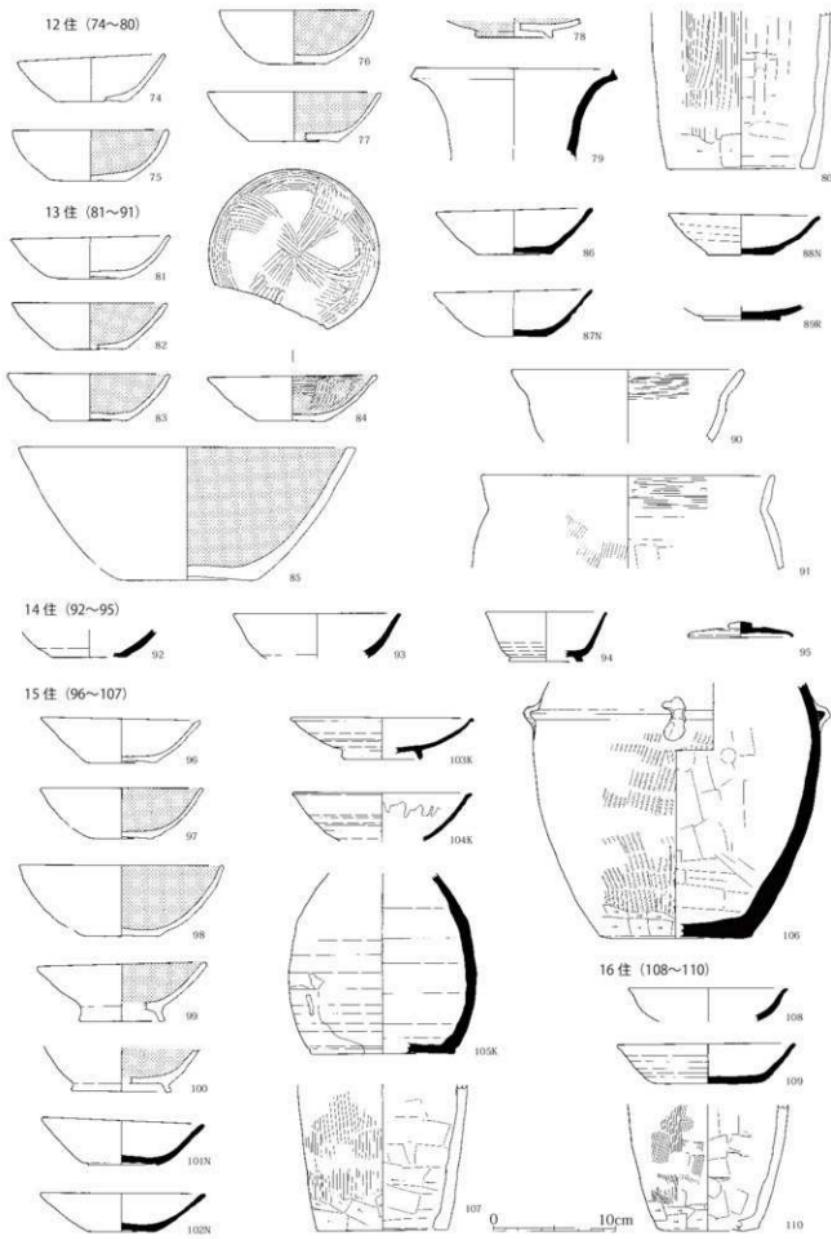
第27図 土器実測図(1)



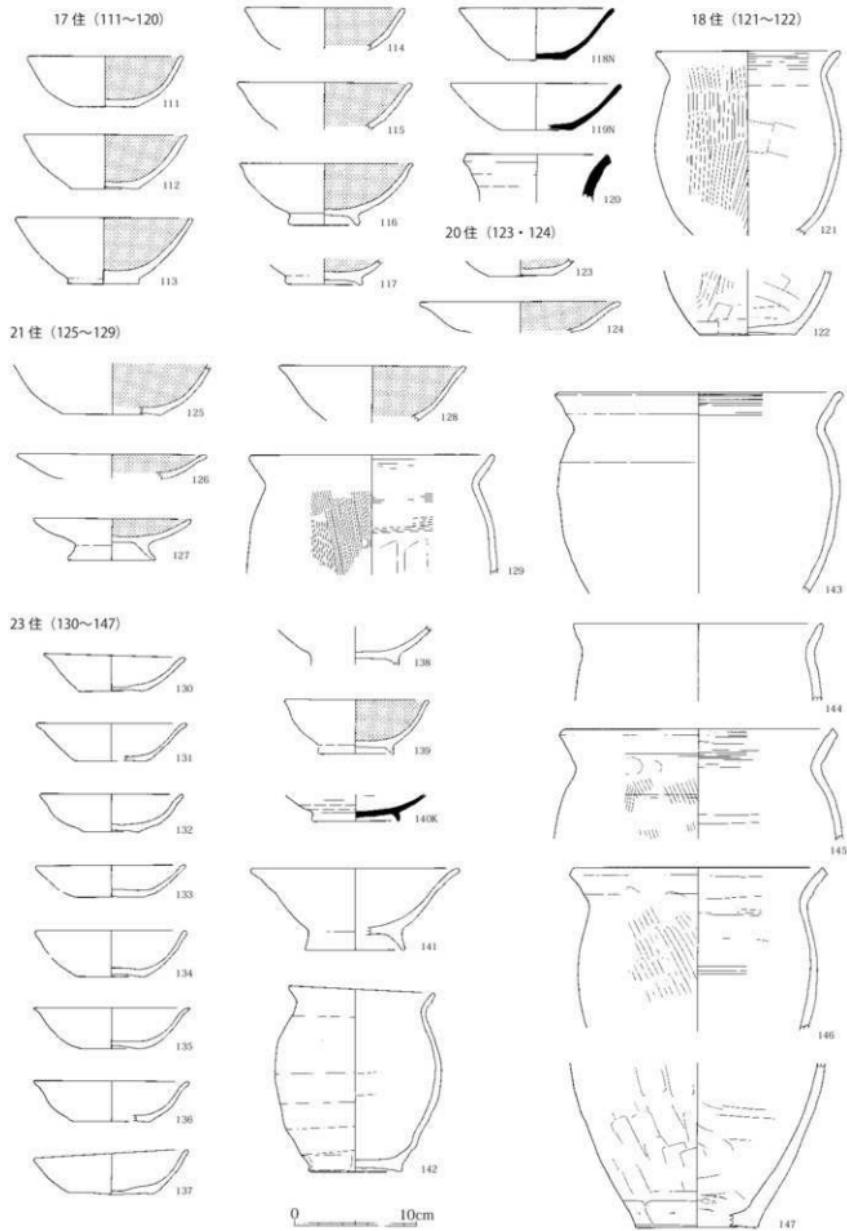
11住 (50~73)



第28図 土器実測図(2)

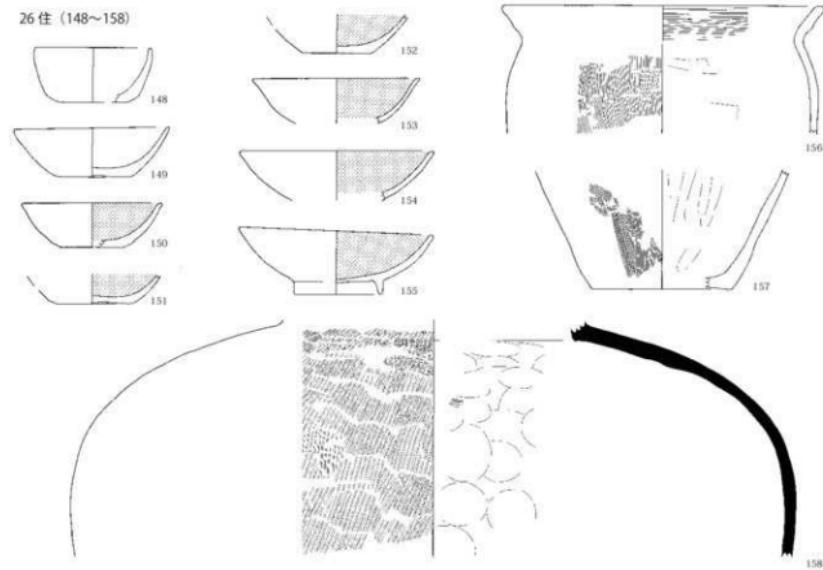


第29図 土器実測図(3)

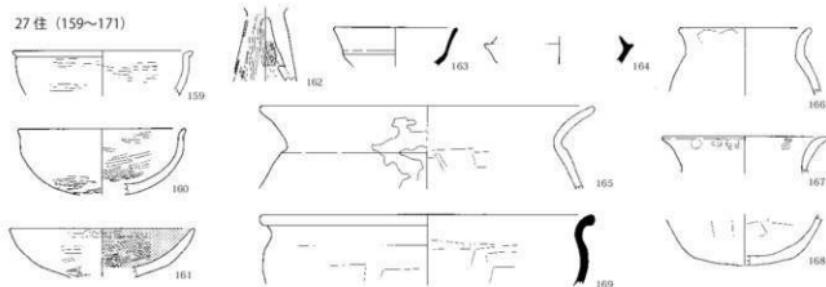


第30図 土器実測図(4)

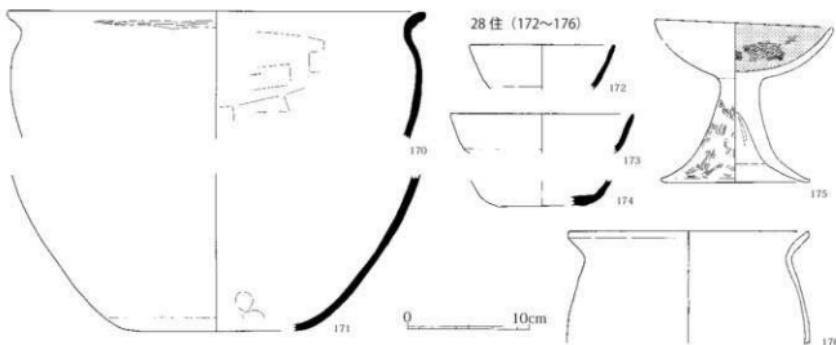
## 26住(148~158)



## 27住(159~171)

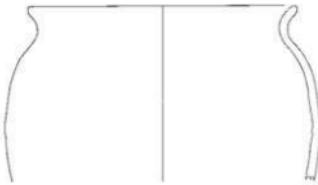
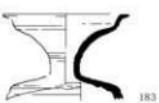
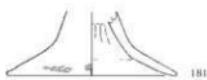
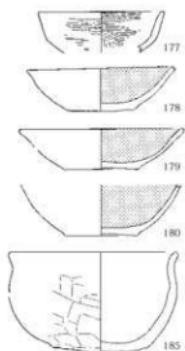


## 28住(172~176)

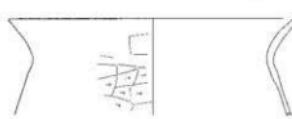
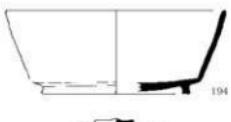
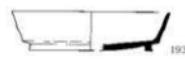
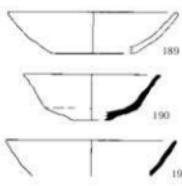


第31図 土器実測図(5)

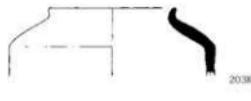
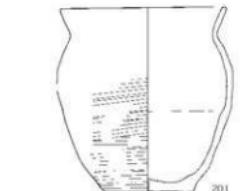
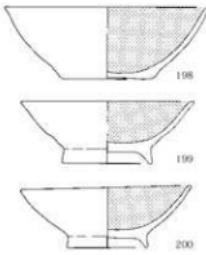
30住 (177~188)



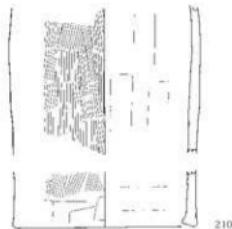
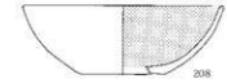
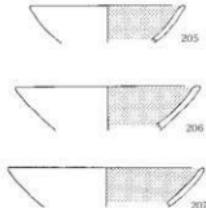
31住 (189~197)



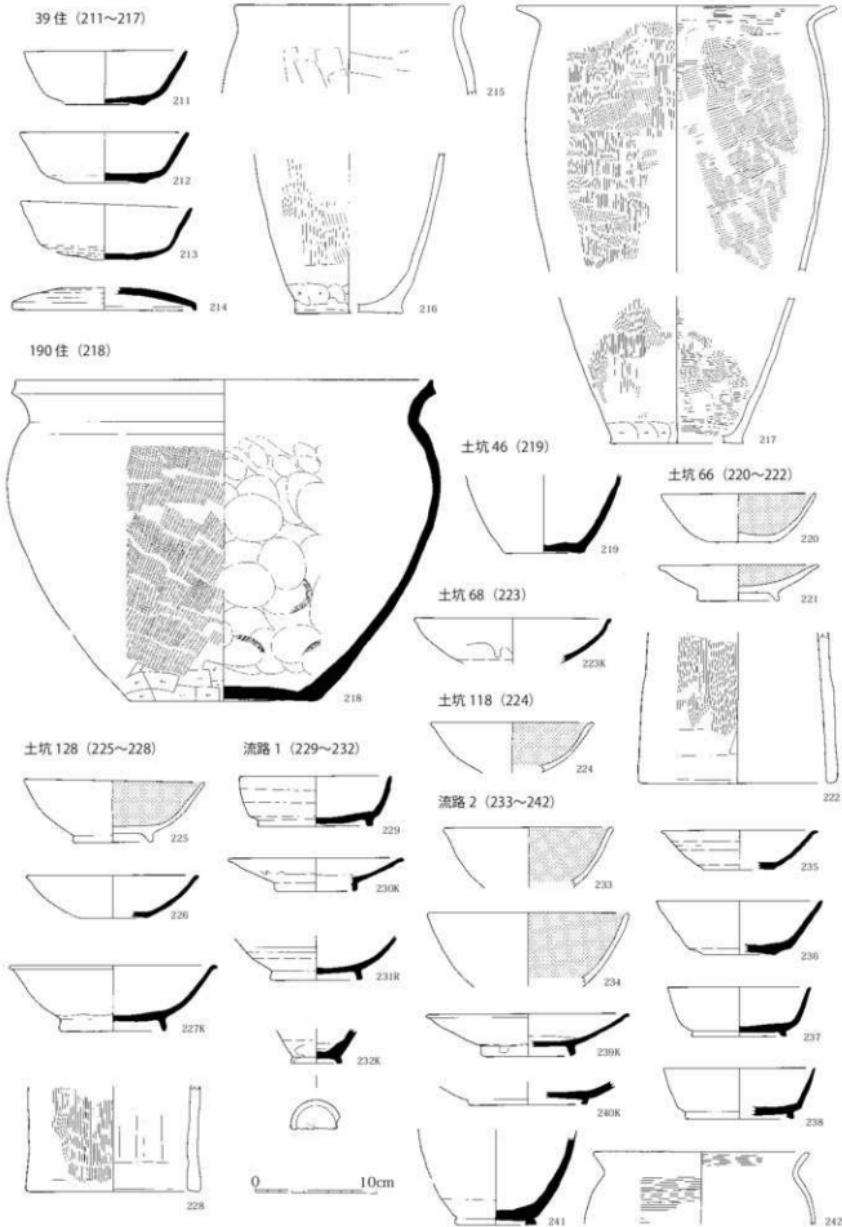
33住 (198~204)



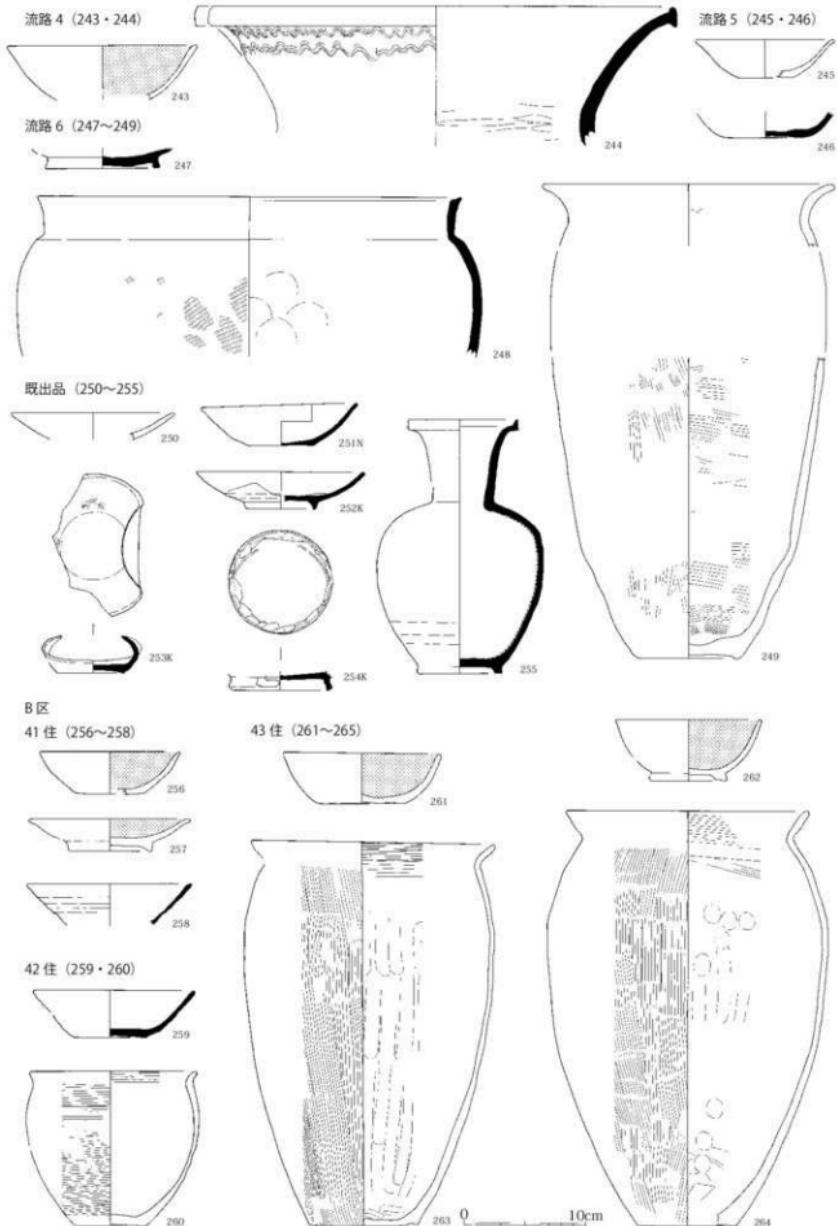
35住 (205~210)



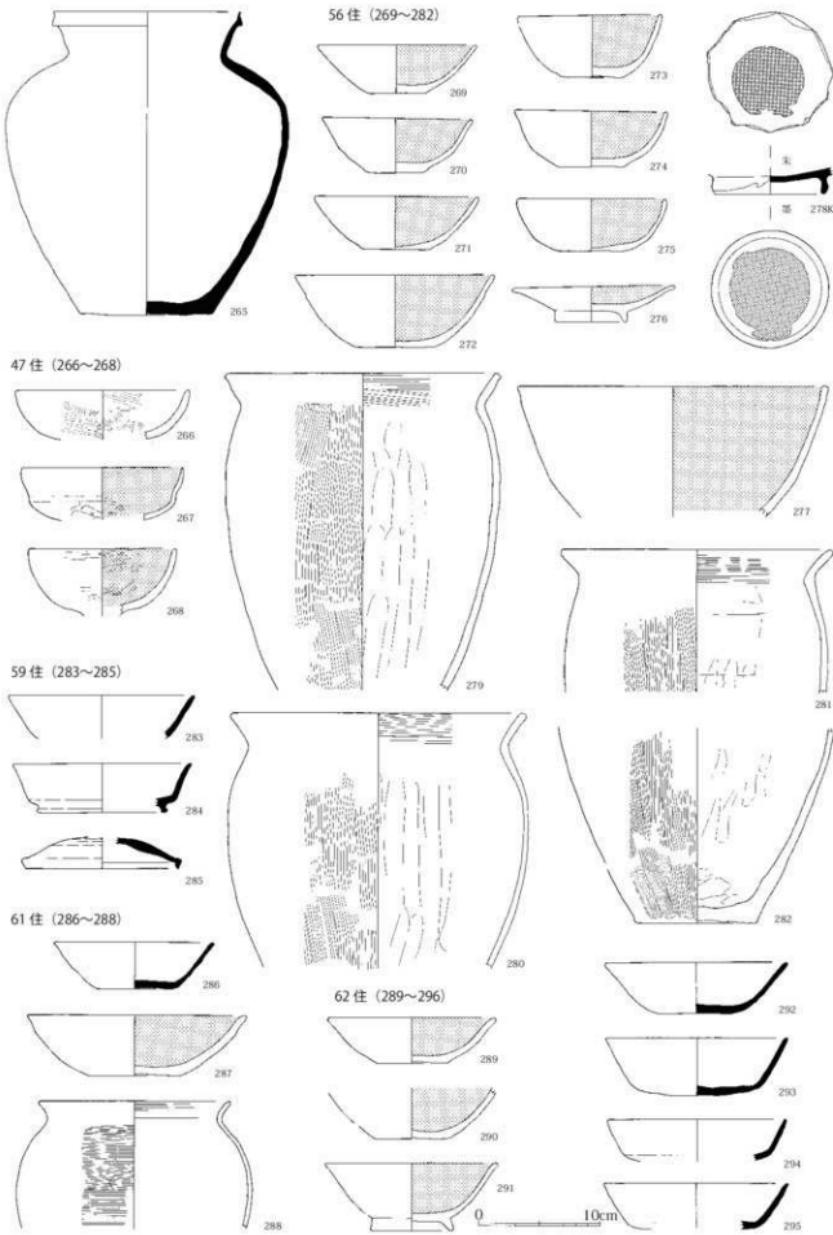
第32図 土器実測図(6)



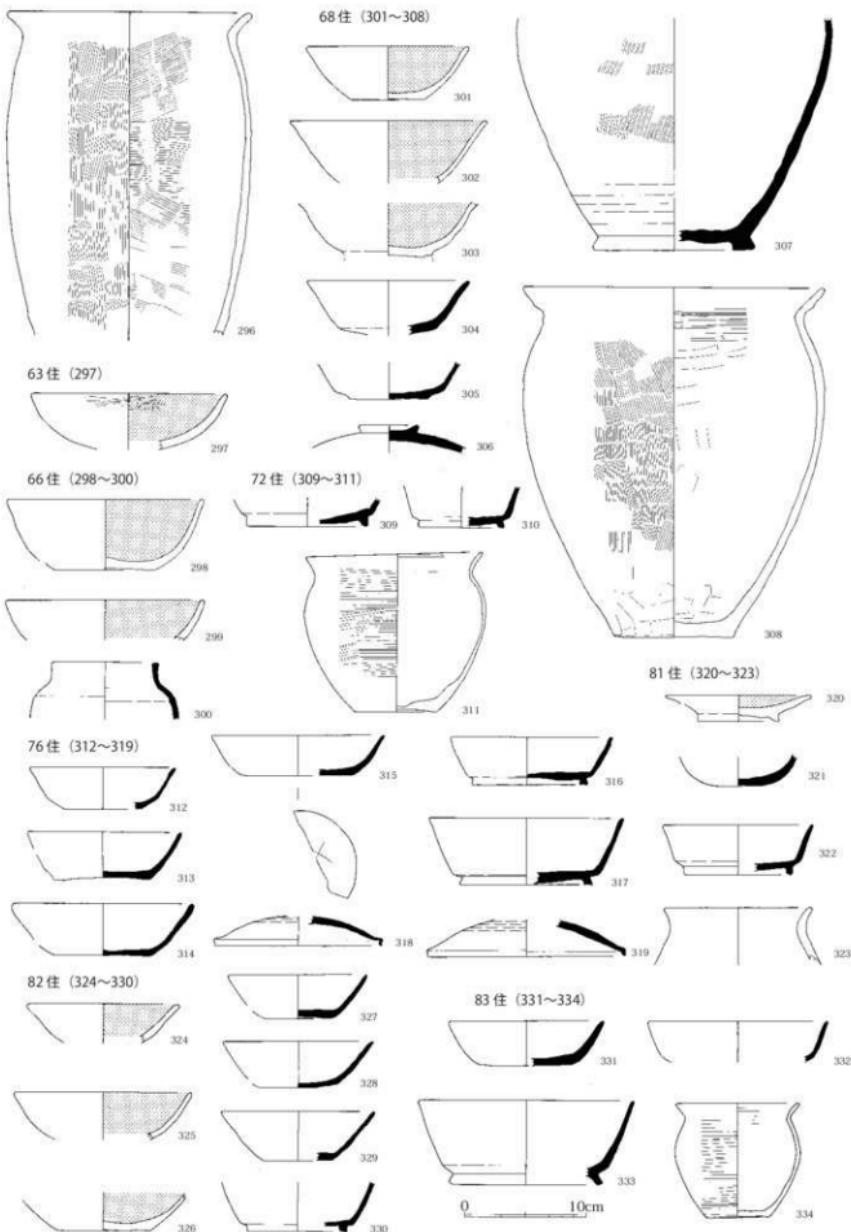
第33図 土器実測図(7)



第34図 土器実測図(8)

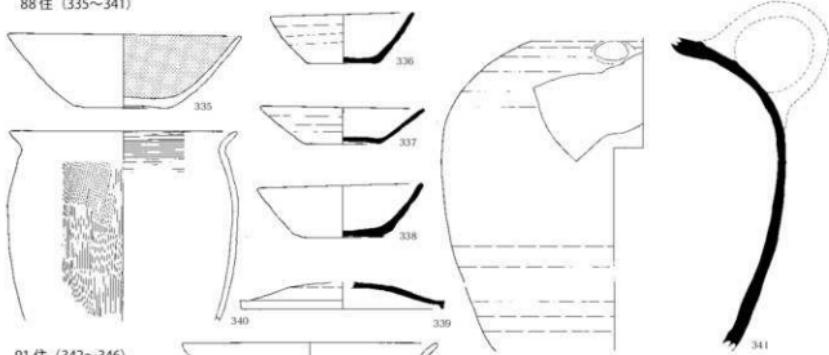


第35図 土器実測図(9)

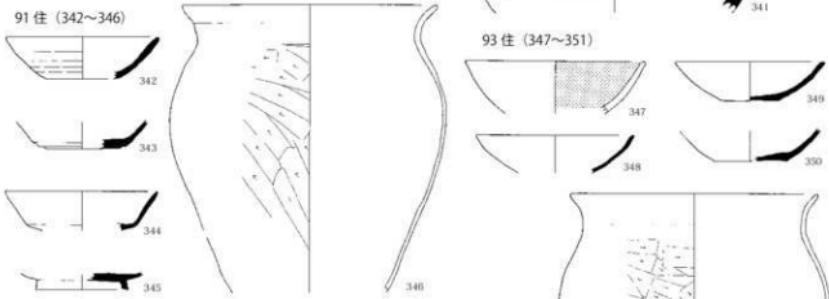


第36図 土器実測図(10)

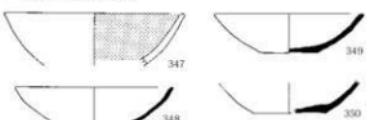
88住 (335~341)



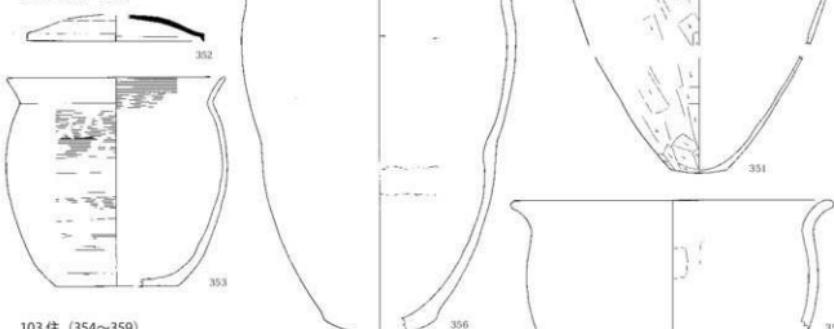
91住 (342~346)



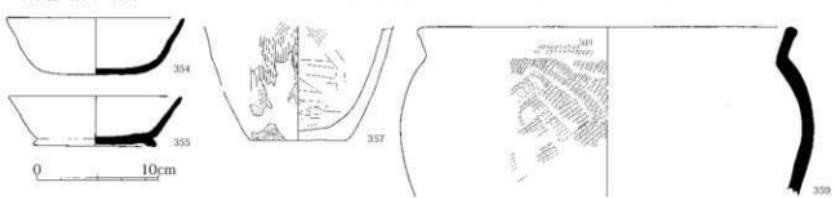
93住 (347~351)



94住 (352・353)



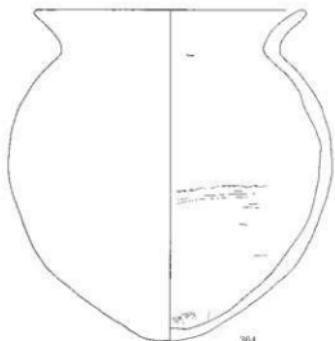
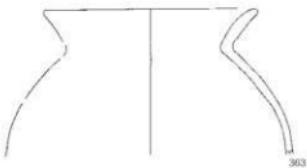
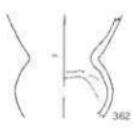
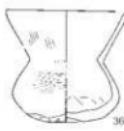
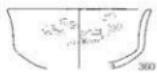
103住 (354~359)



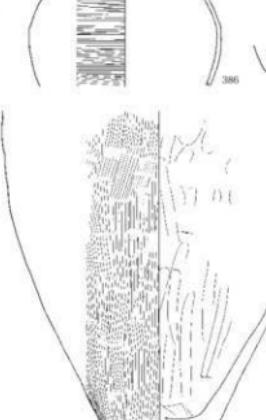
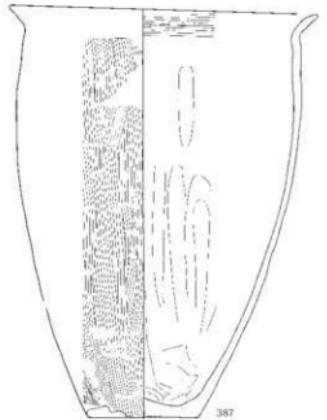
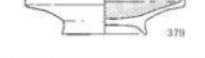
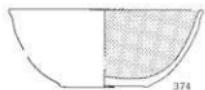
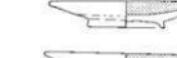
0 10cm

第37図 土器実測図(11)

108 住 (360~364)



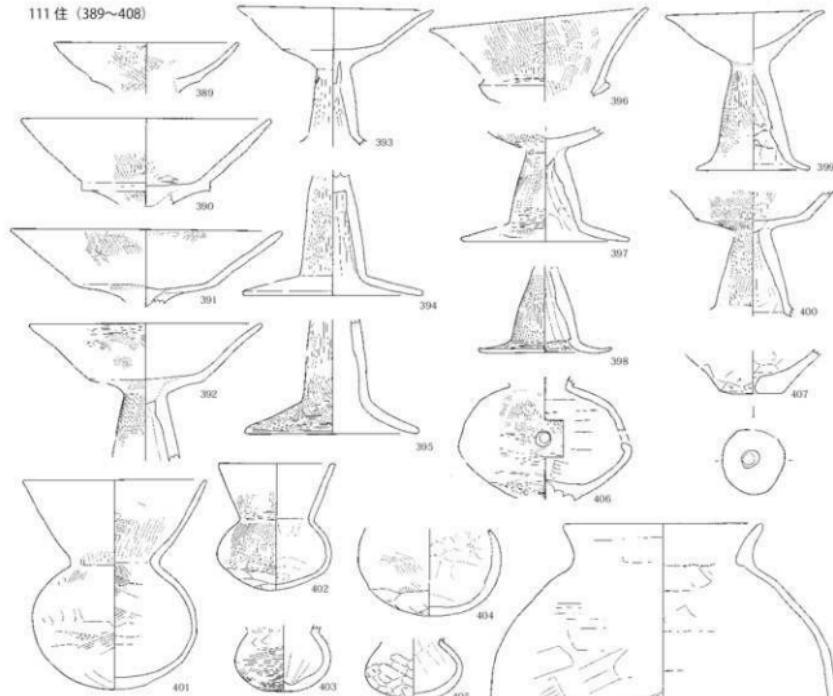
110 住 (365~388)



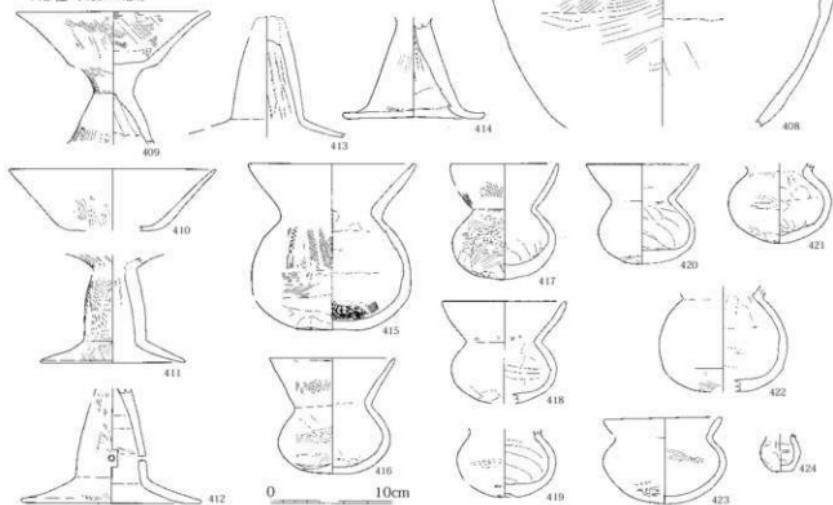
0 10cm

第38図 土器実測図(12)

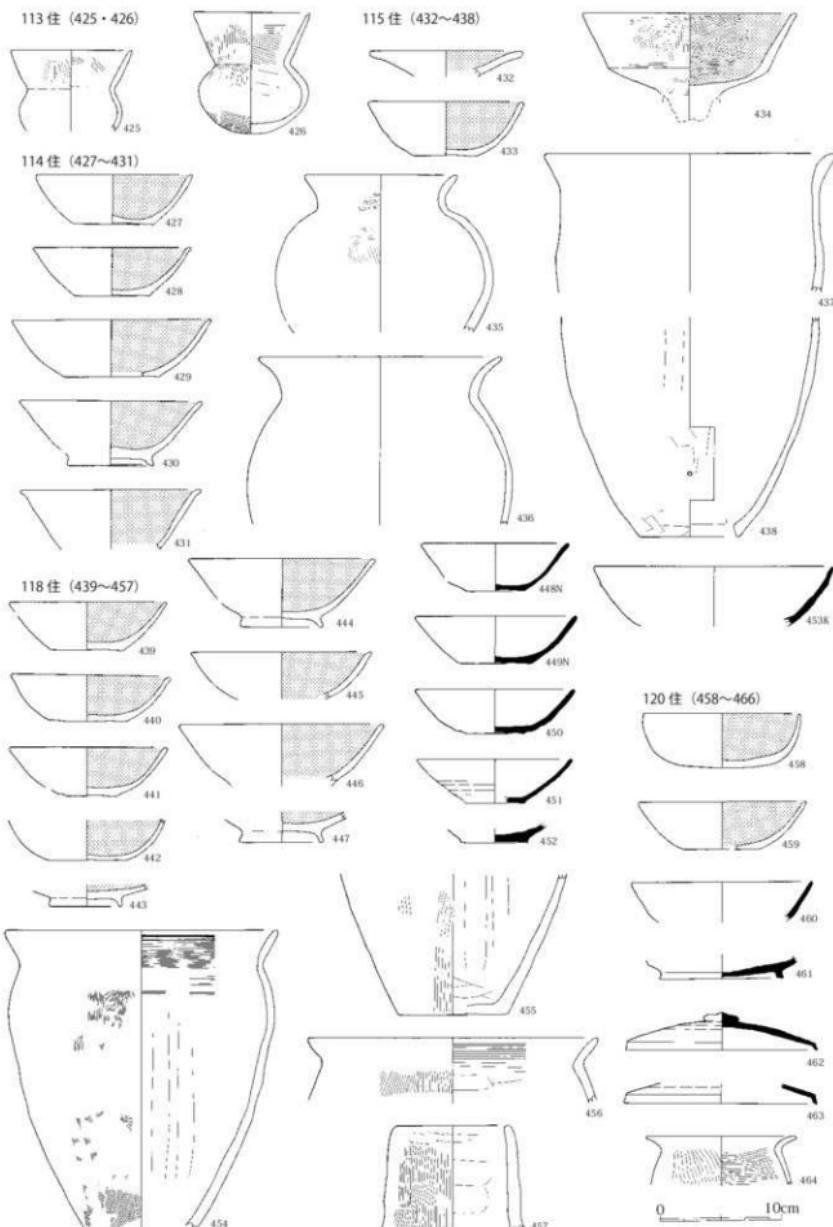
111住 (389~408)



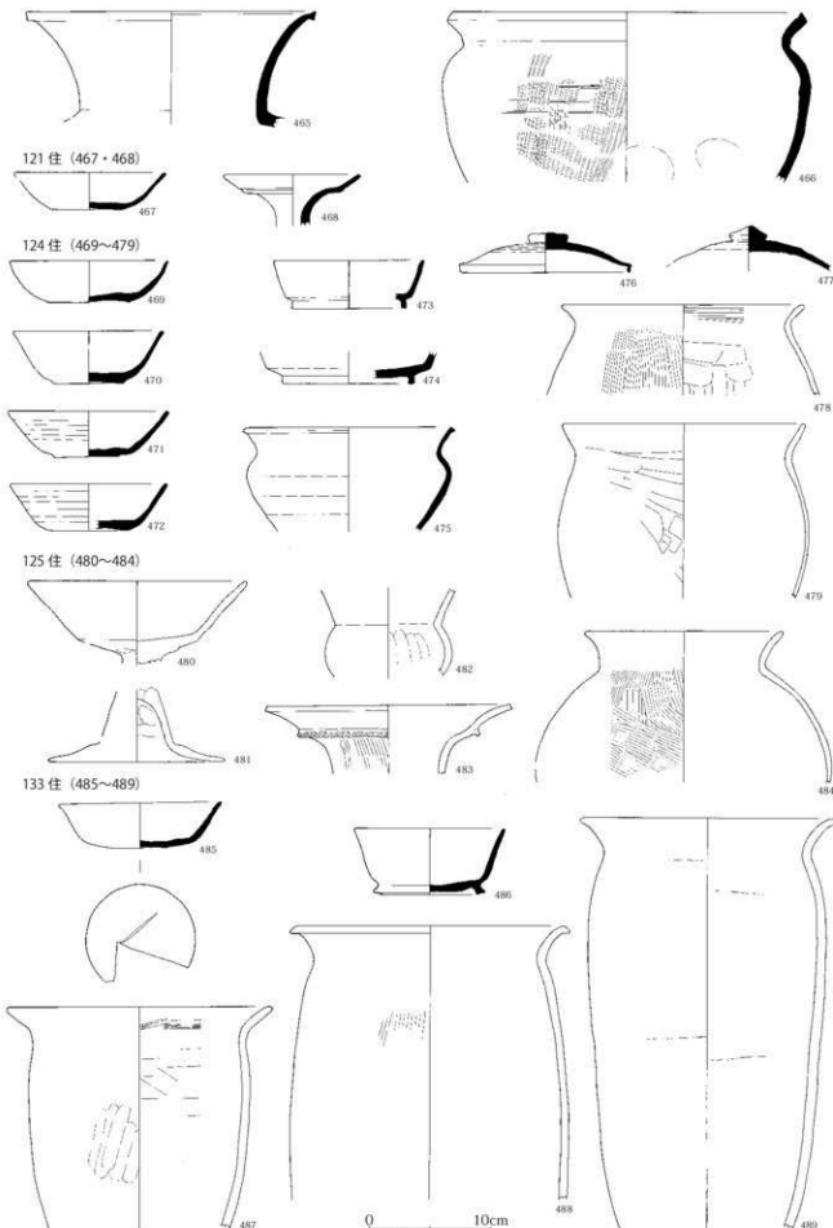
112住 (409~424)



第39図 土器実測図(13)

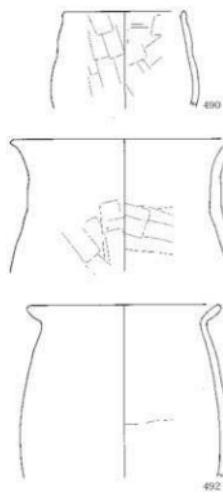


第40図 土器実測図(14)

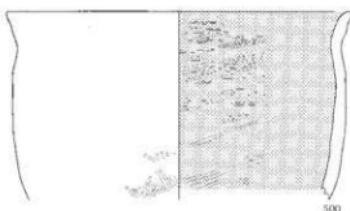
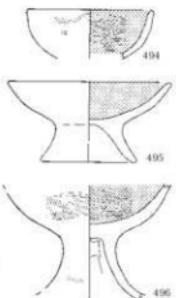


第41図 土器実測図(15)

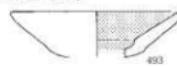
134住 (490~492)



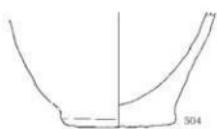
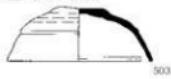
140住 (494~502)



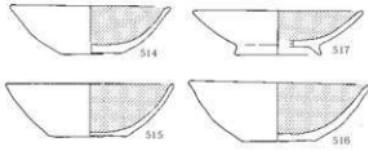
135住 (493)



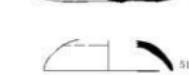
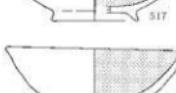
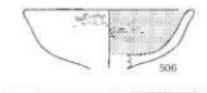
143住 (503・504)



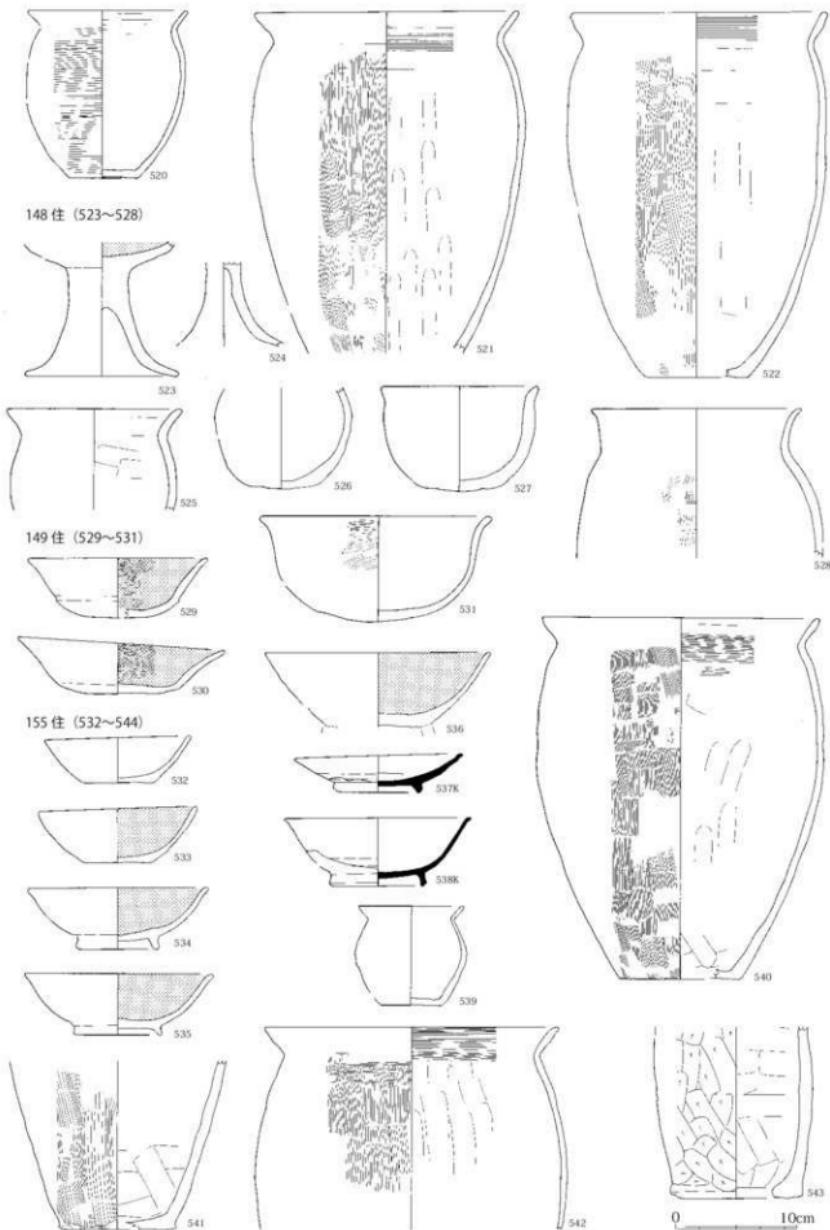
147住 (514~522)



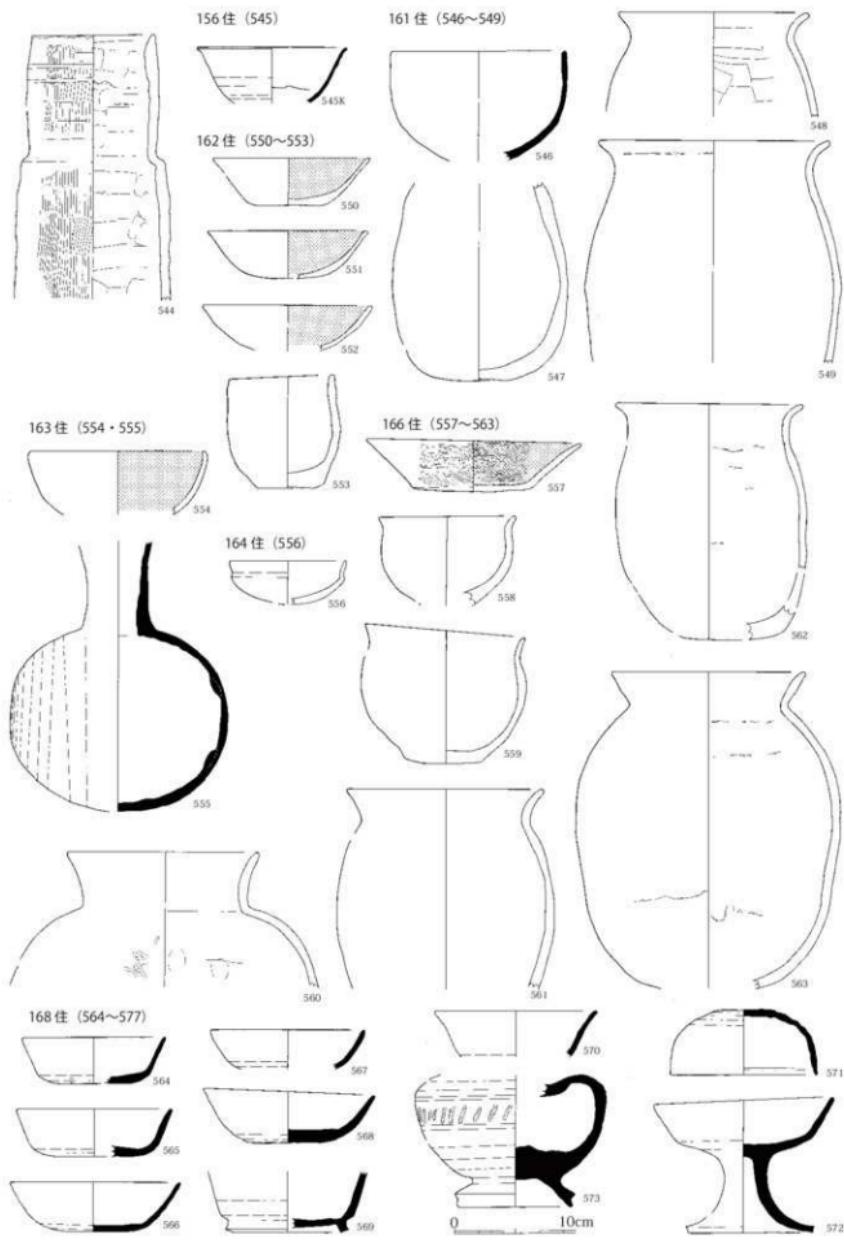
145住 (505~513)



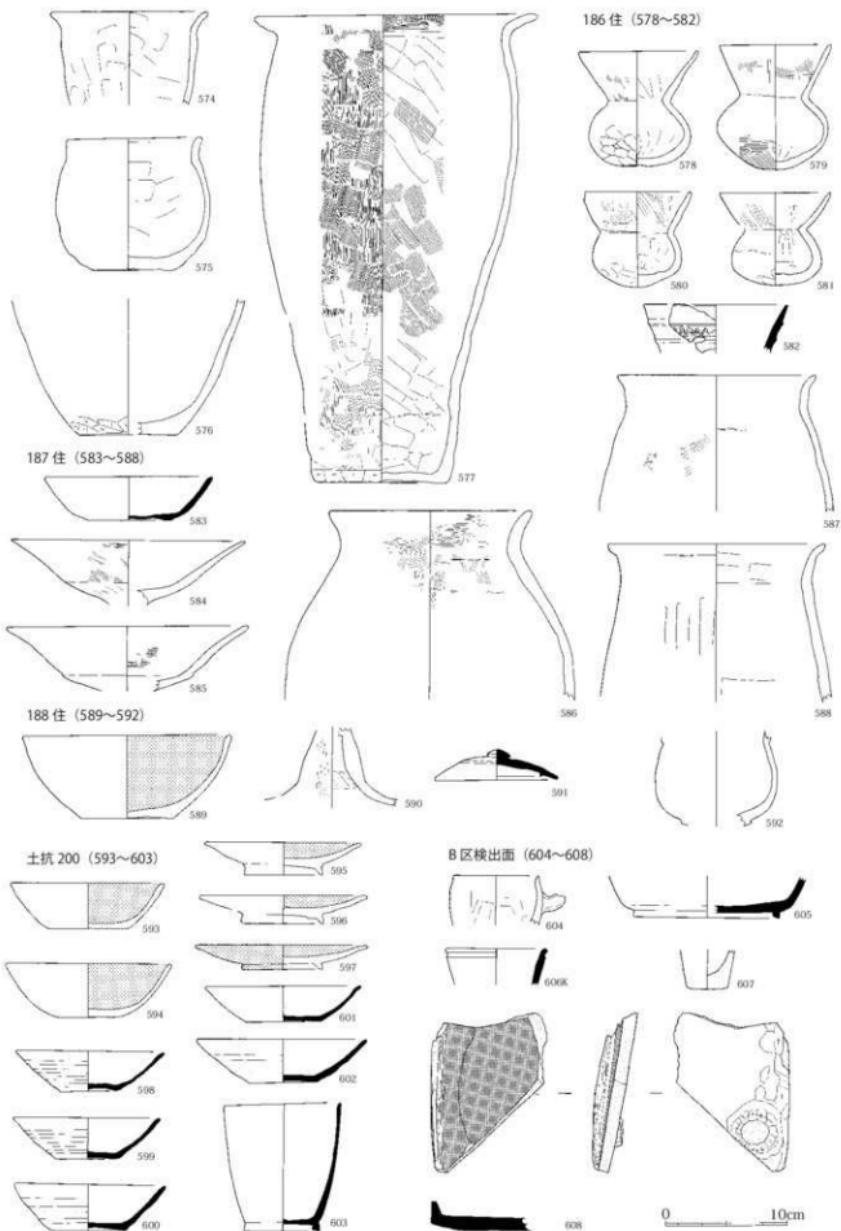
第42図 土器実測図(16)



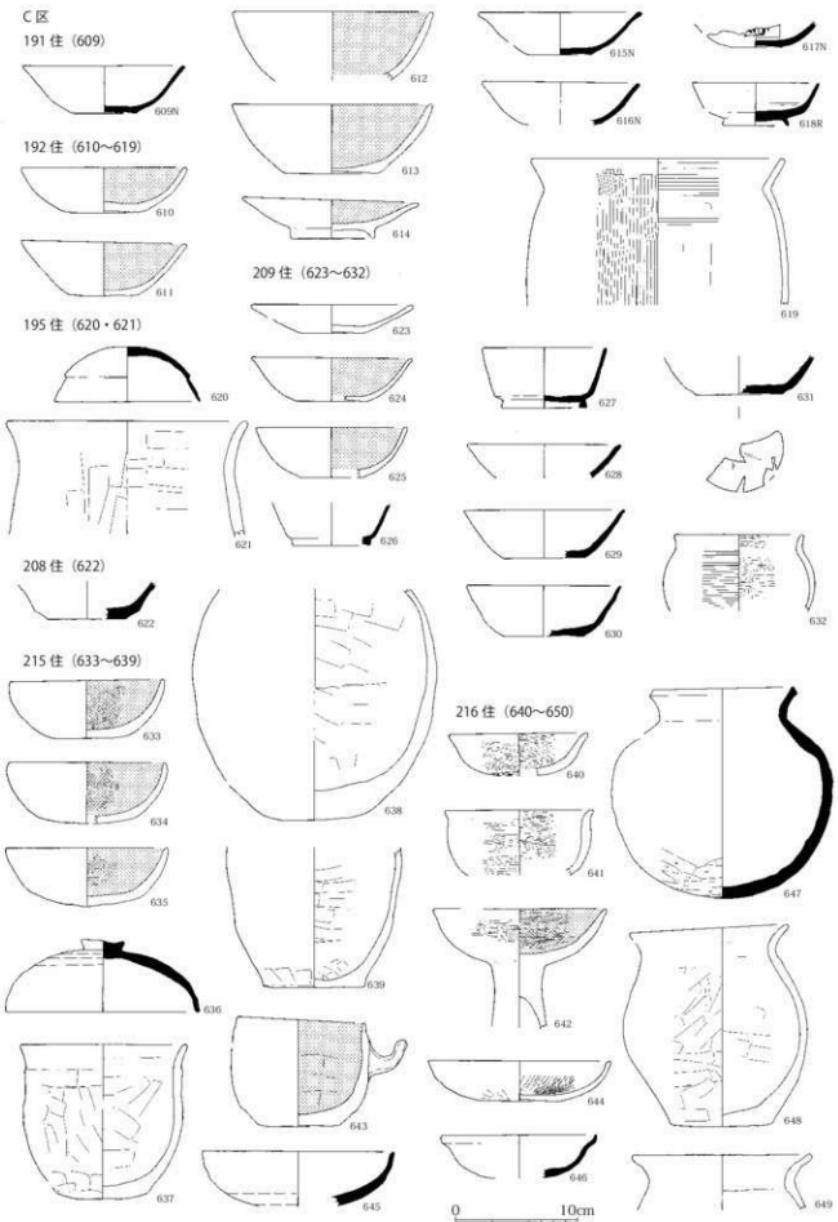
第43図 土器実測図(17)



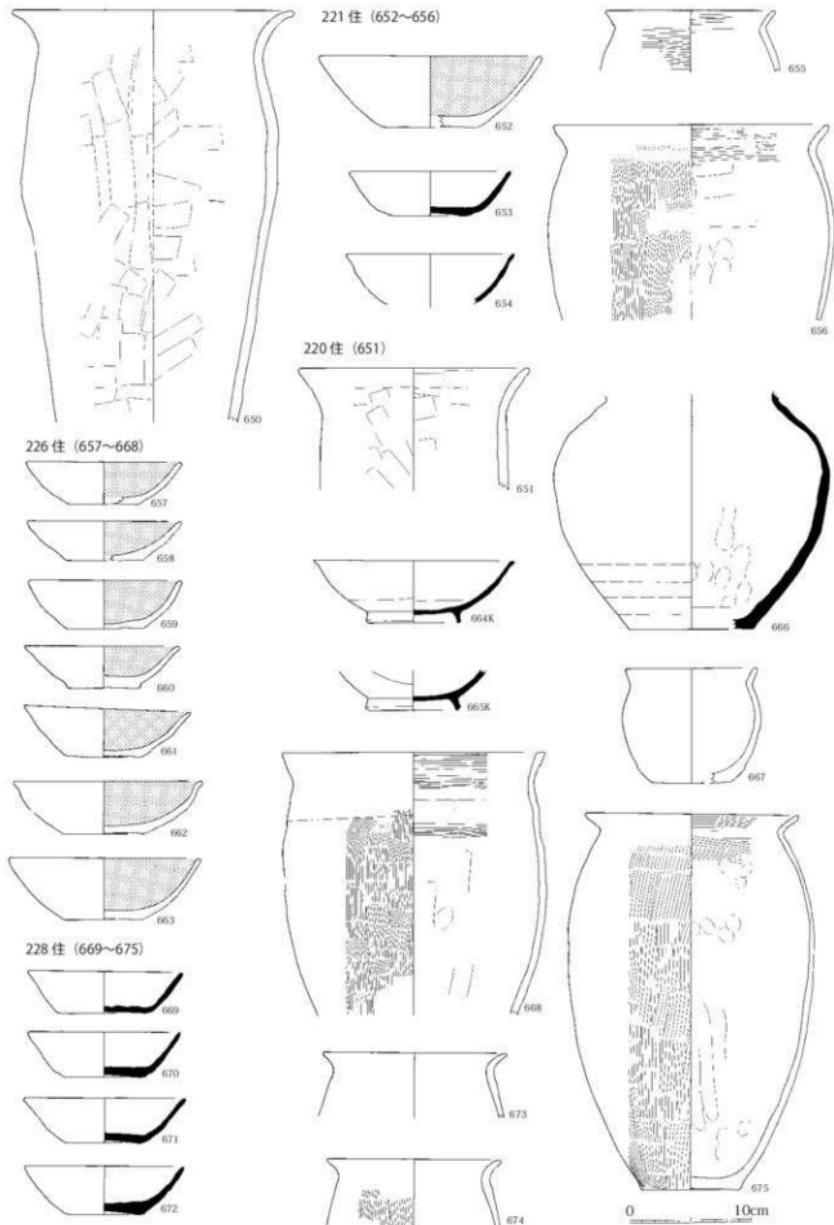
第44図 土器実測図(18)



第45図 土器実測図(19)

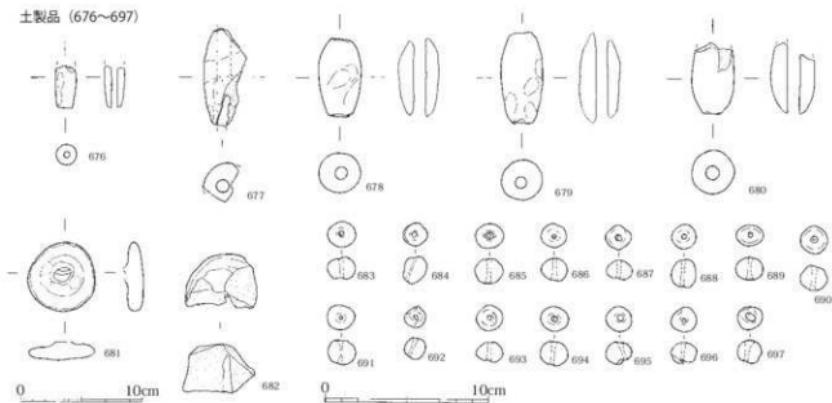


第46図 土器実測図(20)



第47図 土器実測図(21)

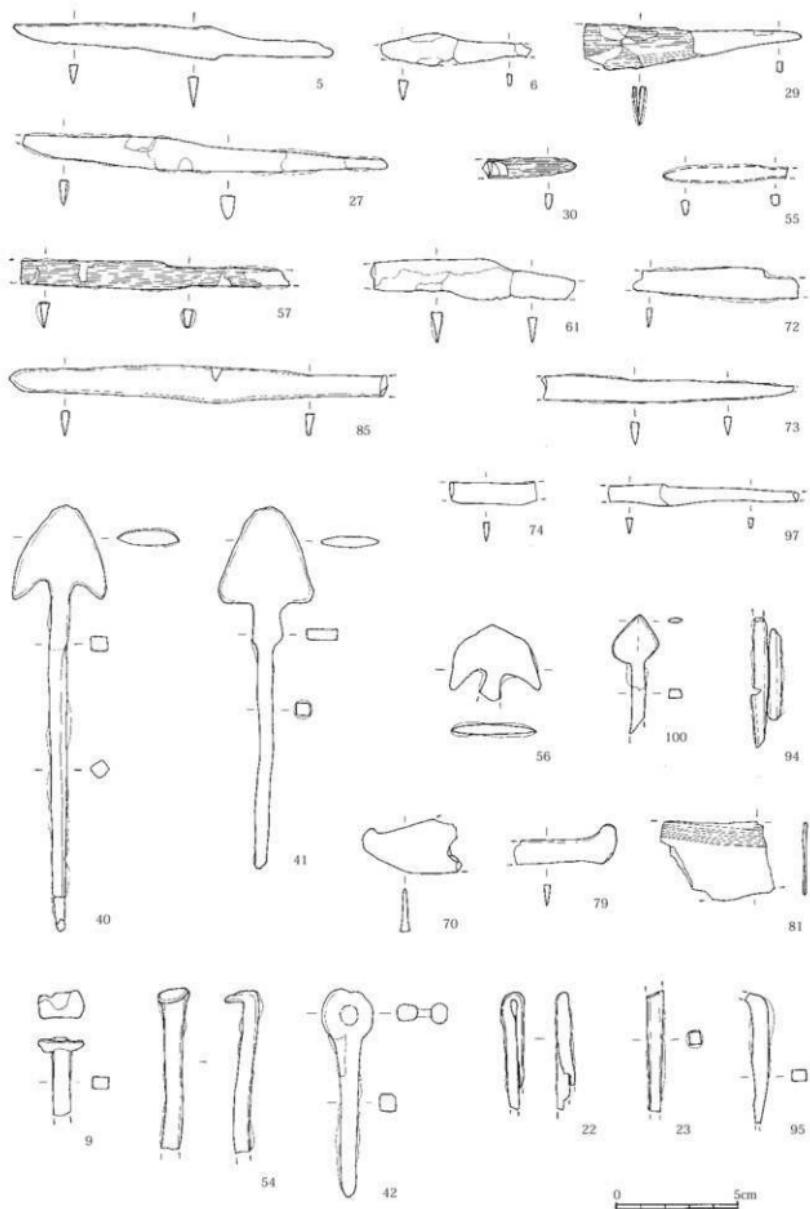
土製品 (676~697)



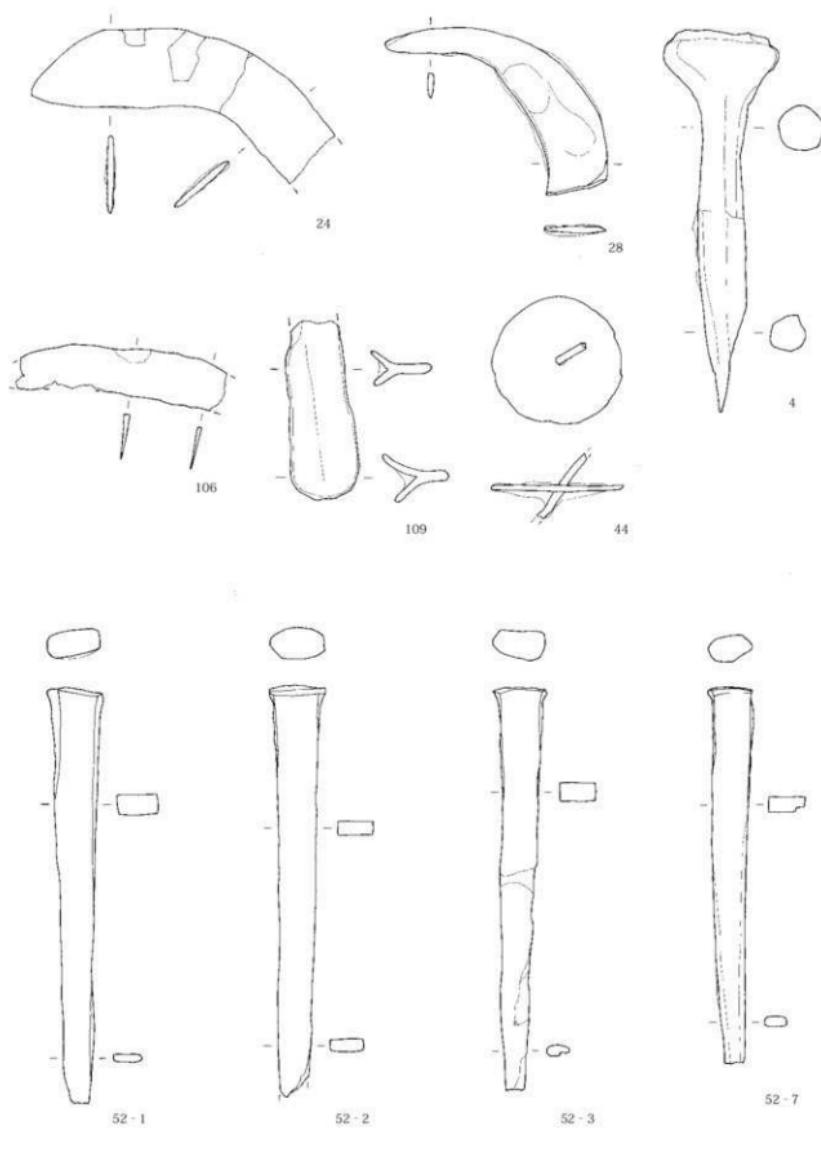
第48図 土製品実測図

試験番号	測定番号	出土情報	地名	面積	部位等	総長	最大幅	重積	金属判別	備考
1.	DA №1 174/177		A. 木田	横状	51.0	6.1	4.3	2.2	鉄	高さ約3cm
2.	DA №2 350W		A. 木田	横状	103.2	13.5	9.7	17.0	鉄	鋸刃付
3.	DA №3 101世帯坊		A. 木田	刀子?	74.6	8.4	6.2	6.6	鉄	刃付欠損
4.	DA №4 6世帯坊		A. 木田	刀子?	158.0	48.0	20.0	149.0	鉄	刃付欠損
5.	DA №5 8世帯坊		A. 木田	刀子?	61.5	14.0	6.0	1.1	鉄	刃付欠損
6.	DA №6 113 S100-861W1221		A. 木田?	刀子?	91.5	12.6	4.0	4.6	鉄	鋸刃欠損
7.	DA №7 9世帯坊上ノ層		A. 木田	刀子	29.2	13.6	5.2	2.6	鉄	鋸刃欠損
8.	DA №8 11世		A. 木田	刀子	41.5	8.8	6.7	3.8	鉄	鋸刃欠損
9.	DA №9 11世		A. 木田	刀子	39.4	12.3	11.3	4.5	鉄	鋸刃欠損
10.	DA №10 11世		A. 木田	刀子	33.1	7.5	6.2	2.3	鉄	鋸刃欠損
11.	DA №11 11世		A. 木田	刀子	99.4	11.8	9.5	17.4	鉄	鋸刃欠損
12.	DA №12 11世		A. 木田	刀子	35.8	16.7	5.3	5.2	鉄	鋸刃欠損
13.	DA 21NSW地盤上ノ層		A. 木田	刀子?	25.2	22.4	5.7	4.0	鉄	鋸刃欠損
14.	DA 91NSW-1		A. 木田	刀子	47.5	14.5	12.8	12.0	鉄	鋸刃欠損
15.	DA 91NSW-4		A. 木田	刀子	85.0	11.9	4.7	8.4	鉄	刀子欠損
16.	DA 91NSW-5		A. 木田	刀子	45.0	12.0	2.1	2.0	鉄	刀子欠損
17.	DA 91NSW地盤		A. 木田	刀子	29.8	11.9	4.7	6.0	鉄	刀子欠損
18.	DA 91NSW地盤上ノ層		A. 木田	刀子	23.0	5.9	4.1	0.8	鉄	鋸刃欠損
19.	DA 91NSW		A. 木田	刀子	30.3	15.5	10.2	3.9	鉄	鋸刃欠損
20.	DA 11世		A. 木田	刀子	52.5	45.0	27.0	5.4	鉄	鋸刃欠損
21.	DA 11世		A. 木田	刀子?	10.0	3.0	3.0	0.2	鉄	鋸刃欠損
22.	DA 11世		A. 木田	刀子	50.2	8.0	7.3	5.0	鉄	0/22-3一周目
23.	DA 11世		A. 木田	刀子	126.0	33.3	5.1	38.7	鉄	
24.	DA 11世		A. 木田	刀子?	51.2	11.2	6.3	4.9	鉄	
25.	DA 11世		A. 木田	刀子	24.3	5.5	5.1	3.1	鉄	
26.	DA 11世		A. 木田	刀子	12.5	3.8	3.0	2.1	鉄	
27.	DA 11世		A. 木田	刀子	10.6	2.5	5.8	3.87	鉄	刀子欠損
28.	DA 11世		A. 木田	刀子	89.8	18.9	7.8	18.1	鉄	木質残存
29.	DA 11世		A. 木田	刀子	38.5	9.6	5.8	2.5	鉄	木質残存
30.	DA 11世		A. 木田	刀子	21.2	5.1	2.0	0.2	鉄	
31.	DA 11世		A. 木田	刀子	21.2	13.1	5.9	2.6	鉄	
32.	DA 11世		A. 木田	刀子	12.5	10.0	5.8	0.9	鉄	
33.	DA 11世		A. 木田	刀子	24.3	7.6	7.6	2.0	鉄	
34.	DA 11世		A. 木田	刀子	35.0	34.0	4.7	2.8	鉄	
35.	DA 11世		A. 木田	刀子	26.8	7.1	7.1	1.1	鉄	
36.	DA 11世		A. 木田	刀子	28.8	7.9	1.9	0.4	木	
37.	DA 12世		A. 木田	刀子	84.0	9.1	9.0	9.8	鉄	
38.	DA 12世		A. 木田	刀子	46.5	8.4	8.2	4.5	鉄	武器の部屋
39.	DA 12世		A. 木田	刀子	145.0	39.5	13.8	36.9	鉄	武器の部屋
40.	DA 12世		A. 木田	刀子?	150.7	39.5	13.8	36.9	鉄	武器の部屋
41.	DA 12世		A. 木田	刀子?	85.4	21.8	10.1	8.5	鉄	武器の部屋
42.	DA 12世		A. 木田	刀子	29.0	9.9	9.8	5.7	鉄	武器の部屋
43.	DA 12世		A. 木田	刀子	54.3	14.3	5.0	31.8	鉄	
44.	DA 12世		A. 木田	刀子	37.5	8.0	11.4	3.0	鉄	
45.	DA 12世		A. 木田	刀子	45.4	8.5	8.2	4.6	鉄	
46.	DA 21世		A. 木田	刀子	31.3	12.2	6.1	4.1	鉄	武器の部屋
47.	DA 23世		A. 木田	刀子	35.3	23.1	6.0	4.1	鉄	武器の部屋
48.	DA 23世		A. 木田	刀子	33.2	8.8	4.1	1.6	鉄	
49.	DA 23世		A. 木田	刀子	33.2	8.8	4.1	1.6	鉄	
50.	DA 30世		A. 木田	刀子	84.2	15.1	5.6	9.4	鉄	
51.	DA 31世	Wベット東端	A. 木田	刀子	39.7	12.4	5.4	3.1	鉄	
52.	DA 35世		A. 木田	刀子	250.0	106.0	54.0	96.20	鉄	銅瓦器類9本残存
53.	DA 35世		A. 木田	刀子	59.0	11.5	8.0	8.3	鉄	刀子欠損
54.	DA 35世		A. 木田	刀子?	67.3	13.8	8.0	1.2	鉄	刀子欠損
55.	DA 36世		A. 木田	刀子	51.7	8.3	6.2	4.2	鉄	鋸刃の剥離
56.	DA 36世		A. 木田	刀子	37.7	30.3	7.6	11.0	鉄	鋸刃の剥離
57.	DA 36世		A. 木田	刀子	110.0	14.0	8.5	18.0	鉄	鋸刃の剥離
58.	DA 41世		A. 木田	刀子	33.2	8.8	4.1	1.6	鉄	
59.	DA 41世		A. 木田	刀子	44.3	17.5	5.7	20.8	鉄	鋸刃の剥離
60.	DA 41世		A. 木田	刀子	84.4	17.6	6.5	11.8	鉄	鋸刃の剥離
61.	DA 41世		A. 木田	刀子	27.0	2.0	2.0	0.05	鉄	鋸刃の剥離
62.	DA 41世		A. 木田	刀子	35.8	6.0	3.2	1.0	鉄	
63.	DA 13世		A. 木田	刀子	40.2	9.2	8.3	5.0	鉄	
64.	DA 13世		A. 木田	刀子	15.8	7.8	6.8	0.8	鉄	
65.	DA 13世		A. 木田	刀子	23.7	11.7	4.9	2.9	鉄	
66.	DA 13世		A. 木田	刀子	17.7	5.9	5.5	0.9	鉄	
67.	DA 13世		A. 木田	刀子	30.0	7.4	7.2	2.8	鉄	小片
68.	DA 13世		A. 木田	刀子	42.3	23.5	6.0	6.6	鉄	
69.	DA 13世		A. 木田	刀子	35.0	11.2	7.7	1.0	鉄	鋸刃の剥離
70.	DA 13世		A. 木田	刀子	47.9	12.7	7.7	12.2	鉄	鋸刃の剥離
71.	DA 13世		B. 刀子	刀子?	103.5	13.2	7.1	13.4	鉄	鋸刃の剥離
72.	DA 13世		B. 刀子	刀子?	36.1	10.1	4.6	3.2	鉄	0/73-1同一側
73.	DA 13世		B. 刀子	刀子	37.4	11.3	4.4	0.2	鉄	小片
74.	DA 14世		B. 刀子	刀子?	47.7	12.7	6.5	5.1	鉄	
75.	DA 14世		B. 刀子	刀子	29.8	17.4	3.9	2.8	鉄	
76.	DA 14世		B. 刀子	刀子	20.3	11.7	9.5	2.4	鉄	
77.	DA 14世		B. 刀子	刀子	42.8	16.2	5.1	3.2	鉄	
78.	DA 14世		B. 刀子	刀子	39.8	12.5	5.1	3.2	鉄	
79.	DA 14世		B. 刀子	刀子	42.6	32.5	5.7	13.2	鉄	木質(断面)の残存
80.	DA 14世		B. 刀子	刀子	31.0	7.4	7.0	3.0	鉄	
81.	DA 14世		B. 刀子	刀子	16.7	10.7	7.7	3.7	鉄	
82.	DA 14世		B. 刀子	刀子	154.5	16.2	8.8	31.3	鉄	木質(断面)の残存
83.	DA 14世		B. 刀子	刀子	39.6	13.8	8.9	6.8	鉄	
84.	DA 14世		B. 刀子	刀子	24.5	8.5	5.1	3.7	鉄	
85.	DA 14世		B. 刀子	刀子	14.6	10.4	5.0	1.5	鉄	
86.	DA 14世		B. 刀子	刀子	23.6	18.3	16.0	11.1	鉄	
87.	DA 14世		B. 刀子	刀子	31.8	10.4	9.4	4.4	鉄	
88.	DA 14世		B. 刀子	刀子	44.4	8.4	4.4	2.9	鉄	
89.	DA 14世		B. 刀子	刀子	54.3	14.5	9.0	9.9	鉄	2本残存
90.	DA 14世		B. 刀子	刀子	53.0	12.1	7.2	6.1	鉄	刀子が残り
91.	DA 14世		B. 刀子	刀子	55.2	7.7	5.8	2.7	鉄	
92.	DA 14世		B. 刀子	刀子	78.5	10.7	4.8	10.90	鉄	
93.	DA 14世		B. 刀子	刀子	31.0	12.0	6.7	3.1	鉄	
94.	DA 14世		B. 刀子	刀子	49.4	19.5	7.1	4.9	鉄	鋸刃の剥離
95.	DA 14世		B. 刀子	刀子	22.6	10.3	5.8	1.7	鉄	
96.	DA 14世		B. 刀子	刀子?	32.6	8.9	4.5	1.6	鉄	鋸刃の剥離
97.	DA 14世		B. 刀子	刀子?	35.8	10.3	7.2	3.8	鉄	小片
98.	DA 14世		B. 刀子	刀子	28.4	7.7	4.7	2.0	鉄	
99.	DA 14世		B. 刀子	刀子	80.5	11.0	8.2	12.2	鉄	
100.	DA 14世		C. 純金?	刀子	24.5	12.0	8.0	3.8	純金	
101.	DA 14世		C. 純金?	刀子	46.7	10.4	8.1	4.9	純金	
102.	DA 14世		C. 純金?	刀子	28.2	24.8	18.3	19.6	純金	
103.	DA 14世		C. 純金?	刀子	75.1	30.8	17.2	4.31	純金	
104.	DA 14世		C. 純金?	刀子	91.6	11.6	11.1	17.4	純金	

第6表 金属製品一観察表

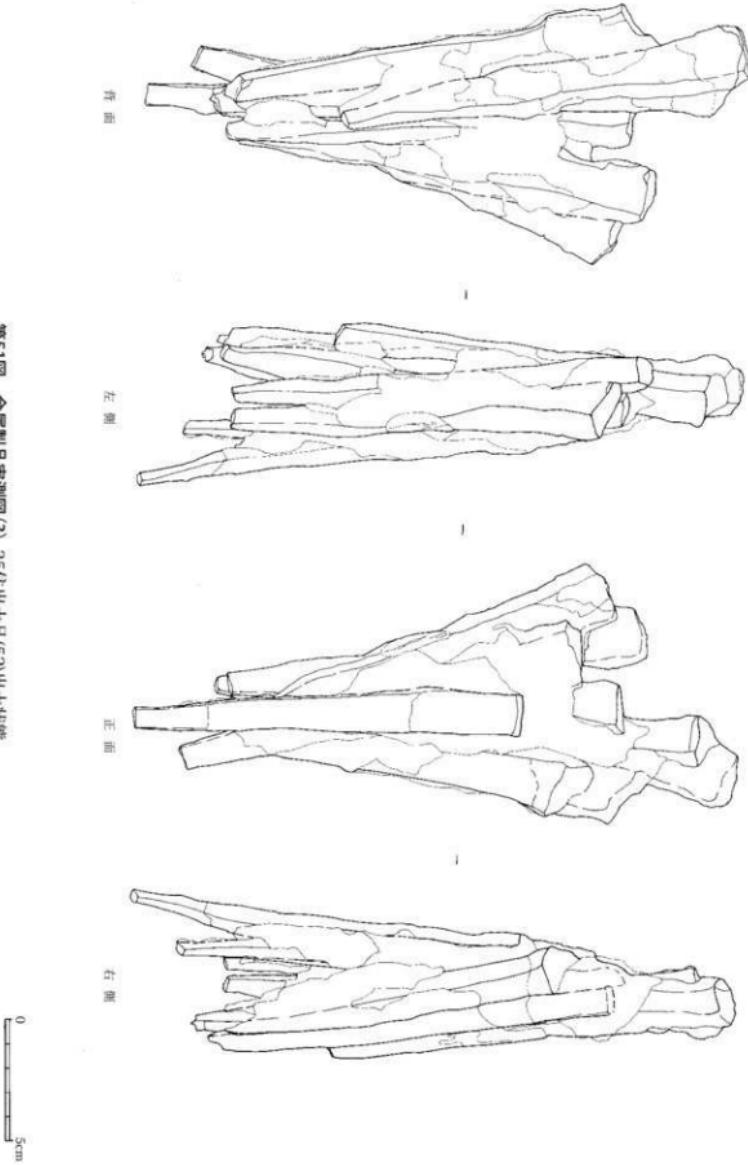


第49図 金属製品実測図(1)



第50図 金属製品実測図(2)

第51図 金属製品実測図(3) 35住出土品(52)出土状態



## 5 石器・石製品(第7表・第52~54図)

本次調査において総数191点の石器・石製品を回収し、その内、剥片・碎片・礫片を除く141点を報告対象とした。実際の遺構の時期に該当する石器・石製品は33点が考えられる。これらは共伴する土器形式から古墳時代後期から奈良時代に帰属すると推測される。その他に、混入品ないし流入品である縄紋時代の石器が多数確認できる。遺構から出土した石器・石製品、または定型的な縄紋石器を中心に37点を図示し、概要を述べる。それら以外のものは観察表を参照されたい。

勾玉(第52図1) 1点出土した。滑石製で断面形はやや扁平な円形を呈す。孔径は最大0.23cmで、孔は両端から穿かれている。

砥石(第52図2~11・第52図12・13) 合計16点出土し、12点を図示した。内訳は手持ち砥石が7点(2~4・6・9~11)と置き砥石5点(5・7・8・12・13)がある。両者は重量と寸法により、手で持つての使用が可能かどうかで区別した。多数の砥石に線条痕が観察される。石材はほぼ砂岩製で中砥ないし粗砥に分類できる。2は粗粒の砂岩製で、上部中央に直径最大0.43cmの両面穿孔による孔をもつ。形状は玉斧に似るが、石材や刃部が形成されていないことから砥石として扱った。3は砥面に炭化物の付着が認められる。12・13はそれぞれ別の遺構(118住と147住)からした接合資料である。溝状の線条痕が観察され、砥面が大きく内湾している。

凹石類(第53図14~19) 石材の大きさや凹みの形状、深さに関わらず、凹部が形成されているものを「凹石類」とした。合計10点出土し、6点図示した。14は表裏・側面の4面に凹部が確認でき、さらに凹部以外の表面は1面を除きつぶさに研磨されている。使用により磨面が形成されたというよりは、整形によるものであると考えられる。15・16は平面形が梢円の礫を素材にし、小凹部をもつ。16は裏面に弱い磨面が認められる複合石器である。17~19は平面形が円形の礫を素材にし、大凹部をもつ。18は裏面にも小凹部を有す。

台石(第53図20~22・第54図23) 大形の扁平礫を素材とし、平坦面に研磨・摩耗痕や付着物など人工痕が観察され、床に置いて使用したと想定されるものを「台石」とした。20は片面の中央に直径5.5cm程の範囲でススの付着が認められる。21・22は半分に削れた状態で出土し、表裏面の広範囲に擦り痕が観察できる。23は表裏面に擦り痕がみられ、その中央付近に被熱による表面の剥落や片面に黒色化した被熱痕が重なる様に認められることから、小鍛冶等に関わる鉄床石の可能性が考えられる。

ナイフ形石器(第54図24) 1点出土した。珪質頁岩製で、石刃と思われる縱長剥片を素材としている。打面を下に置き、左側縁と右側縁の尖頭部以外に腹面を打面とする剥離が施されている。右側縁の裏面には縁辺に直行するように線条痕が明瞭に認められる。形態的には茂呂型ナイフ形石器の範疇に含まれるか。

石鏃(第54図25~31) 合計8点出土し、7点図示した。基部による内訳は、無茎凹基が4点(25・27・30・31)、無茎円基1点(29)、有茎凹基1点(28)、不明2点(26)である。円基の29は刃部への調整加工痕が少ないと未製品の可能性も考えられる。石材は29のチャート製を除き、すべて黒曜石製である。

石錐(第54図32・33) 2点出土した。両者とも黒曜石製で、明瞭なつまみ部をもたず、平面形が逆三角形状を呈す。32は石鏃との区別が困難であるが、錐部と思われる先端部の断面形や、調整加工痕が先端部に集中していることから石錐とした。

エンドスクレーパー(第54図34) 8点出土し、1点図示した。素材の打面部を加工し、刃部が作出されている。末端部は欠損しており、平面形は不明である。肉眼観察で、若干の刃つぶれ状の痕跡が確認できる。

石匙(第54図35) 1点出土した。いわゆる横型の石匙で、明瞭なつまみ部をもつ。刃部の形態は外湾刃で、基本的には両面加工による刃付けが施されている。

打製石斧(第54図36・37) 合計12点出土し、全体形状が確認できる2点を図示した。欠損品の中には、二次加工ある剥片や石核との区別が困難なものも含まれる。36は刃部中央が局所的な剥離によりやや内湾しているため、使用に際した刃こぼれが推測される。

番 No.	注記	種類	地 区	出土地点1	出土地点2	石材	長(cm)	幅(cm)	厚(cm)	重量(g)	破損状況	備考
2		石核	A	51E	SW	黒曜石	2.62	1.00	0.59	1.5		通常剥離、2箇所に微細剥離あり
3		石核	A	51E	SW	黒曜石	2.40	0.65	1.06	2.65	10.0	通常剥離
4	微細剥離ある剝片	石核	A	51E	EW+ベルト	黒曜石	2.26	0.62	0.63	4.4		2箇所微細剥離あり
5		石核	A	91E	EW+ベルト	黒曜石	2.19	1.34	1.00	2.5		通常剥離
6	打削石斧	石核	A	91E	NS+ベルト	千枚岩	0.498	6.54	1.00	219.2	上部・基部折れ	
8	石核	A	11E	NS+ベルト	黒曜石	2.48	0.93	0.64	1.6		通常剥離	
9	石核	A	11E	SW	砂岩	(4.71)	0.97	1.07	25.2	2.4[面折れ]	頭山(山)剥離・縫合条あり	
10	打削石斧?	石核	A	11E	NS+ベルト	泥質頁岩?	(7.93)	5.48	(1.05)	(48.2)	下平折れ	尾原周辺?
12	打削石斧?	石核	A	13E	NS+ベルト	泥質頁岩?	(7.84)	4.78	(2.0)	97.3	下平折れ	尾原周辺? 削離形
13	二次加工ある剝片	石核	A	13E	NE	黒曜石	(2.00)	1.99	(0.26)	(0.9)	折れ	2箇所加工、片面加工(両側剥離向き)、サイドスクレーパーか
14	二次加工ある剝片	石核	A	13E		黒曜石	2.16	1.62	0.31	1.3		2箇所、未端加工、両面加工(部分的)、調節
15		石核	A	14+16E		チート型	2.21	3.38	2.33	19.0		通常剥離
25	16	石核	A	19E	No.1	黒曜石	(1.69)	(1.40)	0.44	0.7	通常剥離	無葉刃凹面(三角形角)
3	18	砾石	A	23E	No.16	砂岩	(8.81)	4.73	2.25	(158.5)		球面底、板状複合材、手持ち砾石、炭化物付着
19	打削石斧?	石核	A	26E	EW+ベルト	硬砂岩	(2.42)	(2.80)	(0.90)	(8.5)	上平折れ	
20	石核	A	27E	NW	黒曜石	2.94	1.78	2.37	7.8		通常剥離	
21	一次加工ある剝片	石核	A	27E	SE	泥質頁岩?	(2.40)	(3.93)	(1.04)	(7.7)	折れ	1箇所加工
22	石核	A	28E	EW+ベルト	黒曜石	(1.55)	(0.85)	(0.23)	(0.2)	片方の剥離のみ観		
2	23	石核	A	30E	No.2[No.23]	砂岩?	6.13	3.59	0.65	22.9	両面削れ	全面削面、空孔(直径φ4~5cm)
24	打削石斧?	石核	A	30E	No.3	ホルンブッシュ	10.90	9.04	3.07	365		U型底、円筒
18	25	凹石	A	30E	No.5[No.26]	安山岩	1.52	1.32	7.5	1790		大凹口×小凹凸1箇所、円錐複合材、凹深さ2.0cm~0.5cm
26	27	石礫	A	32E?	NW	黒曜石	(1.33)	(1.48)	(0.31)	(0.6)	尖頭部先端・基部折れ	
28	石核	A	33E?			黒曜石	2.58	2.11	0.77	3.1		通常剥離、剥片素材か
29	石核	A	33E?			黒曜石	1.95	3.52	1.67	9.1		通常剥離
30	微細剥離ある剝片	石核	A	39E	P1	黒曜石	2.35	2.45	0.78	3.1		1箇所微細剥離頭、尖葉利頭面に擦痕あり
31	微細剥離ある剝片	石核	B	41E		黒曜石	1.86	0.89	0.89	1.3		1箇所微細剥離頭
27	36	石礫	B	43E	SE	黒曜石	(1.50)	(1.15)	(0.25)	(0.2)	基部と側辺一部折れ	無葉刃凹面、片逆剥離後に再調整
28	37	石核	B	45E?		黒曜石	(0.98)	(1.42)	(0.48)	(0.7)	有茎凹面纏	通常剥離
38	石核	B	46E	SE	黒曜石	2.83	1.21	1.12	4.2			
39	エンドスクリュー?	石核	B	46E	カマド?	黒曜石	1.87	2.45	0.68	3.3		
42	微細剥離ある剝片	石核	B	53E		黒曜石	(2.29)	(1.92)	0.41	(1.3)	2面折れ	1箇所微細剥離頭
43	微細剥離ある剝片	石核	B	53E		黒曜石	1.73	2.48	0.63	2.3		1箇所微細剥離頭
5	45	砾石	B	56E	No.15	砂岩?	(1.43)	7.50	4.83	935		球面底、直方体、手持ち砾石
47	石核	B	59E	SW	黒曜石	2.55	1.13	0.78	2.3		通常剥離、1箇所に微細剥離あり	
48	石核	B	62E	SW	黒曜石	2.40	4.10	2.14	1.4		通常剥離、打削再生	
49	一次加工ある剝片	石核	B	62E	NW	黒曜石	(1.30)	(1.62)	0.22	(0.4)	1面折れ	サイドスクレーパーか
50	打削斧?	石核	B	64E	NW	硬砂岩	(7.95)	(3.99)	(1.48)	(54.4)	上平折れ	初期削面刃
51		砾石	B	66E	NE	片麻岩	15.95	9.35	5.64	1260		球面底(うち片面は端部の)、直方体複合材
30	52	石礫	B	66E	No.1	黒曜石	(1.70)	1.19	0.37	(0.4)	尖頭部先端折れ	無葉刃凹面、基部の少し方に深い、側面上部内側・下部は外溝式
15	53	凹石	B	68E	No.11	安山岩	22.2	14.3	11.0	5500		小凹口×直方石、手持ち砾石
16	54	凹・磨石	B	68E	No.12	安山岩	18.1	11.2	7.3	2260		小凹口×直方石、手持ち砾石
29	58	石礫	B	71E	NS+ベルト	黒曜石	2.66	1.74	0.63	2.0		無葉刃凹面、調整するため未成品の可能性あり
33	59	石核	B	71E	W	黒曜石	2.76	2.51	0.85	4.6		追削刃状
60	61	石核	B	71E	NS+ベルト	黒曜石	2.07	3.23	1.67	9.3		通常剥離
61	エンドスクリュー?	石核	B	72E	NS+ベルト	黒曜石	(2.82)	(1.50)	0.41	(1.7)	1面折れ	1箇所微細剥離頭
65	66	二次加工ある剝片	石核	81E	N	黒曜石	1.15	1.90	0.50	0.6		1箇所加工
68	69	二次加工ある剝片	石核	81E	E	黒曜石	1.89	1.87	0.80	2.2		2箇所加工
69	70	石核	B	110E	NW	黒曜石	1.35	1.74	1.09	2.1		通常剥離
23	70	台石	B	110E	No.20	安山岩	26.4	19.8	7.6	8500		表面粗面中央被削、その周辺が薄く剥離、削り去る面
14	71	凹石	B	111E	No.2	安山岩	9.42	8.53	6.63	960	一部表面削り落ち	
12	72	砾石	B	118E	N	砂岩	(10.10)	7.05	5.30	(455)	1面折れ	球面底(表面裏)、直方体複合材、板状複合材、板2枚接合
73	74	石核	B	118E	N	黒曜石	3.94	2.89	1.45	16.2		無葉刃凹面、調整するため未成品の可能性あり
17	74	凹石	B	121E	No.1	安山岩	21.7	18.2	10.1	(3550)	4/5残存(表面欠け)	大凹口×直方石、円錐複合材、凹深さ2.2cm
7	75	砾石	B	122E		砂岩	16.7	12.1	9.1	(3220)	1面折れ	球面底(表面裏)、直方体複合材、削き飛石
76	77	凹石?	B	122E		安山岩	9.79	8.20	3.05	310		小凹口×直方石(自然), ベリュロ複合材
34	77	エンドスクリュー?	B	122E	SW上～中層	凝灰岩	(4.53)	(3.25)	0.72	(10.2)	1面折れ	打削刃加工
78	79	石核	B	122E	カマド?	石英岩	4.21	2.36	1.82	17.7		通常剥離
81	82	二次加工ある剝片	B	124E	N+レンガ	黒曜石	2.38	1.08	0.37	0.9		
1	82	勾玉	B	125E	No.5B	滑石	1.85	1.18	0.46	1.3		穿孔(最大φ2.3cm)
6	83	砾石	B	125E	No.7	砂岩	(13.90)	(7.12)	(3.16)	(590)	1面折れ	球面底(表面裏)、微細剥離、複数條あり、板状複合材
21	84	台石	B	125E	No.	安山岩	(16.7)	22.5	6.95	5180	半分に削れ	表面裏の底、範囲に挖削頭、仮120×
22	85	台石	B	125E	No.	安山岩	(16.7)	15.4	6.95	4000	半分に削れ	全体的に、仮119×接合
4	87	砾石	B	132E	S	砂岩	9.90	(5.75)	2.81	(203.3)		球面底(表面裏)、微細剥離あり、板状複合材
9	89	砾石	B	133E	No.27	砂岩?	(12.80)	8.62	2.68	(515)	1面折れ	球面底(表面裏)、板状複合材
19	92	凹石	B	135E		安山岩	25.1	22.4	15.7	9950		大凹口底、球面底材、凹深さ6.13cm

第7表 石器・石製品観察表 (1/2)

	93	打製石斧	B	135・140社	EWトレンチ 平正	泥質?	9.90	484	114	8.29		知形面、円刃、水流による磨滅か
13	94	砾石	B	147社	No.10	砂岩?	(12.15)	5.55	5.59	(505)	1面折れ	砾面面(うち表面に擦痕あり)、直方体、手持ち頭、板110と接合
	95	サイドスクリーパー	B	148社	N	黒曜石	2.69	1.43	0.78	2.8		片斜面削
8	96	砾石	B	155社	No.9	砂岩?	(21.4)	18.9	8.4	(6000)		砾面3面(表裏・側面)、板状礫素材、磨き面有
	99	エンドスクリーパー	B	159社	S鏡下層	チャート	(2.34)	(3.32)	(0.96)	(7.2)	折れ	砾面面(表裏・側面)、繊条状あり、板状礫素材
10	100	砾石	B	163社		砂岩?	11.10	(6.71)	(3.12)	(410)	1面折れ	砾面面(うち表面に擦痕あり)、直方体、手持ち頭、板110と接合
101	二次加工ある剝片	B	186社	E		チャート	2.80	1.94	0.90	3.8		1側面加工、片面加工
102	二次加工ある剝片	C	191・192社			チャート	4.17	3.75	1.13	20.7		2側面加工
103	二次加工ある剝片	C	198社			黒曜石	4.36	2.16	0.66	3.8		2側面加工
111	105. 砕石	C	215社	N		砂岩?	(10.65)					3面折れ(2面は被
							(1.24)	(3.94)	(545)			被面面(表裏・側面)、板状礫素材
												熱感跡?
106	大型打製刀器	C	215社	N	白石?	(4.58)	(2.96)	0.70	(9.5)	1面折れ	刃部片面1側面	
108	打製石斧	C	216社	NE		砂岩質?	8.74	4.19	1.19		刃部一部折れ	握り、刃刃
35	109. 石器	C	216社	NE		凝灰岩配石	4.95	6.20	1.02	21.7		穀架、外刃角、片面加工(部分的に片面削)
110	サイドスクリーパー	C	220社			黒曜石	(2.02)	(1.53)	0.30	11.2	1面折れ	刃部片面2側面
111	エンドスクリーパー	C	226社	W		黒曜石	3.63	2.17	0.25	6.5		刃部片面2側面
112	四石?	A	土128			安山岩	8.08	7.80	5.94	340		小凹1・側面山(箇所によっては複数で不規則)、縦溝素材
114	二次加工ある剝片	B	192社			黒曜石	1.90	1.59	0.36	0.9		1側面加工、片面加工
116	二次加工ある剝片	A	542四辺 ~20+22社			黒曜石	1.54	(1.72)	(0.45)	(1.2)	折れ	打面・未端加工、片面加工
117	黒曜石なる剝片	A	酒?			黒曜石	2.51	1.43	0.45	1.1		1側面加工
118	二次加工ある剝片	C	酒?			黒曜石	(0.08)	(1.22)	(0.03)	(0.3)	1面折れ	1側面加工
119	二次加工ある剝片	C	酒?			黒曜石	(0.66)	(0.88)	(0.55)	(0.6)	1面折れ	1側面加工
121	原石?	B	酒?			チャート	16.3	1.11	9.0	2320		
122	石核	A	酒1			黒曜石	1.82	2.75	0.92	2.7		通常剥離、剥片素材か
124	黒曜石なる剝片	A	酒17?			黒曜石	2.18	1.19	0.29	1.1		2側面被削被頭
126	石核	A	酒17・2			石核?	1.34	1.21	1.02	1.5		両端削離
127	二次加工ある剝片	A	酒2			チャート	3.12	2.57	0.74	7.5		1側面・端端加工、片面加工
128	石核	A	酒2			黒曜石	2.03	1.24	0.86	2.2		通常削離
129	石核	A	酒3			安山岩?	2.11	1.17	0.70	7.9		大凹1・側面、縦溝素材
130	石核	A	酒3			黒曜石?	1.64	1.85	0.45	2.5		片斜面削
131	二次加工ある剝片	A	酒4			黒曜石?	(15.86)	(19.9)	(0.33)	(1.5)	折れ	山筋1・山筋2・選?
132	黒曜石なる剝片	A	酒4			チャート	(1.37)	(1.17)	(0.64)	(0.7)	折れ	1側面被削被頭
36	134. 打製石斧	A	酒4・5			黒曜石?	9.37	4.95	1.48	104.3		鋸形刃、刃刃
31	135. 打製石斧	A	酒5			チャート?	1.76	(1.30)	0.25	(0.4)	方の逆折れ	無葉刃基底(=等刃・角削離)
37	136. 打製石斧	A	酒5			ホルンブリルス	16.65	7.83	3.60	465	1面一部折れ	知形面
137	黒曜石なる剝片	A	酒5			黒曜石?	(3.27)	1.93	0.45	(2.8)	折れ	1側面被削被頭
139	砾石?	A	188社			安山岩?	10.95	8.03	7.80	950		1側面(左)、季(?)、縦溝素材
140	エンドスクリーパー	B	合合社			黒曜石?	2.91	2.03	0.64	4.0		刃部片面1側面
141	黒曜石なる剝片	A	合合社			黒曜石?	1.16	0.68	0.44	0.6		2側面被削被頭
143	原石?	A	横山田			砂岩?	(8.90)	4.71	1.72	(66.7)	折れ	穂面、久スリ(?)、被頭面(?)もあり
144	原石?	A	横山田			安山岩?	7.30	3.15	3.05	97.2	3面体に折れ	両端斜面、スリ(?)有(被頭面)もあり
24	145. ナイフや石器	A	横山田			安山岩?	6.43	1.97	0.55	7.3		両端斜面、板状剝片素材、茂谷型か
146	打製石斧	B	横山田			砂岩?	(8.87)	(5.70)	(1.19)	(66.6)	刃部・基部折れ	刃斜面・板状剝片素材、茂谷型か
147	打製石斧	C	横山田			砂岩?	(5.39)	(4.58)	(1.61)	(2.9)	刃部先端と上半	実刃→斜刃
32	148. 石核	B	横山田			黒曜石?	1.86	1.51	0.23	0.5		逆一面削離・のみ底面削離
149	石核	B	横山田			黒曜石?	2.61	4.71	1.86	18.9		不規則削離、2側面に二次加工あり
150	石核	B	横山田			黒曜石?	1.72	2.75	1.41	6.6		両端削離
151	石核	C	横山田			黒曜石?	2.62	1.25	1.13	2.9		両端削離
152	石核	A	横山田			黒曜石?	0.68	0.66	0.12	1.7		両端削離
153	石核	A	横山田			黒曜石?	1.93	2.23	0.93	3.3		両端削離
154	石核	A	横山田?			黒曜石?	1.89	1.54	1.77	4.9		両端削離
155	二次加工ある剝片	A	横山田?			黒曜石?	(1.56)	1.44	(4.1)	(1.1)	折れ	1側面・横加工、石器未製品
156	二次加工ある剝片	A	横山田?			黒曜石?	36.8	33.1	17.5	12.1		3側面加工
157	二次加工ある剝片	A	横山田?			黒曜石?	1.44	1.00	0.39	0.5		1側面加工
158	二次加工ある剝片	B	横山田?			黒曜石?	2.03	2.31	0.69	2.3		1側面加工
159	二次加工ある剝片	B	横山田?			黒曜石?	1.15	1.98	0.98	1.5		1側面加工
160	二次加工ある剝片	B	横山田?			チャート?	1.09	2.02	0.39	2.5		1側面加工
161	二次加工ある剝片	C	横山田?			黒曜石?	(4.02)	(2.45)	0.43	(7.5)	2面折れ	1側面加工
162	二次加工ある剝片	A	横山田?			黒曜石?	2.40	1.96	0.71	3.2		1側面・横加工、石器未製品
163	黒曜石なる剝片	A	横山田?			黒曜石?	(2.76)	(1.29)	(0.41)	(1.3)	折れ	1側面被削被頭
164	黒曜石なる剝片	A	横山田?			黒曜石?	1.64	0.98	0.43	0.6		1側面被削被頭
165	黒曜石なる剝片	B	横山田?			黒曜石?	2.39	1.91	0.77	2.9		2側面被削被頭
166	黒曜石なる剝片	B	横山田?			黒曜石?	(1.40)	(0.85)	(0.40)	(0.4)	1面折れ	1側面被削被頭
167	黒曜石なる剝片	B	横山田?			黒曜石?	1.19	0.81	0.22	0.2		1側面被削被頭
168	黒曜石なる剝片	B	横山田?			黒曜石?	2.52	(1.74)	0.57	(2.2)	折れ	1側面被削被頭
169	黒曜石なる剝片	C	横山田?			黒曜石?	(2.78)	(2.33)	(0.65)	(2.5)	1面折れ	1側面被削被頭
184	数珠?	C	横山田?			小石?	1.20	1.29	1.26	2.9		穿孔(最大φ 1.67mm)
185	石核	B	横山田?			粘板岩?	(5.45)	(5.39)	0.35	(12.0)	1面折れ	細面による加工板あり
186	黒曜石なる剝片	C	原石?			黒曜石?	1.09	0.93	0.24	0.3		1側面被削被頭
190	石核		採集料			黒曜石?	2.8	1.58	1.98	0.6		両端削離
191	二次加工ある剝片		中央判			黒曜石?	3.33	1.59	1.32	7.3		両端削離、2側面に凍結した小削離
192	砾石?	B	土			黒曜石?	(1.77)	(1.24)	(0.33)	(0.5)	1面折れ	1側面加工
193	エンドスクリーパー	C	土			チャート?	(8.65)	9.01	2.25	(28.2)	範軸に折れ	砾面(全面)・側面
20	195. 石核	B	不明			安山岩?	25.6	24.8	6.4	7250		表面中央に直角5.5cmのスリ付着
198	エンドスクリーパー	B	風見			黒曜石?	2.97	1.02	0.89	3.4		難削石
199	エンドスクリーパー	A	客土	No.1		安山岩?	14.6	13.4	9.5	2500		刀面(全面)・側面

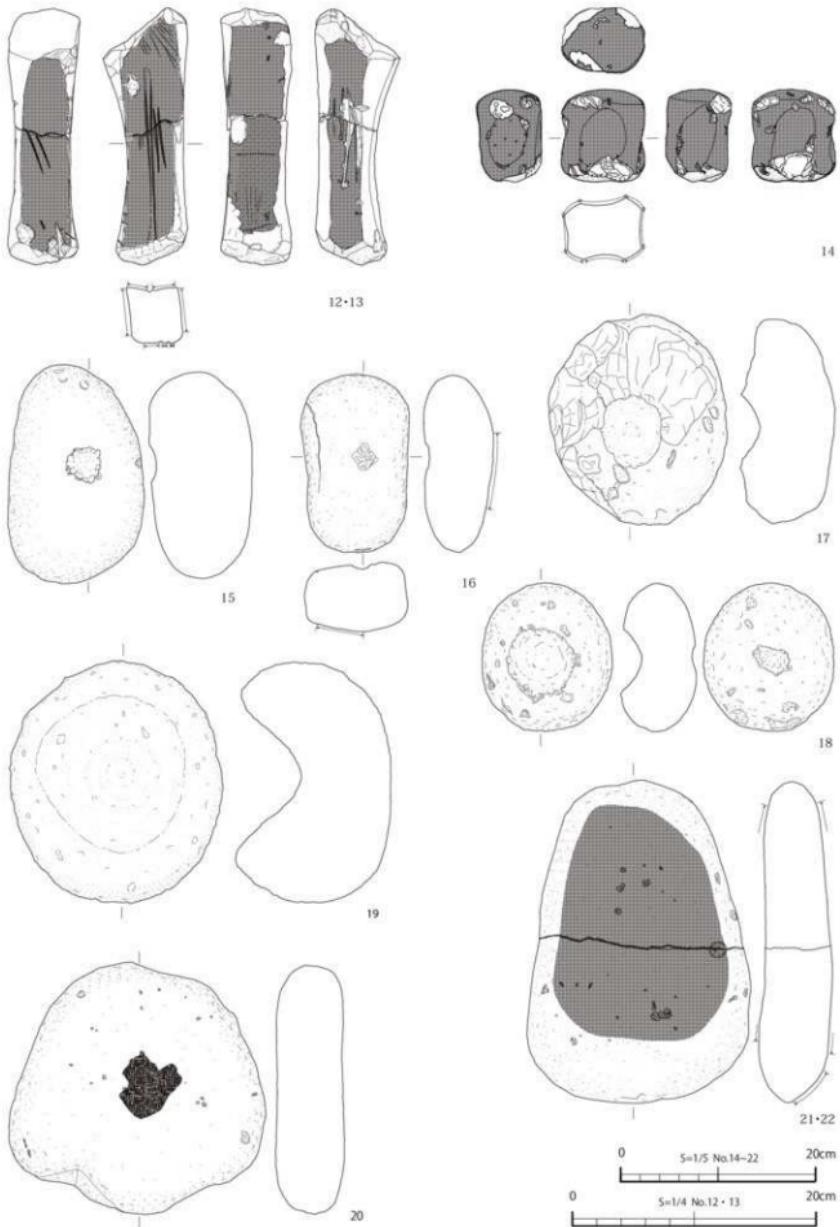
※1 寺刀・重星櫛(?)は資源情報をあわせ

※2 1200g未満は10.1g単位、1200g以上は10g単位

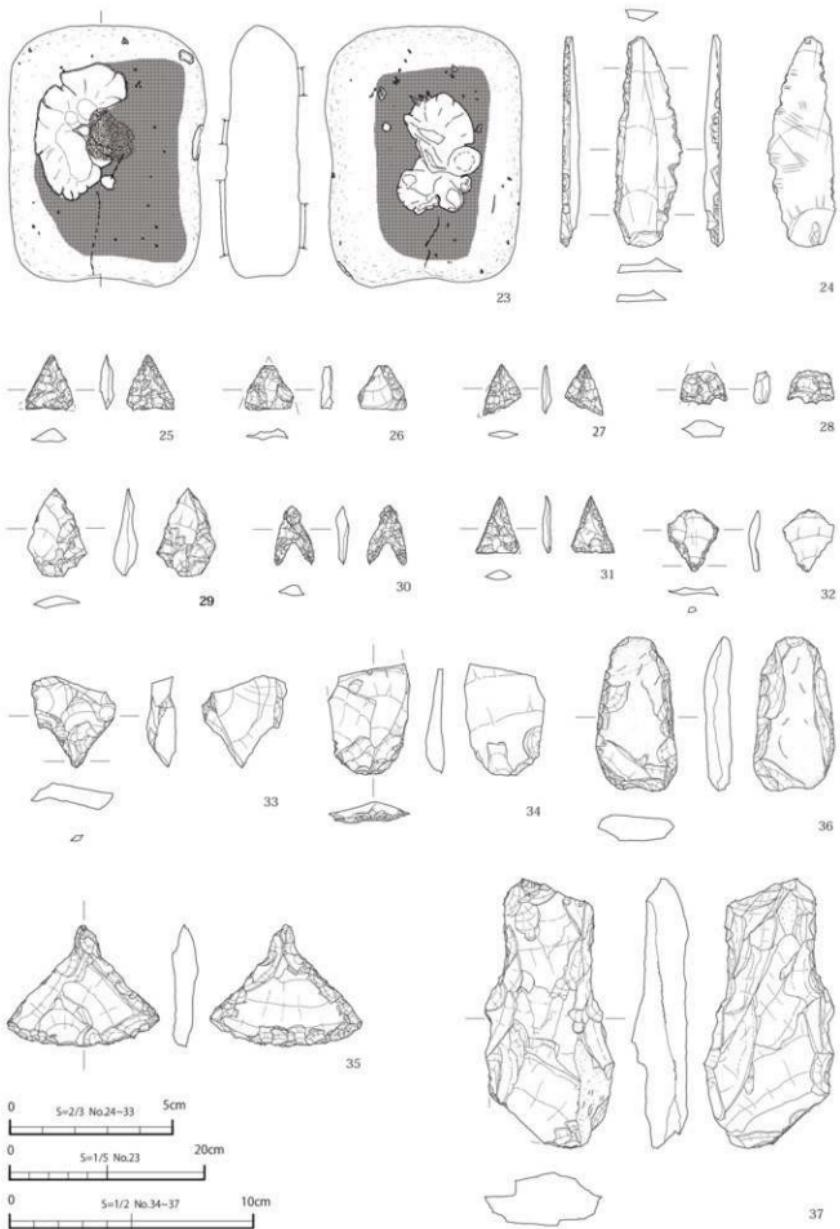
第7表 石器・石製品観察表 (2/2)



第52図 石器・石製品実測図(1)



第53図 石器・石製品実測図(2)



第54図 石器・石製品実測図(3)

## 第IV章 総括

### 1 検出された遺構の時期と分布の特徴

確認および調査された竪穴住居址の時期は基本的に出土土器によって判別したが、土器の時期を検討することができた85棟(うち時期確定は83棟)は、古墳時代前期から平安時代前半までの間に連続として継続している。時期別の住居棟数は下表に示すとおりで時期毎の棟数にかなりばらつきがあるが、この傾向は調査地全域の遺構の時期とほぼ等しいと考える。

時期が特定できた竪穴住居址を詳細にみると、古墳時代は前期に相当するものが1棟、中期に相当するものは5棟で、いずれもB東区で検出されており、調査地内では東に偏在して、分布密度はかなり低い。後期は20棟で後半の7世紀代に集中している。やはりB東区に分布の中心があり東へ偏る傾向を認めたい。奈良時代から平安時代については57棟で調査区全域に分布し、時期的には主体となる。ただし10世紀前半までにすべて取り、それ以後の竪穴住居址は確認できない。掘立柱建物址や土坑などの遺構はⅢ章で述べたとおり詳細な時期の特定はできない。

調査地内における全体的な遺構の時期と分布の関係は、以下のような概略にまとめることができる。

- ① 古墳時代前期～中期：東側から竪穴住居の分布が小規模に始まる
- ② 古墳時代後期：前代の分布傾向が継続し遺構数が拡大する
- ③ 奈良時代～平安時代9世紀代：調査地全域に拡がり遺構数も最大となる
- ④ 平安時代10世紀前半：急激に数を減じて消滅する

### 2 遺跡の立地と薄川扇状地の開発

新井遺跡は薄川扇状地の扇尖部に立地しているが、同扇状地上には本遺跡の他にも多くの遺跡が分布している。主な遺跡としては本遺跡の上流側に堀の内遺跡、下流側に下原遺跡、宮北遺跡が近接し、距離を置いて南方には兎川寺遺跡、針塚遺跡、北小松遺跡、西方に県町遺跡、北方に惣社遺跡、南東には薄町遺跡、鎌田遺跡、石上遺跡が分布する。これら周辺遺跡ではこれまでの発掘調査で多くの遺構・遺物が発見されており、ある程度の年代観が把握されている(第II章第2節参照)。それに基づくと、薄川扇状地は右岸では扇頂部の堀の内遺跡や鎌田遺跡、扇端部では県町遺跡で弥生時代中期後半から後期にかけて本格的な開発が始まり、古墳時代後期には扇尖部の下原遺跡、宮北遺跡でも集落が形成され始める。これらの集落址は若干の断続はあるが継続し、平安時代前半には全域で集落が展開している。

このような扇頂部・扇端部から扇尖部へと向かう開発の図式は、もちろんその背景として水利の問題があつたことは間違いないと考えるが、古墳時代後期から扇尖部において水利の改良が進んだ具体的な原因のひとつに流路の管理や用水の開削を考えておく必要があろう。その点で扇頂部に立地する堀の内遺跡(弥生時代後期～平安時代)の下流側(西側)に近接する今回の調査地点の動向は注目されるべきものである。すなわち東西に長い調査範囲で古墳時代前・中期に遡る遺構が東に偏在しており、これに続く古墳時代後期もこの傾向を有し、奈良時代に至って調査地内全域に拡大する。まさしく堀の内

時期区分	地区別の住居址棟数					棟数 合計
	A	B西	B東	C北	C南	
およそ時代(上器の時期)						
古墳時代(4～5世紀)			1			1
古墳時代(5世紀)				5		5
古墳時代(6世紀)				2		2
後期前半	6～7世紀	1				1
古墳時代	7世紀前半	1				1
後期前半	7世紀		7	3		10
古墳時代	1期以前		1			1
後期前半	1期	1		1		2
(7世紀後半)	1～2期	1	2			3
奈良時代前半 (8世紀前半)	2～3期		1			1
	3期	1	1			2
	3～4期	1		1		2
3～5期	1					1
奈良時代後半 (8世紀後半)	4期	1	2			3
	4～5期	2	2			4
平安時代	5期	1		2	1	4
前期前半 (9世紀前半)	5～6期	4				4
	6期	4				4
	6～7期	2	4			6
平安時代	7期	1		1		2
前期後半 (9世紀後半)	7～8期	5	5	2	1	13
	8期	5	1		1	7
平安時代中期 (10世紀前半)	8～9期	1		1		2
	9～11期	1				1
	10～11期	1				1
		22	19	32	8	83

新井遺跡 2次調査の住居址時期別数

遺跡の古代集落の下流側(西側:扇尖部側)への拡大という様相を呈しており、前述した薄川扇状地右岸の開発の図式を傍証する良好な資料となつたと考える。また調査地内のいたるところで検出された洪水跡、流路跡、溝跡など水流に関するものの中には単なる自然現象の痕跡だけではなく、初步的な水利管理の試行錯誤に伴うものも含まれていると考えたい。

一方で、本調査地内では平安時代の9世紀末から10世紀代に入ると遺構数が激減し、10世紀後半以降は分布が途絶えてしまう。これをどのように理解するかだが、松本平全域では9世紀末からこの時期に廃絶する集落が多いことが以前から指摘されており、その原因もいくつか推定されている(原1989・1996)。本例も単に今回調査地内に限った偶然と捉えるよりは、より広範な地域的動向と軌を一にしたものと考えたい。薄川扇状地右岸のエリア内における10世紀後半以降の集落は、宮北遺跡、針塚遺跡、薄町遺跡などで前代からの連続性を持たない形で小規模に展開していくことになる。

### 3 今後の課題

ここでは生産地の推定に較って触れる。原始・古代の集落は生活用水の得られないところでは立地し得ず、さらに弥生時代以降は水田可耕地を求めて展開する。東隣の堀の内遺跡について平成2年に行われた第1次発掘調査の報告で、弥生時代から古墳時代6世紀代までの集落の生産地として、遺跡の北縁を西流する追倉沢川の北岸とその北の山地との間の湿田地帯(現状はほ場整備事業で消滅)を推定した(直井1992)。この見解については現在のところ変更する必要を認めないが、今回調査地内に大規模に展開した奈良時代から平安時代9世紀代までの集落の生産地、水田可耕地をどこに求めるかは、今後、大いに検討されるべき問題と考える。単なる自然地形利用の段階から導水農耕が可能になった段階への変化を想定することは、現在の追倉沢川や大堰(古)の不自然な流路を視野に入れながら、さらなる調査成果の積み上げを必要としよう。

#### おわりに

今回の発掘調査を完遂できたのはひとえに関係者や地域の皆様のご理解、ご協力によるものです。この調査が地域の開発と発展の歴史を探る一助となる成果を上げ得たことを、関係各位にご報告するとともに満腔の謝意を表し結びといたします。

#### 参考文献

- 原明芳1989「吉田川西遺跡の歴史的特質」『中央自動車道長野線埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書3 一塙尻市その2』(財)長野県埋蔵文化財センター  
原明芳1996「第四章 古代社会の変質と中世のはじまり」『松本市史 第二巻歴史編Ⅰ 原始古代中世』松本市  
直井雅尚 1992「第4章 調査のまとめ」『松本市文化財調査報告No.93 松本市堀の内遺跡』松本市教育委員会



調査地（A区）を西側から撮影 奥は薄川扇状地上流方面



調査地（A区）を垂直上空から撮影 写真の右側が北方向



5住 磚出土状況（西から）



5住 西カマド火床 遺物出土状況（東から）



5住 西カマド 被熱面検出状況（東から）



5住 完掘状況（北から）



9住 カマド・カマド前 遺物出土状況（西から）



9住 北壁付近 灰色粘土ブロック（南から）



9住 完掘状況（西から）



11住 鎌出土状況（東から）



11 住 カマド遺物出土状況（西から）



11 住 完掘状況（西から）



56 住 遺物出土状況（北から）



56 住 カマド周辺 遺物出土状況（東から）



56 住 完掘状況（西から）



76 住 カマド半掘状況（北から）



76 住 完掘状況（東から）



110 住 掘削状況（南から）



111住 遺物出土状況（北から）



111住 遺物出土状況（北から）



111住 掘削状況（東から）



112住 半掘（東から）



112住 遺物出土状況（東から）



115住 カマド遺物出土状況（東から）



115住 土玉出土状況（北から）



115住 調査区北壁



115 住 完掘状況（北から）



118 住 カマド 遺物出土状況（東から）



118 住 新旧カマド 完掘状況（東から）



140 住 カマド 検出状況（東から）



140 住 剣削状況（東から）



147 住 砥出土状況（東から）



148 住 カマド 完掘状況（東から）



209 住 東西ベルト北壁



209 住 カマド 完掘状況（西から）



209 住 完掘状況（北から）



216 住 南西隅 遺物出土状況（北東から）



216 住 カマド 遺物出土状況（東から）



216 住 カマド 完掘状況（東から）



226 住 南北ベルト 東壁



226 住 カマド 完掘状況（西から）



226 住 完掘状況（北から）



第 125 号住居址出土品（古墳時代前期）



第 111 号住居址出土品（古墳時代中期）

写真図版 8 土器 (2)



第 112 号住居址出土品（古墳時代中期）



第 115 号住居址出土品（古墳時代後期）



第 166 号住居址出土品（古墳時代後期）



第 168 号住居址出土品（奈良時代）

写真図版 10 土器 (4)

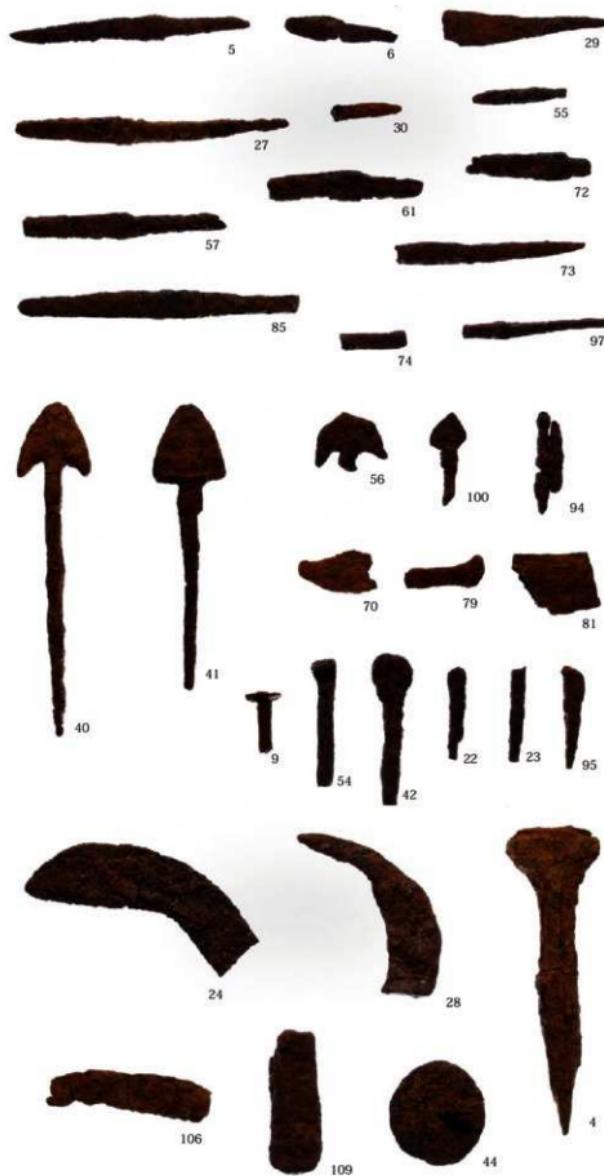


第 147 号住居址出土品（平安時代）



第 155 号住居址出土品（平安時代）

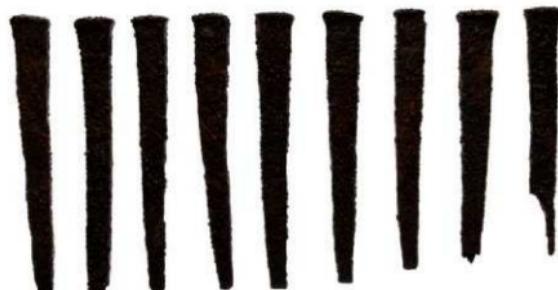
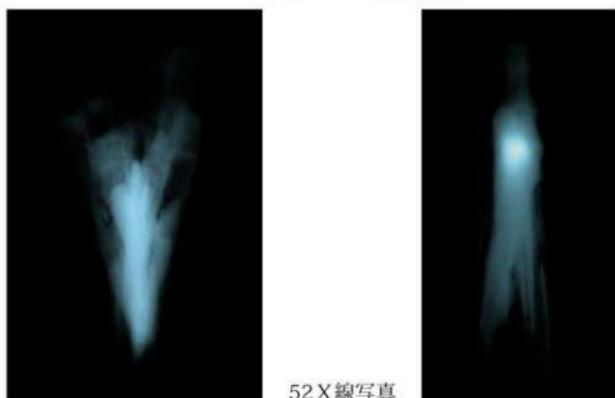
写真図版 11 金属製品 (1)



写真図版 12 金属製品 (2)



35 住出土 52 鑄着状況



52 分離状況



砥石 (S=約 1:5)



四石 (S=約 1:5)



台石 (S=約 1:6)

## 報告書抄録

ふりがな 書名	ながのけんまつもとし あらいいせき だい2じはっくつちょうさほうこくしょ 長野県松本市 新井遺跡 第2次発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名	松本市文化財調査報告							
シリーズ番号	No.214							
編著者名	原田健司、福沢佳典、直井雅尚							
編集機関	松本市教育委員会							
所在地	〒390-0874 長野県松本市丸の内3番7号 TEL0263-34-3000(代) (記録・資料保管: 松本市考古博物館 〒390-0823 松本市大字中山3738-1 TEL0263-86-4710)							
発行年月日	2014(平成26)年3月31日 (平成25年度)							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
あらい 新井	ながのけんまつもとし 長野県松本市 新井遺跡山辺 1796番1ほか	20202	195	36度 16分 30秒	138度 0分 3秒	H23.5.19 ～ H24.3.30	4455.16 m <sup>2</sup>	松本市新井北土地区画整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
新井	集落跡	古墳 ～ 平安	・竪穴住居址 ・掘立柱建物址 ・土坑 ・ピット	185軒 6棟 349基 376基	[土器] 土師器 須恵器 黒色土器 灰釉陶器 綠釉陶器 [鉄製品] 刀子 鎌・釘 [石製品] 砥石 台石 つき白 打製石斧 剥片	・古墳時代前期～平安時代の集落址の一部を調査した。竪穴住居址が重複し、掘立柱建物址は6軒以上確認される。古墳時代中期の住居址は調査区の東側のみがあり、隣接する場の内遺跡との関連が推測される。 ・各時代ごとに住居の分布域が異なり、時代ごとの変遷を追うことができる。 ・平安時代の遺構からは鉄製品が多く出土し、35件出土の棒状鉄製品や110件の大型のカマド・台石等が小鍛冶の可能性を推測させる。		
要約	<p>・新井遺跡は松本市街地から東部の山辺地区、薄川扇状地の扇尖部に位置する。やや谷が開けた場所である。過去に第1次発掘調査が行なわれており、古墳時代後期から平安時代にかけての住居址と直角に屈曲する溝状遺構を検出している。今回の調査地点は1次調査地点とは離れるため、集落の関係性は明らかではない。</p> <p>・今回の調査は松本市新井北土地区画整理事業に伴う緊急発掘として実施された。発見された遺構の中心は竪穴住居址で、古墳時代前期～平安時代の住居址が185軒確認された。集落の時期が長いため、遺構の重複は激しいが、各時代ごとに分布の中心がある。古墳時代中期の住居址は5世紀代と考えられ、B東区の東に集中する。古墳時代後期にかけ住居数が増加し、西へ集落域が広がるようである。その後、さらに集落域を拡大し、平安時代の中ごろまで集落が継続的に営まれている。</p> <p>・特殊な出土品として風字鏡・綠釉陶器・滑石製勾玉・鏡形土製品などがある。</p> <p>・今回の調査において、松本市東部の薄川扇状地の扇尖部に大規模な集落が展開していることが判明した。周辺の遺跡と考え合わせると、古墳時代中期以降に扇尖部の開発が始まり、古墳時代後期に定着し、発展する。その後も平安時代中期に至るまでの約600年間にわたり人々の生活が続いたことが明らかになった。扇尖部への集落の進出、もしくは山辺における開発の歴史が明らかになる貴重な発掘成果となつた。</p>							

---

---

松本市文化財調査報告No.214

長野県松本市

新井遺跡

—第2次発掘調査報告書—

発行日 平成26年3月28日

発行 松本市教育委員会

〒390-0874

長野県松本市丸の内3番7号

印刷 株式会社二光印刷

---